



平成19年度

年報 第22号

福島県立博物館

# 年報発刊に 寄せて



いま、地域のなかの博物館はいかにあるべきか。問いはいつそう深く潜行している気配があり、また、どこか曙光が見えてきたような予感もあります。むろん、現実には冬の時代さながらです。依然として、経済的にはまったく底が見えないままに、博物館をめぐる環境はあきらかに、未曾有なまでの厳しさに見舞われつつあります。もはや存立の基盤を脅かされかねない段階に立ち到っている、と言うべきなのかもしれません。しかし、それにもかかわらず、どこかに楽観的な気分を感じてもいるのです。われわれはきちんと布石を打ち、やるべきことをやって来た、という自信があるからでしょうか。

地域に向けて開かれた、地域の人々とともに創る博物館といったイメージは、もはや当たり前のものになりました。あるいは、さまざまなレベルにおける、ほかの博物館や施設との連携ということも、いくつかの実験的な試みを経て定着してきたようです。それは避けがたい選択であるとともに、将来にたいする可能性の呼び水となることが確認されつつあります。そして、そこから一歩を進めて、地域社会をまるごと博物館としてゆく「ミュージアム・タウン」構想といったシナリオも、ある種の内発的な欲望に支えられながら、きわめて現実的なものになろうとしています。それはすでに夢物語ではありません。

いま、われわれは徹底的な自己検証の季節を迎えています。外に打って出ることを、いわば禁じられた状況のなかで、それを逆手に取り、何をなしうるか。われわれははたして、自らの蓄えてきた膨大な収蔵品や文献などを十分に活用してきたか。それら眠れる埋蔵資源から、新たな展示空間を創出することはできないか。そして、県立博物館という自覚のうえに立って、県内のさまざまな博物館や施設との連携をいかに進めてゆくか。そのとき、われわれの膨大なコレクションは役に立つのではないか。移動博物館という仕掛けを、さらに多様に展開することは可能か。問いは無限にあふれてきます。

少なくとも、この厳しい状況を前にして、われわれは闘志を掻き立てられることはあれ、将来への不安といったものに身を委ねている暇はありません。いま、われわれはやるべきことを、ひとつひとつやり抜く覚悟を固めたいと思うのです。

汝の足元を深く掘れ、そこに泉あり――。

福島県立博物館長 赤坂 憲雄

# トピックス

## 第3土曜イベント

毎月第3土曜日に博物館に来れば何かやっている。市民がそれを無料で楽しめるような催し物を企画し、「第3土曜イベント」と称し、エントランスホールを中心にして、計12回のイベントを開催した。



詩人和合亮一けんばくで語る  
(平成19年6月16日)  
常設展示室近世  
田島祇園祭屋台で自作の詩を語る和合氏



けんばく雛祭り 雅楽の調べ  
(平成20年2月16日)  
福島県雅楽会の皆さんによる演奏

## 友の会文化祭

博物館友の会は平成元年に発足してから18年目を迎えた。友の会事業の初めての試みとして「友の会文化祭」を10月20日に開催した。この行事は、「異世代間の交流」をテーマに、会員それぞれが持てる技能を活用し、来館者に楽しい一時をすごしていただくという趣旨で開催された。友の会のサークルである「化石・鉱物探検隊」や「古文書愛好会」を始め、多くの個人・団体の参加があり、作品や技を披露した。入場者数は500人に登り、一般の来館者にもたいへん好評であった。



「ファンファーラあいづ」による演奏



エントランスホールでの展示



福島県立博物館は、昭和61年に県立の総合博物館として開館し、平成18年に開館20周年を迎えました。博物館は、これまで県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、さまざまな活動をしてきました。

近年、社会情勢の変化により、博物館の存在意義の見直しと博物館ニーズへの積極的対応が要請されております。このため、今回、新しい時代の博物館として目指すべき目標を「使命」としてとりまとめました。ついては、社会に対する責務を明確にするとともに、博物館に対してみなさんのご理解を深めていただくため、その内容を公表いたします。

## 目 標

福島県は、関東・北陸・東北地方の接するところに位置し、美しく豊かな風土のもと、時代を通して文化交流の地として発展し、特徴のある歴史・文化を形成してきました。また、広大な面積をもつ本県は、中通り・浜通り・会津地域に分かれ、それぞれ異なった風土と生活文化をもっています。

福島県立博物館は、こうしたユニークで多様な歴史・文化が生み出した遺産とその背景にある自然に関する資料を収集・保存し、大切に未来へ引き継ぐとともに、研究を通して、資料のもつ価値を明らかにします。そして、収集した資料や研究の成果を世界に向けて発信するため、さまざまな形で公開します。

また、人々が地域の課題を調査・研究することを支援し、地域文化の新しい価値を創造することに寄与するとともに、みなさんが博物館を利用しやすいように、人と人との交流を大切にす楽しい環境を整えます。

これらを基本に、次のような博物館を目指します。

### 1. ふくしま発見博物館

ふくしまの文化遺産と自然史資料をもとに、ふくしまの歴史・文化そしてそれを育んだ自然に関する情報を提供し、ふくしまの魅力を再発見する場とします。そして、地域独特の文化の価値を共に学び、新たな文化を創りだす手助けをします。

### 2. 出会いふれあい博物館

楽しい時が学ぶ時です。かた苦しなく、気軽に入れて人と人が楽しく語り合える博物館を目指します。そのために、居心地がよく、自らが体験でき、楽しさを体感できる空間を演出します。

### 3. あなたも主役博物館

博物館を利用するみなさんも主役です。博物館はみなさんからの意見・要望を尊重して運営に活かします。また、友の会の会員やボランティアとして博物館の事業に参加することができます。みなさんと共により良い博物館を目指します。

## 活動の指針

目標を達成するため、次のような機能を充実させます。

### 【専門機能】

#### 1. 地域の文化遺産の収集と継承

福島県の特徴を現す歴史・文化遺産および自然史資料を系統的に収集し、安全な状態で保存し次世代に伝えます。また、資料情報をデータベースとして整備し活用します。

#### 2. 最新の研究による新たな資料価値の発見

専門的な研究により、収集した資料の価値を明らかにします。また、地域の課題であるテーマを設け調査を行い、その成果を地域文化の発展と創造のために役立てます。

#### 3. 来るたびに発見がある展示とニーズに応じた学習支援

展示を見るたびに資料の新しい側面を発見できます。新しい資料や研究成果を展示や講座に反映するとともに、利用者のニーズに応じて、資料についてさらに詳しい情報を準備し提供します。また、未来を担う子供たちにも対応したきめ細やかな学習支援を行います。

### 【交流機能】

#### 4. 楽しめて出会いのある空間の創出

居心地がよく楽しめ、いろいろなことを体験・体感できる博物館を目指します。また、人と人が出会い、楽しく知的なコミュニケーションのとれる場所を提供します。

#### 5. 博物館事業への住民参加

利用者の意見を積極的に取り入れて、博物館の運営に反映させます。また、友の会会員やボランティアの協力を得ながら博物館の事業を推進します。

#### 6. 博物館情報の発信と公開

博物館の資料や研究成果および運営に関する情報を公開するとともに、展示や講座など館活動の情報を広く県内外に発信するため、積極的な広報活動を行います。

#### 7. 地域ネットワークの拠点

福島県の面積は広大で、多くの学校、社会教育・文化施設、市民団体があります。これら関係機関等とのネットワークを作り、情報交換や共同研究、事業の共同実施を進めます。

#### 8. 新しい観光ニーズへの対応

会津という観光地に立地することを踏まえ、地元の市町村や文化・観光施設と連携、共同し、新しいタイプの観光のニーズに対応できるよう努めます。

### 【運営機能】

#### 9. 使命の明示と事業の点検

博物館の使命と目標を社会に明示し、オープンな運営を目指します。目標に向かって計画を立て、常に成果を点検し、目標を達成できるように努めます。

#### 10. 人材の育成と機能的な組織

博物館の使命を達成するため、優れた人材を育成し、機能的で効果的な組織運営に努めます。

# 目 次

I	沿 革	1
II	事業の概要	2
	1. 資料収集事業	2
	(1) 収集展示委員会	2
	(2) 資料調査員会議	2
	(3) 受贈・受託	2
	(4) 購 入	3
	2. 保存管理事業	3
	(1) 資料の収蔵	3
	(2) 登録・整理	4
	(3) 貸 出	5
	(4) 保 存	5
	3. 展示企画事業	6
	(1) 常設展示	6
	(2) 企画展示	8
	(3) その他の展示	27
	(4) 移動展	37
	(5) 展示解説	39
	4. 調査研究事業	40
	(1) 展示資料調査研究	40
	(2) その他の調査研究事業	42
	(3) 職員の研究活動	43
	5. 教育普及事業	45
	(1) 講座・講演会	45
	(2) 第3土曜イベント	51
	(3) 体験学習室	53
	(4) 学校・文化施設との連携	54
	(5) 生涯学習・研究支援	57
	6. 広報公聴活動および出版事業	58
	(1) 広報活動	58
	(2) 公聴活動	61
	(3) 出版事業	61
	7. 博物館友の会活動への支援	62
	(1) 友の会活動への支援	62
	(2) 友の会の活動状況	62
III	管理運営	64
	1. 組織・職員	64
	2. 予 算	65
	3. 委員会の開催	66
	(1) 運営協議会	66
IV	利用状況	67
	1. 入館者統計	67
	(1) 平成19年度入館者統計	67
	(2) 入館者の推移	68
	(3) 企画展入館者統計	70
	2. 出版物販売	72
V	法 規	74
	福島県立博物館条例	74
	福島県立博物館運営協議会条例	75
	福島県立博物館条例施行規則	75
	福島県立博物館組織規則	78
	福島県立博物館条例に基づく知事の権限を福島県教育委員会に委任する規則	79
	福島県立博物館収集展示委員会設置要綱	79
	福島県立博物館資料所在調査要領	79
	福島県立博物館資料調査員設置要綱	80
	福島県立博物館友の会規約	80
VI	施設の概要	82
	1. 建築概要	82
	2. 設 備	82
	3. 平面図・各室一覧	83
	4. 施設の修理・改築	84
VII	利用案内	85

# I 浴 革

## 《開館にいたるまで》

昭和52年 5月13日	文化を考える県民会議の設置
6～8月	文化に関する県民意識調査の実施
昭和53年 1月24日	文化を考える県民会議から県の文化振興について知事に報告
7月26日	第1回文化振興会議開催
昭和54年 2月2日	文化振興会議から文化振興の具体策について知事に報告
3月19日	文化施設等整備基金条例制定
4月1日	福島県教育庁文化課内に文化施設班を設置
12月24日	福島県美術品等取得基金条例制定
昭和55年 4月1日	福島県教育庁文化課内文化施設整備室を設置
昭和56年 1月26日	県立博物館基本構想検討委員会から建設基本構想の報告を受ける
2月3日	県立博物館の建設地を「会津若松市」と決定
昭和57年 2月18日	県立博物館収集展示委員会より「県立博物館総合展示及び部門展示計画」の報告
昭和58年 7月30日	建築実施設計を委託（株式会社佐藤武夫設計事務所） 展示実施設計を委託（株式会社トータルメディア開発研究所）
昭和59年 6月8日	建設工事契約（㈱清水建設仙台支店・㈱会津土建・㈱秋山建設による共同企業体）
7月7日	県立博物館建築工事着工（～61. 3. 25）
7月10日	展示工事委託契約（㈱トータルメディア開発研究所・㈱乃村工芸社・ ㈱丹青社による共同企業体）
7月13日	展示工事着工（～61. 9. 10）
昭和61年 3月25日	県立博物館条例 同施行規則 同運営協議会条例及び組織規則制定（61. 4. 1 施行）
3月31日	県立博物館公所開設にともない文化施設整備室を廃止
4月1日	県立博物館公所開設 高橋富雄が初代館長として就任 運営協議会委員10名委嘱
10月1日	展示解説員19名採用
10月18日	県立博物館開館

## 《開館してから》

昭和61年11月28日	登録博物館の指定（第10号）
昭和63年 8月21日	入館者50万人達成
平成元年 3月10日	友の会設立
平成2年10月7日	入館者100万人達成
平成4年 3月31日	日本育英会の第一種学資金の返還を免除される職を置く研究所等の指定（文部大臣）
平成5年 4月1日	展示解説員22名となる
平成7年 5月5日	入館者200万人達成
平成8年10月5日	開館10周年記念式典を催す
平成12年10月15日	入館者300万人達成
平成13年 1月25日	博物館リニューアル事業に伴い、新基本構想検討委員会により「福島県立博物館新基本構想」が策定される
平成14年 3月25日	博物館リニューアルの新基本構想に基づいて「展示替え基本計画」を策定
平成15年 3月24日	博物館条例第4条改正により小・中学生及び高校生の普通観覧料を無料とする
3月28日	高橋富雄館長 「金曜講座」第393回目開催
3月31日	高橋富雄館長退任
4月1日	赤坂憲雄が県立博物館長に就任 前館長高橋富雄に県立博物館名誉館長の称号授与
平成16年 4月8日	赤坂憲雄館長・学芸員 「木曜の広場」第1回開催
平成17年 5月6日	入館者350万人達成
平成18年 9月29日	博物館開館20周年を祝う会「おめでとう20歳の博物館」開催
平成19年 7月21日	当館と鹿児島県歴史資料センター黎明館との共同企画で企画展「樹と竹－列島の文化、北から南から－」を開催

## II 事業の概要

### 1. 資料収集事業

#### (1) 収集展示委員会

##### (ア) 収集展示委員会委員

館の収集資料、企画展の計画等についての審議のため、12人を委嘱している。

##### 収集展示委員会委員名簿

氏名	役職名	専門	備考
岡田 茂弘	国立歴史民俗博物館名誉教授	考古	委員長
有賀 祥隆	元東北大学文学部教授	仏教絵画	委員
入間田宣夫	東北芸術工科大学東北文化研究センター教授	中世史	同
大迫 德行	福島県民俗学会会長	民俗	同
岡田 清一	東北福祉大学教授	中世史	同
斎藤 常正	元東北大学理学部教授	古生物	同
平川 南	国立歴史民俗博物館館長	古代史	同
原田 一敏	東京国立博物館上席研究員	工芸	同
村川 友彦	福島県史学会会長	近世・近代史	同
佐々木利和	国立民族学博物館教授	近世史	同
柳田 俊雄	東北大学総合学術博物館教授	考古	同
渡邊 一雄	福島県考古学会顧問	考古	同

##### (イ) 会議

平成20年2月8日

議題

- ①平成19年度事業の実施概要について
- ②平成20年度事業計画について
- ③平成20年度企画展について
- ④平成20年度収蔵資料品展について
- ⑤その他

#### (2) 資料調査員会議

##### (ア) 資料調査員

博物館資料の収集等に関する県内の詳細な情報を得るため14名の調査員を委嘱している。

##### 資料調査員名簿

担当地域	氏名	所属
県北	佐藤 大介	東北大学東北アジア研究センター
県北	相原 秀郎	元郡山市職員
県北	吉田 義	元県立福島北高等学校教諭
県中	藤井 康	三春町歴史民俗資料館
県中	小豆畑 毅	石川町史編纂室
県南	佐川 庄司	白河市役所都市計画課
県南	根本 信孝	元白河市史編纂室
会津	野沢 謙治	郡山女子大学短期大学部
会津	小澤 弘道	喜多方市職員
会津	大竹 亮作	元県立若松女子高等学校教諭

南会津	樋口 弘一	自営業
相 双	水久保克英	南相馬市博物館
いわき	高橋 紀信	元県立磐城高等学校教諭
いわき	小野 佳秀	いわき市暮らしの伝承郷

#### (イ) 会議

平成19年12月7日

議題

- ①平成19年度福島県立博物館事業概要
- ②平成19年度年間行事予定講座別一覧表
- ③企画展・収蔵品展・移動博物館について
- ④展示資料学術調査研究について

#### (ウ) 調査員実績

- ①各分野別調査カード枚数：

民俗12 歴史22 自然36 計70

- ②提供資料：

野沢謙治調査員：郡山女子大学所蔵の冠木呉服店資料コピー

藤井 康調査員：「三春町歴史民俗資料館 高橋哲夫先生寄贈資料目録」コピー

#### (3) 受贈・受託

##### (ア) 歴史・美術資料

- ①受贈

武田晴信書状 他	6件	個人
脇坂殿江差出書付之由写	1件	個人
砲弾	1件	個人
カメラ類	1括	個人
小手三十三札所観世音御詠歌 他	47件	個人
日蓮上人御一代記 他	35件	個人
版木 他	64件	個人
スクラップブック(新聞記事)	1件	個人
読売ニュース焼付版 他	166件	個人
8ミリ撮影機 他	4件	個人
弓	1件	個人
婚礼用草履、絵葉書 他	3件	個人
染付牡丹唐草模様大皿 他	36件	個人
武井柯亭 詩書屏風 他	2件	個人
文化光画	1件	個人
佐藤観山筆 秋景図屏風	1件	個人
書籍・屏風 他	33件	個人
漆工品、陶磁器 他	96件	個人
槍(銘 越前国下坂)	1件	個人

- ②受託

杖	1件	個人
---	----	----

文書類	1括	個人
陣笠	1件	個人
雑記帳	1件	個人
会津曆版木火鉢・会津曆	2件	個人
鉄線蒔絵化粧道具	1件	個人
文書	2件	個人
蒲生羅漢筆 山水図	1件	個人
遠藤香村筆 韓信岳飛図屏風	1件	個人
遠藤香村筆 春秋山水図屏風	1件	個人
源氏物語図屏風	1件	個人
大久保甲東落款 書 七言絶句 他	2件	個人
熊坂適山筆 山水花鳥図 他	7件	個人
雲岳筆 駒図 他	3件	個人
染付朝陽浴鶴図花瓶 他	6件	個人
遠藤香村筆 西園雅集図屏風 他	2件	個人
漆器店看板 他	2件	個人
古写真	33件	個人
麒麟置物	1件	個人

(イ) 民俗資料

①受贈

ヤバネ	1件	個人
細蓑 他	3件	個人
銘仙カイマキ 他	11件	個人
襦袢 他	54件	個人

(ウ) 考古資料

①受贈

考古資料 (石器類)	21件	個人
採集考古資料	204件	個人
考古資料	6件	個人

(エ) 自然資料

①受贈

梁川層産化石資料	25件	個人
会津磐梯山大噴火報告書	1件	個人
相馬中村層群産貝類化石	37件	個人
化石標本 他	419件	個人
化石標本	4件	個人
教育学部地学教室旧蔵地学標本類	149件	福島大学

(4) 購入

(ア) 歴史資料

上総国飯野藩保科弾正忠文書	1括
安積疎水志 (全4巻)	1件
新城酒店関係引き札	4件

(イ) 美術資料

掛軸「歳寒三友図」	1件
掛軸「牡丹に鶏図」	1件
掛軸「唐人物図(関羽図他)」双幅	1件
渡部雅堂筆「白虎隊自刃図」	1件
絵ハガキ等	18件

(ウ) 自然資料

ステゴドンゾウ頭骨化石	1件
魚類化石	2件
各種化石標本	33件

(エ) 図書資料

①一般図書

考古分野129冊、歴史分野75冊、美術分野159冊、民俗分野79冊、自然分野160冊、保存科学分野64冊、その他135冊、計801冊

②定期刊行物

考古分野6件、歴史分野7件、美術分野4件、民俗分野2件、自然分野6件、保存科学分野2件、分野共通7件、計34件

## 2. 保存管理事業

(1) 資料の収蔵

(ア) 博物館資料

資料受入れ時点における件数(概数)の、現在までの累計を示す。

収集資料数

(平成20年3月31日現在)

分野	件数	備考
考古	18,295	土器・石器・金属器ほか
民俗	12,285	生活・生業・交通・信仰・芸能用具ほか
歴史	20,487	書籍・文書資料ほか
美術	5,411	絵画・彫刻・工芸資料ほか
自然	45,943	化石・岩石・鉱物ほか
合計	102,421	



収蔵指定文化財（寄託資料を含む）

連番	指定者	指定種別	資料種類	資料名	点数	単位
1	国	重要文化財	絵画	絹本着色阿弥陀二十五菩薩来迎図	1	幅
2	国	重要文化財	工芸品	銅鉢	2	口
3	国	重要文化財	工芸品	椿彫木彩漆笈	1	背点
4	国	重要文化財	工芸品	白銅三鈷杵	1	点
5	国	重要文化財	工芸品	刺繍阿弥陀名号掛幅	1	幅
6	国	重要文化財	考古資料	会津大塚山古墳出土品	一括	
7	福島県	重要文化財	絵画	絹本着色松平楽翁像	1	幅
8	福島県	重要文化財	絵画	七里ヶ浜遠望図	1	面
9	福島県	重要文化財	絵画	絹本着色達磨図	1	幅
10	福島県	重要文化財	絵画	絹本墨画著色寒山図・絹本墨画著色拾得図	2	幅
11	福島県	重要文化財	絵画	絹本着色名体不離阿弥陀画像	1	幅
12	福島県	重要文化財	絵画	絹本着色熊野曼陀羅図	1	幅
13	福島県	重要文化財	絵画	絹本着色普賢菩薩像	1	幅
14	福島県	重要文化財	彫刻	木造地藏菩薩坐像	1	軀
15	福島県	重要文化財	彫刻	銅造聖観音菩薩立像（羽黒山湯上神社）	1	軀
16	福島県	重要文化財	彫刻	銅造聖観音菩薩立像（福聚寺）	1	軀
17	福島県	重要文化財	工芸品	銅鉢	1	口
18	福島県	重要文化財	工芸品	青磁牡丹唐草文大瓶	1	口
19	福島県	重要文化財	工芸品	刺繍阿弥陀三尊来迎掛幅	1	幅
20	福島県	重要文化財	書跡	紙本墨書猪苗代兼載書八代集秀逸	1	巻
21	福島県	重要文化財	書跡	相馬家系図	1	巻
22	福島県	重要文化財	典籍	家世実記	277	冊
23	福島県	重要文化財	古文書	塔寺八幡宮長帳断簡	9	紙
24	福島県	重要文化財	古文書	築田家文書	一括	
25	福島県	重要文化財	考古資料	福島信夫山出土品	一括	
26	福島県	重要文化財	考古資料	金銅製双魚袋金具	2	枚
27	福島県	重要文化財	考古資料	原山一号墳出土埴輪	一括	
28	福島県	重要文化財	考古資料	梁川城本丸跡出土品	一括	
29	福島県	重要文化財	考古資料	常世原田遺跡出土品	一括	
30	福島県	重要文化財	考古資料	流廃寺跡出土金銀象嵌鉄剣	1	口
31	福島県	重要文化財	考古資料	田村山古墳出土品	一括	
32	福島県	重要文化財	歴史資料	絹本着色恵日寺絵図	1	幅
33	福島県	重要文化財	歴史資料	陸奥国会津城絵図	1	鋪
34	福島県	重要有形民俗文化財	有形民俗文化財	上行合人形	368	点
35	福島県	天然記念物	化石	パレオパラドキシア化石梁川標本	1	体

(イ) 図書および映像資料

- ①収蔵図書数（平成20年3月31日現在）  
 考古分野：17,720冊 民俗分野：3,614冊  
 歴史分野：6,740冊 美術分野：2,724冊  
 自然分野：14,183冊 保存分野：1,291冊  
 その他：44,468冊  
 合計：90,740冊

- ②収蔵映像資料数（平成20年3月31日現在）  
 981点

コンピュータを用い、博物館資料を次のとおりデータベースに入力した。値はデータベース入力済み資料の件数を示す。

データ入力数（平成20年3月31日現在）

分野	データ入力 (平成19年度)	データ入力 (累計)
考古	321	9,771
民俗	370	11,175
歴史	3,113	30,113
美術	112	5,225
自然	1,082	19,763
合計	4,998	76,047

(2) 登録・整理

(ア) 収蔵管理システムの運用

平成14年に、資料管理のためのデータベースソフトを新たに開発、コンピュータネットワークを構築し、サーバ・クライアント方式で資料の登録・管理を実施している。平成19年度は、博物館資料の登録をはじめ、データのバックアップ、システムのアップデートなどのメンテナンスなどを実施した。

(イ) データベースへの入力

### (3) 貸出

#### (ア) 博物館資料

##### 貸出資料

資料名	貸出先	期間	展覧会名
桜井遺跡出土遺物54点	南相馬市博物館	4月1日～平成20年3月31日	同館常設展
三貫地貝塚出土骨角器5点	福島県文化財センター白河館	4月1日～平成20年3月31日	同館常設展「暮らしをささえた道具たち」
ちからくさ	若松城天守閣郷土博物館	5月12日～7月18日	企画展「白虎隊」
朝鮮軍陣図屏風	若松城天守閣郷土博物館	7月11日～9月5日	企画展「戦国武将 加藤嘉明」
パレドパレドキシア梁川標本関連資料18点	千葉県立中央博物館	5月25日～9月30日	企画展「化石が語る熱帯の海1600万年前の日本」
保科正之画像	彦根城博物館	10月13日～12月9日	国宝・彦根城築城400年記念特別企画展「百花繚乱-彦根歴史絵巻-」巻の8「戦国から泰平の世へ-井伊直政から直孝の時代-」
新生代植物化石14点	ふくしま海洋科学館	7月3日～平成20年7月2日	常設展「いわき地方の化石」
ハリアリの入ったコハク標本(いわき市大久町産出)	いわき市石炭・化石館	6月29日～9月15日	特別展「時のタイムカプセル琥珀展 コハクの中に太古の世界が見える」
郡山市徳定A・B遺跡出土土器19点 アクリルパネル4枚	郡山市文化・学び振興公社文化財調査研究センター 郡山市民文化センター	7月19日～8月10日	企画展「探してみよう!川辺のむかし」
会津大塚山古墳出土遺物 田村山古墳出土遺物	福島県文化財センター白河館	9月21日～12月21日	まほろん秋のてんじ「ふくしまの重要文化財V-考古資料:古墳時代前期」
天神沢遺跡出土石器 石包丁11点 磨製石剣1点	仙台市富沢遺跡保存館	10月2日～12月15日	企画展「交流の証-モノは旅する-」
平成17年度「中世の恵日寺-会津仏教文化の再興」展展示パネル4点	磐梯町磐梯山慧日寺資料館	10月2日～11月15日	「慧日寺の遺宝」
浮世絵「古今百風吾妻余波」 葉っぱデコ 竹鉄砲 竹馬	仙台市歴史民俗資料館	10月18日～平成20年4月20日	特別展「あそびの図鑑」
秋草蒔絵文台硯箱 夏山霽晴飾皿 展示ケース2台	会津若松文化振興財団 会津若松市文化センター	11月20日～11月28日	11月20日～11月28日
借宿庵寺出土塼仏(複製)	白河市歴史民俗資料館	11月1日～平成20年1月18日	テーマ展「白河の遺跡」
須賀川市跡見塚古墳出土ガラス玉・管玉・切子玉・勾玉 8件	須賀川市立博物館	1月25日～平成21年1月24日	常設展「須賀川の歴史」
南相馬市真野古墳群出土遺物 5点 真野古墳群写真 2点	福島県文化財センター白河館	2月22日～5月11日	企画展「まほろん春のてんじ 新編陸奥国-巻之六 行方郡-」
丸塚古墳出土人物埴輪(胡座を組む男子) 経塚1号墳出土馬形埴輪(飾り馬2) 会津大塚山古墳出土品9件	東北歴史博物館北海道開拓記念館新潟県立歴史博物館	4月10日～11月14日	特別展「古代北方世界に生きた人びと-交流と交易-」
松平定信像 谷文晁筆「八仙人図」	桑名市博物館	4月8日～6月8日	企画展「生誕250年 松平定信」
三貫地貝塚出土骨角製品・貝製品13点 七郎内C遺跡出土ヒスイ製大珠 ヒスイ原石	郡山市文化・学び振興公社ビッグアイ6階市民ふれあいプラザ展示室	2月22日～3月18日	企画展「アクセサリ-いま・むかし」

#### (イ) 写真資料

写真資料貸出掲載許可件数・合計枚数(延べ枚数)

美術分野 48件・124枚、歴史分野 28件・61枚、考古分野 20件・52枚、民俗分野 7件・22枚、自然分野 3件・184枚

計 106件・443枚

#### (4) 保存

##### (ア) 防虫作業等

##### ①保存環境調査

常設展示室・収蔵資料展示室・企画展示室、

収蔵庫（一時、第1～第6収蔵庫）、エントランスホール、体験学習室、講堂、事務室、会議室、研究室、図書室、空調機械室など主要なスペースについて昆虫、空中浮遊菌、空中浮遊塵埃数、室内塵埃中昆虫、気相（酸・アルカリ度、ホルムアルデヒド、酢酸、二酸化窒素、二酸化イオウの濃度）及び温度、湿度、照度等について調査を行った。

調査は季節による生息害虫等の変化を確認するため、6月26日～7月13日、11月25日

～12月6日の2回にわたり実施した。

②燻蒸庫による燻蒸

第1回（8月9日）～第3回（1月29日）まで、新収蔵資料および企画展出品資料を中心に約321件の燻蒸をした

(イ) 保存処理作業

- ①木製遺物 恵日寺跡出土木製遺物
- ②金属製遺物 浦尻遺跡出土鉄製遺物  
勿来金冠塚出土鉄製遺物

### 3. 展示企画事業

(1) 常設展示

総合展示と部門展示からなる。総合展示は、原始から現代までの福島県の歴史を通観し、人々の暮らしを時系列に沿って展示している。原始・古代・中世・近世・近現代・自然と人間のテーマで構成される。部門展示は、テーマ性

の高い専門的な展示であり、民俗・自然・考古・歴史美術の展示に分かれる。部門展示の歴史美術は常設展示の中ではギャラリー的な役割を受け持ち、年間7～8回のテーマを持ったミニ展示を開催している。

(ア) 展示テーマと展示資料数

テーマ別展示資料数

(平成20年3月31日現在)

大テーマ	中テーマ	標本	情報	計	大テーマ	中テーマ	標本	情報	計
原 始	A-1 福島最古の人間	37	16	53	近 世	D-1 奥羽仕置と諸藩の成立	15	2	17
	2 氷河時代の生活	66	3	69		2 学問と文化	26	2	28
	3 最終氷期後半の環境	15	2	17		3 庶民の信仰	62	0	62
	4 環境の変化と生業	215	8	223		4 会津農書の世界	58	2	60
	5 縄文のムラ	158	14	172		5 町のにぎわい	34	8	42
	6 縄文人	3	4	7		6 山国の神と人	51	3	54
	7 信仰と墓地	64	13	77		7 産業の発達	25	2	27
	8 稲作の開始	97	6	103		8 海のなりわい	29	1	30
	9 再葬の墓	12	14	26		9 ゆれうごく封建社会	27	11	38
	小計	667	80	747		小計	327	31	358
古 代	B-1 会津大塚山古墳	175	5	180	近 ・ 現 代	E-1 戊辰戦争	28	11	39
	2 原山1号墳の主	26	1	27		2 自由民権運動	27	19	46
	3 群集する古墳	48	6	54		3 福島県の成立	36	8	44
	4 ムラの暮らし	217	7	224		4 安積開拓事業	5	15	20
	5 陸奥国の成立	42	23	65		5 庶民の生活	29	16	45
	6 公民の生活	135	3	138		6 日本の花形産業	37	17	54
	7 在地の仏教	8	2	10		7 15年戦争下の生活	45	10	55
	小計	651	47	698		8 戦後の社会	54	5	59
小計				9 変わりゆく社会		0	4	4	
中 世	C-1 阿津賀志山の合戦	1	5	6	小計	261	105	366	
	2 神仏習合の世界	48	1	49	F 自然と人間	F-1 福島盆地と平野	27	7	34
	3 好嶋庄の村むら	5	2	7		2 福島の大仏	71	14	85
	4 南党と北党	21	3	24		3 福島の大仏と湖	13	7	20
	5 国人一揆	4	3	7		4 福島の大仏	11	20	31
	6 戦国の群雄	27	4	31		小計	122	48	170
小計	106	18	124						

大テーマ	中テーマ	標本	情報	計
民俗 子供の 島の 世界の	1 七歳まではカミのうち	114	14	128
	2 遊びをせんとや生まれけむ	134	16	150
	3 小さき者の声	15	11	26
	小 計	263	41	304
自然 県土の 形成	1 基盤形成の時代	193	24	217
	2 海の時代	126	9	135
	3 山脈形成の時代	53	11	64
	4 段丘形成の時代	63	9	72
	小 計	435	53	488
考古 容器 の変遷と	(a 旧石器・縄文・弥生)	166	1	167
	(b 古墳・奈良・平安)	160	0	160
	(c 中世・近世)	20	0	20
	(d 近 現代)	14	0	14
	小 計	360	1	361

大テーマ	中テーマ	標本	情報	計
歴史 美術	テーマ展示	29	0	29
	小 計	29	0	29
その他	ビデオ・ブース	1	32	33
	ホール・ロビー	2	1	3
	小 計	3	33	36
	総合展示計	2,134	329	2,463
	部門展示計	1,087	95	1,182
	合 計	3,221	424	3,645
	総計〔総合・部門・導入展等〕	3,224	457	3,681

⑧おかえりなさい！ミス福島（これについては(3)その他の展示で詳述）

会期：2月16日(土)～3月16日(日)

⑨ささやかなみやびー子どもの着物と祝いの装い

会期：3月22日(土)～5月11日(日)

(ウ) 展示替え

総合展示室の古代～近世において展示品の入れ替えを行った。

展示資料中の借用資料数 (平成20年3月31日現在)

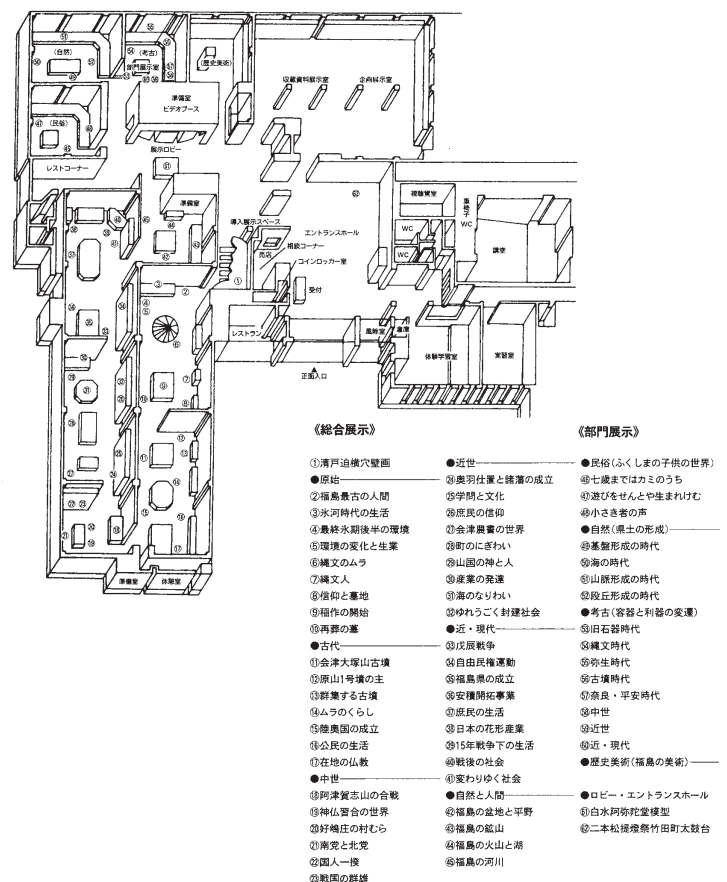
区分	大テーマ	標本資料	情報資料	合計	借用資料(内数)
総合展示	原 始	667	80	747	193
	古 代	651	47	698	356
	中 世	106	18	124	10
	近 世	327	31	358	144
	近・現代	261	105	366	120
	自然と人間	122	48	170	45
部門展示	民 俗	263	41	304	20
	自 然	435	53	488	35
	考 古	360	1	361	160
	歴史・美術 (テーマ展示)	29	0	29	0
	ロビー他	3	33	36	0
総 計		3,224	457	3,681	1,083

(イ) 歴史美術テーマ展示

常設展示室の「歴史美術」の展示室において、定期的にテーマを儲け、歴史・美術を中心とした収蔵・借用資料を展示した。

- ①能をとりまく美術  
会期：平成19年4月1日(日)～5月6日(日)
- ②社寺が伝えた祈りの美  
会期：5月8日(火)～6月17日(日)
- ③会津を訪れた画家たちー喜多方美術倶楽部  
会期：6月19日(火)～7月29日(日)
- ④ふくしま窯めぐり1  
会期：8月4日(土)～9月17日(月・祝)
- ⑤けんぱくの宝ー県博収蔵美術工芸資料展  
会期：9月22日(土)～11月18日(日)
- ⑥会津暦  
会期：11月23日(金)～1月20日(日)
- ⑦こけし、張子に土人形ー郷土玩具大集合！  
会期：1月26日(土)～2月14日(木)

福島県立博物館の展示構成





## (2) 企画展示

歴史・美術・民俗・考古・自然の各分野が企画し、館のオリジナルなテーマに基づいた展示を中心に、2ヶ月程度の期間で年に数回開催している。平成19年度は2回の企画展を実施した。

### (ア) 夏の企画展

「樹と竹 一列島の文化 北から南から」

1. 会 期 平成19年7月21日(土)～9月17日(月)
2. 入館者数 3,079人
3. 担当学芸員 民俗分野：佐々木長生
4. 趣 旨

この企画展は、当館と鹿児島県歴史資料センター黎明館との共同企画で開催した。福島県は東北南端に、鹿児島県は九州の南端にそれぞれ位置する。東北の寒冷・雪、九州の温暖・雨という気候がイメージされ、まさに北国・南国という対照的な風土にある。植生をみると、東北の落葉広葉樹林、九州の照葉樹林という植生環境があり、北のブナ林・南の竹林という景観がみられる。

今回の企画展では福島県、鹿児島県という二県のみでなく、北は東北、北海道、樺太、東北アジアへ、南は沖縄、東シナ海を介して東南アジアへと、東シナ海・日本海を含めた「東アジア内海世界」という枠組みのもとに構成した。東アジアの中の日本、列島の文化を見ようとするものであった。

## 5. 展示構成

### I 樹と竹の世界

わが国は、温帯モンスーン気候にあり、春夏秋冬の四季の変化を持つ、温暖な地といえる。九州をはじめとする西日本と、東北・北海道の東日本では雨と雪という気候上、大きな変化がある。こうした自然条件は、植生にも大きく関連してくる。

九州をはじめとする西日本地方は、照葉樹林の植生と竹林におおわれた森林景観である。東北をはじめとする東日本は落葉広葉樹林の植生とブナ林などにおおわれ、北海道では針葉樹林という森林景観といえる。大きく分けて二つの植生による西日本地方と東日本地方、この環境は長い間の生活の歴史のなかで、生業や住居、言葉などさまざまな違いがでてくる。南九州の竹林、東日本のブナ林という植生と人間との関わりを、比較しながら生業を中心に樹と竹がどのように利用されてきたかを考えた。

### II 北と南の生業（なりわい）

ブナ林の雪どけの水が豊富な地域は、わ

が国を代表する稲作地帯であり、雪の恵みを米作りに生かしてきた。寒冷地における農法は、近世の農書に見ることができきる。また、ブナ林の木の実を餌とする獣・鳥類を捕獲し、人びとは生活のかてにしてきた。ブナをはじめナラなど多くの樹々は、木地碗や炭焼などの産業を育んできた。山村地域という限られた土地では、山林を焼き雑穀を栽培する焼畑耕作を行ってきた。

南九州から南西諸島の地域に住む人々は、竹や木の照葉樹林を焼いて作物を作る焼畑をはじめ、畑作を中心とする農業、猪や鹿などの集団狩猟や、鮎などの河川漁撈、鰹や飛び魚などの海の漁撈を営み、竹を含む照葉樹林や黒潮の恵みを豊かに受けた暮らしを続けてきた。

### III 樹と竹が語る列島の北と南

ブナをはじめとする落葉広葉樹は、冬の大雪の水分を土中に貯え、初夏には勢いよく水分を吸い上げる。この時期にその樹皮をはぎ、人々は容器や縄、袋などを製造してきた。竹は毎年新しく生えていき、鬱蒼とした竹林を形成していく。人々は順次竹を切り、竹林を育成しながら籠やザル・箕などの生活用具を製造してきた。北と南の植生は、ブナの森と竹林に象徴される森の恵みである。この文化様相は、南は東シナ海越えに東南アジアへ、北は北海道から北東アジアにまで系譜をたどることができる。そして、これらは日本列島と東南アジアから北東アジアまでの、ひとつの世界とみることもできうる。

### IV 北と南の神々たち

ブナ林そして竹林をもつ山には山の神がおり、山の神からの恵みとして猟を行い、樹木や竹を伐採したり、山菜やきのこなどの食料などを得てきた。北と南にはそれぞれの山の神がいた。家の神としては北のオシラ様、南のウグーサン（内神様）などの様々な神々たちがおられる。正月には、北のナマハゲ、南のトシドンなどの来訪神もいる。北と南、それぞれの地域の神々たちは、いつも子孫の生活を見守ってきている。

### V 北と南の風景から（エピローグ）

「樹と竹の世界」から、列島の文化が見える。そこには幾つもの地域差や地域性があり、幾つもの列島の文化がある。また、幾つもの文化には重なり合うもの、明確に線引きできない地域もある。藤本強氏が提

唱する「ボカシの地帯」であろう。「列島の文化、北から南から」をみることにより、その中間にある文化も見えてくるのではなからうか。

## 6. 関連行事

### ① 記念シンポジウム「樹と竹―列島の文化、北から南から」

日時 7月22日(日)午後1時30分～4時30分

パネラー

物質文化研究所一芦舎代表 名久井文明氏  
鹿兒島県歴史資料センター黎明館学芸課長 川野和昭氏

福島県立博物館学芸員 佐々木長生

コーディネーター

福島県立博物館長 赤坂憲雄

### ② 記念講演会「もう二つの日本文化」

日時 7月29日(日)午後1時30分～3時

講師 福島県文化財センター白河館館長

藤本 強氏

### ③ 実演「皮箕・荷縄・籠づくり」

日時 9月16日(日)午後1時～3時30分

講師 皮箕 山内善次氏 荷縄 東原 享氏

籠 二瓶新永氏

(いずれも昭和村の方々)



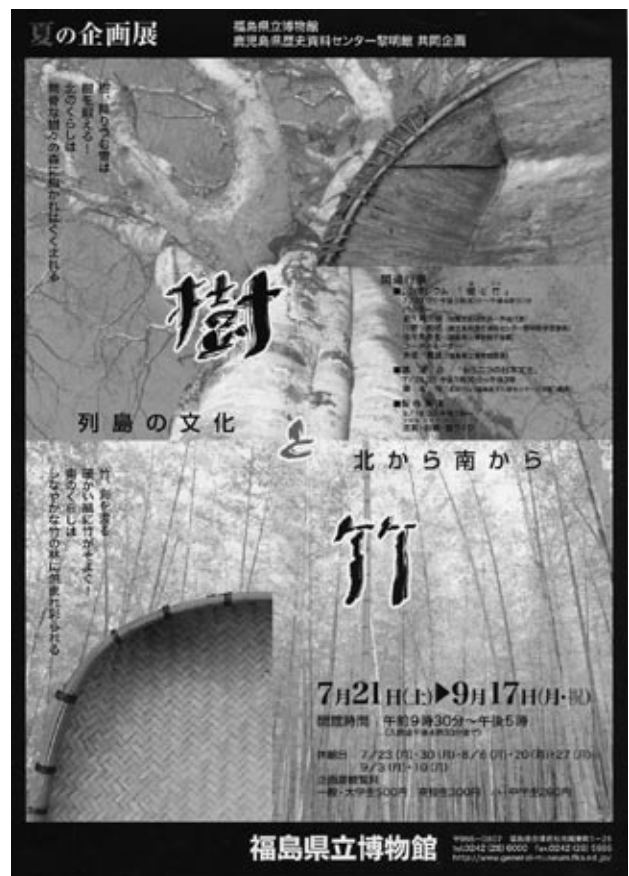
「樹と竹」展示風景 1

## 7. 成果と課題

① 鹿兒島県の博物館と共同企画の結果、豊富な資料を展示することができた。

② 日本文化を南北の両方からの視線により再構成するという大きなテーマを掲げて臨んだ展覧会であった。しかし、そのことが来館者にうまく伝わったかどうかという問題が残った。

③ ダイナミックな構想ではあったが、そのことが来館者数に反映することがなかった。一般の関心との間をつなぐ回路を設定することが十分ではなかった。



「樹と竹」リーフレット



「樹と竹」展示風景 2

企画展「樹と竹」展示資料一覧

テーマ	資料名	使用地	所蔵者	
I 樹と竹 1. 南九州の竹林 2. 縄文の樹と竹	孟宗竹 (最大径)	鹿児島県薩摩郡さつま町	宮之城伝統工芸センター	
	真竹 (最大径)	鹿児島県薩摩郡さつま町	宮之城伝統工芸センター	
	荒屋敷遺跡出土 籠	福島県大沼郡三島町	三島町教育委員会	
	荒屋敷遺跡出土 編布	福島県大沼郡三島町	三島町教育委員会	
	荒屋敷遺跡出土 刳物荒型	福島県大沼郡三島町	三島町教育委員会	
	荒屋敷遺跡出土 刳物	福島県大沼郡三島町	三島町教育委員会	
	荒屋敷遺跡出土 網状紐	福島県大沼郡三島町	三島町教育委員会	
	荒屋敷遺跡出土 斧柄	福島県大沼郡三島町	三島町教育委員会	
	荒屋敷遺跡出土 竹の束	福島県大沼郡三島町	三島町教育委員会	
	荒屋敷遺跡出土の縄文土器	福島県大沼郡三島町	三島町教育委員会	
	荒屋敷遺跡出土の縄文土器	福島県大沼郡三島町	三島町教育委員会	
	荒屋敷遺跡出土の縄文土器	福島県大沼郡三島町	三島町教育委員会	
	編み物	佐賀県佐賀市東名遺跡	佐賀市教育委員会	
	編み物	佐賀県佐賀市東名遺跡	佐賀市教育委員会	
	編み物①	福岡県久留米市正福寺遺跡	久留米市教育委員会	
	編み物⑨	福岡県久留米市正福寺遺跡	久留米市教育委員会	
	隆帯文土器 (52)	鹿児島県熊毛郡中種子町三角山遺跡	鹿児島県立埋蔵文化財センター	
	圧痕文土器 (115)	鹿児島県熊毛郡中種子町三角山遺跡	鹿児島県立埋蔵文化財センター	
	圧痕モデリング	鹿児島県熊毛郡中種子町三角山遺跡	鹿児島県立埋蔵文化財センター	
	前平式土器	鹿児島県鹿児島市前原遺跡	鹿児島県立埋蔵文化財センター	
	塞ノ神式土器	鹿児島県霧島市福山町城ヶ尾遺跡	鹿児島県立埋蔵文化財センター	
	嘉徳式土器	鹿児島県奄美市笠利町下山田Ⅱ遺跡	鹿児島県立埋蔵文化財センター	
	嘉徳式土器	鹿児島県奄美市笠利町下山田Ⅱ遺跡	鹿児島県立埋蔵文化財センター	
	組織痕土器	鹿児島県曾於市桐木耳取遺跡	鹿児島県立埋蔵文化財センター	
	圧痕モデリング	鹿児島県曾於市桐木耳取遺跡	鹿児島県立埋蔵文化財センター	
	曾畑式土器	鹿児島県鹿児島市仁田尾中A・B遺跡	鹿児島県立埋蔵文化財センター	
	II 北と南の生業 1. 北の生業 (1)「会津農書」の世界	『会津歌農書』3冊		佐瀬哲治 (福島県立博物館寄託)
		『会津農書附録』1冊		佐瀬哲治 (福島県立博物館寄託)
		『会津孝子伝』1冊		福島県立博物館
		大泉四季農業図		致道博物館
		菅江真澄『雪の出羽路』写本		秋田県立博物館
		菅江真澄『月の出羽路』写本		秋田県立博物館
		苗舟		致道博物館
		テングラ		致道博物館
		テズラ		福島県立博物館
		ナンバ		福島県立博物館
		大足		福島県立博物館
		汰桶 (センダイ)		福島県立博物館
		汰板 (センダイ)		福島県立博物館
		ヒラキ		福島県立博物館
		木摺臼		会津民俗館
(2)焼畑の風景		コウガイ		福島県立博物館
		コウガイ		個人
		カツア		只見町教育委員会
		カクサ棒		福島県立博物館
(2)焼畑の風景		山 鎌		会津民俗館
		マトリ		田中忠三郎
		粟 穂		福島県立博物館
(3)北の狩猟		狩人装束		会津民俗館
		シン突き槍		会津民俗館
(4)サケ・マスの漁撈		鱒 鉤		只見町教育委員会
		投網		只見町教育委員会
		網背負箱		只見町教育委員会
	鱒ドウ		只見町教育委員会	
	鱒突ヤス		只見町教育委員会	
	鱒 網		福島県立博物館	
	鱒 鉤		福島県立博物館	
	置鉤 (鱒用)		喜多方市教育委員会	
	鮭千本供養塔		致道博物館	
	鮭大網之図		致道博物館	
	掛軸「鱒漁」の図		個人	
	鱒つき槍		個人	
	鮭皮のくつ ケリ		会津民俗館	
	鮭皮のくつ ケリ		田中忠三郎	
(5)北の織物	アットウシ (アイヌ) (オヒョウ皮製)		会津民俗館	

テーマ	資料名	使用地	所蔵者
	アットゥシ (アイヌ) (シナ皮製)		会津民俗館
	藤織ジバン		会津民俗館
	シナ織反物		会津民俗館
	藤織反物		会津民俗館
	ヨッツオ糸玉		只見町教育委員会
	ヨッツオからみ		只見町教育委員会
	シナ糸からみ		田口召平
	シナ織袋		会津民俗館
	サシコ (庄内模様刺)		会津民俗館
	ソデナシ (庄内 肥引)		会津民俗館
	裂織ジバン		会津民俗館
	サシコハンテン (南郷)		福島県立博物館
2. 南の生業	成形図説 農事部 1巻~10巻		鹿児島県歴史資料センター黎明館
(1)「成形図説」の世界	南島雑話		鹿児島大学附属図書館
	南島雑話		奄美市立奄美博物館
	農耕の図		新田神社 (薩摩川内市川内歴史資料館寄託)
	田打ち鋤	鹿児島県大島郡知名町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	田下駄	鹿児島県肝属郡南大隅町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	トンギ	鹿児島県大島郡徳之島町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ヘラ	鹿児島県大島郡瀬戸内町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	マムシのピンタ	鹿児島県熊毛郡種子町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	オデグワ	鹿児島県垂水市	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	鋤	中国・雲南省元陽県・ハニ族	国立民族学博物館
	掘り棒	鹿児島県大島郡知名町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ルッサンカオ	ラオス・ルアンパバーン県ラットエン村・ラオ族	個人
	チュック	ラオス・ルアンナムタム県チャルンスット村・カムクエン族	個人
(2)竹の焼畑の風景	ヤマキリ	鹿児島県鹿児島郡十島村悪石島	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ナダガマ	鹿児島県鹿児島郡三島村 竹島	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	リヤ	ラオス・ウドムサイ県バクメン村・モン族	個人
	チュウロー	ラオス・ルアンナムタム県ナムル村・ランテン族	個人
	ヘラ	鹿児島県鹿児島郡十島村 口之島	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ツメ	鹿児島県鹿児島郡十島村 悪石島	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ヘヤップ	ラオス・フォーパン県ナラ村・タイデン族	個人
	ヘヤップ	ラオス・フォーパン県ナラ村・タイデン族	個人
	ディップ	ラオス・ヴィエンチャン県ソムサワット村・ヤオ族	個人
	ディップ	ベトナム・イエンミン県チャム村・赤ザオ族	個人
	タープ	ラオス・ボンサリー県ホック村・モン族	個人
	イエー	ベトナム・ラオバ県コックサー村・ロロ族	個人
	ヴォー	ラオス・ルアンパバーン県ロンラオ村・モン族	個人
	ヘップ・タン・カオ	ラオス・シェンクワン県プーシー村・ムイ族	個人
(3)南の狩猟	諏訪流御狩秘傳書	鹿児島県日置市東市来町尾木場	個人 (鹿児島県歴史資料センター-鹿児島県歴史資料センター黎明館寄託)
	山之神御本地一巻	鹿児島県肝属郡錦江町	個人
	オコゼ	鹿児島県薩摩郡さつま町	個人
	ヨビブエ	鹿児島県肝属郡錦江町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ヨビブエ	鹿児島県肝属郡肝付町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ヨビブエ	鹿児島県肝属郡肝付町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	アオバトブエ	鹿児島県始良郡蒲生町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	キジヨビ	鹿児島県大口市	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ヨビ	鹿児島県熊毛郡上屋久町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ヨビ	鹿児島県熊毛郡上屋久町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ヨビ	鹿児島県熊毛郡上屋久町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ユント・イアル・ブリ	ラオス・ルアンパバーン県ドゥン村・カム族	個人
	ユント・イアル・ブリ	ラオス・ルアンパバーン県ドゥン村・カム族	個人
	シュンカー	ラオス・ルアンパバーン県チュンミン村・モン族	個人
	マッチョロイ・ノック	ラオス・ウドムサイ県ティンタイ村・タイル族	個人
	ハクダシェ	ラオス・ウドムサイ県ヤール村・アカ族	個人
	シシワナ	鹿児島県大口市	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ヤマインノワナ	鹿児島県鹿屋市	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	火縄銃	鹿児島県川辺郡川辺町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ヤマカラシ	鹿児島県出水市	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	タマツクリの道具	鹿児島県奄美市住用町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	タマツクリの道具	鹿児島県奄美市住用町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ジッダンツクリ	鹿児島県肝属郡錦江町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	オトシダマツクリ	鹿児島県肝属郡錦江町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	バラダマツクリ	鹿児島県肝属郡錦江町	鹿児島県歴史資料センター黎明館



テーマ	資料名	使用地	所蔵者
	デッキュ	鹿児島県志布志市	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	カ	ラオス・ルアンナムタ県チャラ村・クイ族	個人
	カ	ラオス・ルアンナムタ県チャラ村・クイ族	個人
	モ	ラオス・ウドムサイ県ケオ村・カム族	個人
	カユー	ラオス・ルアンナムタ県ホエルー村・ムシュダー族	個人
(4)アユの漁撈	ウケ	鹿児島県薩摩川内市入来町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
(5)南の織物	バシャギ	鹿児島県大島郡和泊町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	クズタナシ	鹿児島県薩摩川内市下甕町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ピーダナシ	鹿児島県薩摩川内市下甕町	個人・下甕郷土館寄託
	八重山上布	沖縄県	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ドンダー	鹿児島県大島郡喜界町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ニンブ	鹿児島県薩摩川内市下甕町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	バシャギン (カミギン)	鹿児島県大島郡宇検村阿室	宇検村教育委員会
	ハブラドギン	鹿児島県大島郡宇検村阿室	宇検村教育委員会
	ドギン	鹿児島県大島郡宇検村屋鈍	宇検村教育委員会
	女児の上着	タイ・ラフ族	原野農芸博物館
	チョー	ラオス・ルアンナムタ県・モン族	個人
	オブギン (男児用)	鹿児島県鹿児島郡十島村 口之島	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	オブギン (女児用)	鹿児島県鹿児島郡十島村 口之島	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ターンドゥ	ラオス・ルアンナムタ県・モン族	個人
	ピンディツ	ラオス・ルアンナムタ県タホム村・アカ族	個人
	キンファンチュアツ	ラオス・ボンサリ	個人
III 箬と竹が語る列島の北と南	サルナシ箕		田口召平
1. 箕が語る北と南	ニキョウ箕	岩手県二戸	田口召平
(1)北の皮箕	イタヤ箕	秋田県黒沢 (自作)	田口召平
	イタヤ箕	秋田県五城目	田口召平
	オッカ箕	山形県飯豊町	田口召平
	谷口箕 (やのくちみ)	山形県次年子	田口召平
	ダルマ箕	青森県木造町	田口召平
	桜皮箕		田口召平
	イタヤ箕	青森南部	田中忠三郎
	イタヤ箕		田中忠三郎
	桜皮箕		田中忠三郎
	皮箕	青森	田中忠三郎
	皮箕	三島町	福島県立博物館
	皮箕		秋田県立博物館
	エボ	会津	福島県立博物館
	エビザル	青森	田中忠三郎
	ッ		田口召平
(2)南の竹箕	箕	鹿児島県曾於市末吉町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	バラ箕	鹿児島県日置市吹上町	個人
	ムイ	沖縄県宮古島市下地町	沖縄県立博物館
	バラ	鹿児島県川辺郡川辺町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ハラ	鹿児島県大島郡和泊町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	パラ	鹿児島県大島郡大和村	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ミジョウキ	沖縄県名護市	名護博物館
(3)東北アジアの皮箕	アイヌノ箕 木製	アイヌ	国立民族学博物館
	水汲み桶 (ヤラニトウシ)		国立民族学博物館
	容器 (ヤラニマ)		国立民族学博物館
	樹皮製容器	樺太	国立民族学博物館
(4)東南アジアの竹箕	箕	大韓民国	国立民族学博物館
	箕 (籐箕)	陝西省	国立民族学博物館
	箕	中国・海南省	国立民族学博物館
	箕	インドネシア・カリマンタン島	個人
	ハチ	ヴェトナム・ラオカイ省スンチュエ村・ハニ族	個人
	ドンファット	ラオス・ファーパン県ナラ村・タイデン族	個人
	箕	ネパール	国立民族学博物館
	丸形箕	中国・河南省	国立民族学博物館
	ざる	フィリピン	国立民族学博物館
	ふるい	中国	国立民族学博物館
	ピアルー	ラオス・ウドムサイ県ケオ村・カム族	個人
	ピアルー	ラオス・ウドムサイ県ナムコンム村・カム族	個人
	バラクー	台湾・ルカイ族	個人
	円形浅笊	ミャンマー	国立民族学博物館
	箕	ネパール	国立民族学博物館

テーマ	資料名	使用地	所蔵者
2. 背負い具が語る北と南 (1)北の背負い具	タガラ		福島県立博物館
	スカリ 縄製		福島県立博物館
	コシコ シナ皮製		福島県立博物館
	コシコ 山ぶどう製		福島県立博物館
	ヤジカレ ヒバ製		田中忠三郎
	背負籠 ヒバ製		田中忠三郎
	コシコ (背負籠) シナ皮		会津民俗館
	編袋 (あんぶくろ) シナ皮		会津民俗館
	ヤセウマ		会津民俗館
	ヤセウマ		致道博物館
	ハネバンドリ		致道博物館
	コロバンドリ		致道博物館
	シトバンドリ		致道博物館
	ハネバンドリ		武田 宏
	荷背負蓑 山ブドウ		福島県立博物館
	荷背負蓑 シナ皮製		福島県立博物館
	細蓑 山ブドウ		会津民俗館
	背負籠 ガマと桜皮		会津民俗館
	ニズレ	山形県庄内地方	会津民俗館
	背中当		福島県立博物館
	ニナワ (荷縄)		福島県立博物館
	背中当		田口召平
	背負籠 山ぶどう製		田中忠三郎
	背負籠 山ぶどう製		田中忠三郎
	サラニブ (縄編袋)	アイヌ	会津民俗館
	荷縄 (タラ)		国立民族学博物館
	荷縄 (タラ)		国立民族学博物館
	ネコミノ (荷背負蓑)		会津民俗館
	ツケミノ	福島県松枝村	福島県立博物館
	荷背負蓑	会津若松市	福島県立博物館
(2)南の背負い具	テル	鹿児島県 奄美大島	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	シタミ	鹿児島県鹿児島郡十島村中之島	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	キンザンテゴ	鹿児島県薩摩郡さつま町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	竹製カゴ	鹿児島県	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	背負い籠 (葛籠)	鹿児島県	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	コエドーラ	鹿児島県薩摩川内市里町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	イソカガイ	鹿児島県薩摩川内市上甕町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	カリコ (有爪)	鹿児島県いちき串木野市市来町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	カリコ (無爪)	鹿児島県熊毛郡中種子町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	カリナワ	鹿児島県肝属郡南大隅町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	シカタ	鹿児島県肝属郡南大隅町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	シカタ	鹿児島県薩摩川内市里町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ニンブ	鹿児島県薩摩川内市下甕町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ニズイ	熊本県球磨郡五木村	個人
(3)東南アジアの背負い具	ケウー	中国・雲南省モンヤン村・苗族	個人
	チュイサー	タイ・チェンラン県クンボン村・ヤオ族	個人
	ター	ベトナム・タンザオ県フィカア村・タイドン族	個人
	カチャ	ラオス・ルアンナムタ県チャラ村・クイ族	個人
	ヤン	ラオス・ウドムサイ県フィカア村・タイドン族	個人
	キー	ラオス・ウドムサイ県ナンマオ村・モン族	個人
2. 魚籠と釜が語る北と南 (1)北の魚籠と釜	ハケゴ 根曲竹		会津民俗館
	ハケゴ 根曲竹		橋正則
	ビク イタヤ製		田中忠三郎
	ハケゴ 根曲竹		福島県立博物館
	クワトリハケゴ マタタビ	只見町	只見町教育委員会
	タツベイ	只見町	只見町教育委員会
	ムジリ	〃	只見町教育委員会
	ハヤドウ		会津民俗館
	サンショウヅウ 大		福島県立博物館
	サンショウヅウ 中		福島県立博物館
	サンショウヅウ 小		福島県立博物館
	ドジョウウツボ		福島県立博物館
	ドジョウウツボ		会津民俗館
	イシグラドウ		福島県立博物館

テーマ	資料名	使用地	所蔵者
(2)南の魚籠と釜	アネク	鹿児島県奄美市住用町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	クットイ	鹿児島県曾於市大隅町	曾於市立大隅郷土館
	サカテゴ	鹿児島県薩摩郡さつま町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ナガヒビ	鹿児島県大口市	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	コイテゴ	鹿児島県薩摩郡さつま町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	マンジュヒツ	鹿児島県伊佐郡菱刈町	菱刈町教育委員会
	太鼓ヒビ	鹿児島県伊佐郡菱刈町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ハジ	鹿児島県伊佐郡菱刈町	菱刈町教育委員会
	ヒビ	鹿児島県川辺郡知覧町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	カニテゴ	鹿児島県出水市	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	カタギイテゴ	鹿児島県薩摩郡さつま町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	カタフツテゴ	鹿児島県薩摩川内市東郷町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	魚籠	鹿児島県鹿児島市	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ウティグ	鹿児島県大島郡喜界町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
(3)東南アジアの釜と魚籠	釜	ラオス南部	国立民族学博物館
	釜	中国広西壮族自治区	国立民族学博物館
	サイホック	ラオス・ボンサリー県ウータイ村・タイラー族	個人
	淡水魚用釜	ラオス南部	国立民族学博物館
	定置漁具	インドネシア・ジャワ	国立民族学博物館
	サイ	ラオス・ルアンパバーン県ウー村・ラオ族	個人
	サエ	ラオス・ルアンナムタ県ホエタム村・カム族	個人
	モー	ラオス・ルアンナムタ県ホックホー村・タイラー族	個人
	モアン	ラオス・シェンクアン県プーシー村・ムイ族	個人
	モアンノイ	ラオス・フォーバン県ダイ村・ラオ族	個人
	カイン	ラオス・ボンサリー県ワンサイ村・プーノイ族	個人
	モー	ラオス・ボンサリー県ウータイ村・タイラー族	個人
	ロンマケエン	ラオス・ルアンナムタ県ストット村・ランテン族	個人
	モンパ	中国・雲南省・西双版纳州・孟力遮鎮・タイ族	個人
	ガッツオ	ヴェトナム・バツサット県スンチェ村・ハニ族	個人
	クッピーズ	台湾・台東県海端郡海端村・アミ族	個人
	魚籠	中国・海南省	国立民族学博物館
	魚籠	フィリピン	国立民族学博物館
	魚籠	タイ	国立民族学博物館
	魚籠	インドネシア・ジャワバラトボゴール・スندا族	国立民族学博物館
魚籠	ネパール	国立民族学博物館	
4. 刳物が語る北と南 (1)北の刳物	ネブネ	山形県庄内地方	致道博物館
	水桶	青森県下北地方	田中忠三郎
	刳抜桶 大	青森県下北地方	田中忠三郎
	刳抜桶 中	大沼郡三島町	会津民俗館
	刳抜桶 小	青森県下北地方	田中忠三郎
	ハンゾ	大沼郡金山町	会津民俗館
	馬 舟	大沼郡会津美里町	福島県立博物館
	塩 舟	山形県庄内地方	致道博物館
	塩 舟	大沼郡金山町	会津民俗館
	糧切板	大沼郡金山町	会津民俗館
	稗干台	青森県下北地方	田中忠三郎
	じょうご	南会津郡南会津町	会津民俗館
	刳抜酒樽	青森県下北地方	田中忠三郎
	ソロ	山形県庄内地方	致道博物館
	石臼挽鉢	山形県庄内地方	致道博物館
	石臼挽鉢	南会津郡南会津町	会津民俗館
	苧 桶	山形県庄内地方	致道博物館
	くぼ白	南会津郡南会津町	会津民俗館
	小白	青森県下北地方	田中忠三郎
	立杵	青森県下北地方	田中忠三郎
	木鉢 (白兼用)	青森県下北地方	田中忠三郎
	木鉢	青森県下北地方	田中忠三郎
	木鉢 (兼赤ちゃん湯船)	青森県下北地方	田中忠三郎
	木鉢	山形県庄内地方	致道博物館
	木鉢	山形県庄内地方	致道博物館
	木鉢 (角型)	南会津郡南会津町	会津民俗館
	木鉢	南会津郡南会津町	福島県立博物館
	木鉢	大沼郡会津美里町	福島県立博物館
	大木鉢	会津若松市	福島県立博物館
	ふるい鉢	南会津郡南会津町	会津民俗館

テーマ	資料名	使用地	所蔵者
	法良貝（桐剣抜）	大沼郡金山町	会津民俗館
	火箱（あんか）	南会津郡南会津町	会津民俗館
(2)南の刳物	テチョウナ	鹿児島県志布志市有明町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ウスクリ	鹿児島県大島郡知名町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ウス	鹿児島県大島郡知名町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	キネ	鹿児島県大島郡知名町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	カタクチヅケ	鹿児島県指宿市	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	イシウスの台	鹿児島県霧島市福山町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
(3)東北アジアの刳物	箕（ムイ）		国立民族学博物館
	木鉢（オトカ）	樺太東海岸ダーギー	国立民族学博物館
	俎板	色丹	国立民族学博物館
	木器（ニマ）		国立民族学博物館
	木器（ポロニマ）		国立民族学博物館
	盆（イタ）		国立民族学博物館
	煙草入		国立民族学博物館
	〃		国立民族学博物館
	煙草入とキセル		会津民俗館
	こね鉢	大韓民国	国立民族学博物館
	水汲み椀	〃	国立民族学博物館
(4)東南アジアの刳物	ンゴン	ラオス・ウドムサイ県ナムコム村・カム族	個人
	マーモック	ラオス・ルアンナムタ県ナムルー村・ラオフワイ族	個人
	マックルイ	ラオス・ルアンナムタ県ナムルー村・ラオフワイ族	個人
	センデッチャウ	ラオス・ボンサリー県コックニュー村・カム族	個人
	グランル	ラオス・ボンサリー県コックニュー村・カム族	個人
	コックマイ	ラオス・ウドムサイ県ナムラー村・ラオルン族	個人
	サーヒン	ラオス・ウドムサイ県ナムラー村・ラオルン族	個人
	シュンテ	ラオス・ウドムサイ県ナムコム村・カム族	個人
	クランルッ	ラオス・ウドムサイ県ナムコム村・カム族	個人
	コック	ラオス・ボンサリー県ウータイ村・タイラー族	個人
	サーク	ラオス・ボンサリー県ウータイ村・タイラー族	個人
	コック	ラオス・ボンサリー県ナーニャン村・タイラー族	個人
	サ	ラオス・ボンサリー県ナムカム村・タイダム族	個人
5. 樹皮が語る北と南 (1)北の樹皮民具	タワシ	只見	只見町教育委員会
	オリッカ	大沼郡会津美里町	福島県立博物館
	オリッカ	大沼郡会津美里町	福島県立博物館
	カハ細工物入	秋田市	田口召平
	じょうご箕（ケヤキ皮）	南会津郡下郷町	会津民俗館
	カツクミ（ケヤキ皮）		田口召平
	穀入れ（ケヤキ皮）		田中忠三郎
	蓑（ウリハダカエデ）	秋田県	秋田県立博物館
	けら蓑（ウリハダカエデ）	秋田県	秋田県立博物館
	伊達けら蓑（ブドウ シナ皮 他）	青森県津軽地方	田中忠三郎
	つけ蓑（ブドウ ヒロロ シナ）	南会津郡檜枝岐村	福島県立博物館
	苧桶（カワグルミ）	秋田県	油屋満夫
	蓋付樹皮製箱	秋田県	油屋満夫
	砥石袋	南会津郡南会津町	会津民俗館
	鈍袋	南会津郡南会津町	会津民俗館
	田うない前掛（山ぶどう）	南会津郡南会津町	福島県立博物館
	腰蓑（山ぶどう）	南会津郡南会津町	会津民俗館
	シナ皮	南会津郡南会津町	会津民俗館
	ハバキ（山ブドウ）	南会津郡南会津町	会津民俗館
	ハバキ（シナ皮）	南会津郡南会津町	会津民俗館
	サワグルミ皮	耶麻郡西会津町	福島県立博物館
	ウルシザル	南会津郡只見町	只見町教育委員会
	米とぎザル マタタビ	耶麻郡猪苗代町	福島県立博物館
	シンノミザル マタタビ	南会津郡南会津町	福島県立博物館
	アケビつる籠	南会津郡只見町	只見町教育委員会
	ハケゴ 根曲竹	耶麻郡猪苗代町	福島県立博物館
	いなご捕籠		福島県立博物館
	ハケゴ 根曲がり竹		福島県立博物館
	マタタビ裂	南会津郡只見町	只見町教育委員会
(2)南の竹民具	トンコッ	鹿児島県薩摩川内市	個人（鹿児島県歴史資料センター黎明館寄託）
	ゾイ	鹿児島県志布志市	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	竹製ゾーリ	鹿児島県始良郡加治木町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	加治木下駄	鹿児島県始良郡加治木町	鹿児島県歴史資料センター黎明館



テーマ	資料名	使用地	所蔵者
	天吹	鹿児島県	個人
	タカンパッチョ	鹿児島県薩摩川内市祁答院町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	コバガサ	鹿児島県熊毛郡上屋久町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ナベバタ	鹿児島県薩摩川内市里町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	カヤゴセイロー	鹿児島県鹿児島郡三島村竹島	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	シオゲ	鹿児島県肝属郡東串良町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	オチャムシ	鹿児島県薩摩川内市	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	タカヅツ	鹿児島県薩摩川内市東郷町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ナガゴイ	鹿児島県鹿児島市東俣町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	味噌入れ	鹿児島県いちき串木野市	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	サカダイ	鹿児島県鹿児島市喜入町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	セイレバラ	鹿児島県鹿児島郡十島村	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	マグ	鹿児島県奄美市住用町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ミジョウケ	鹿児島県鹿児島郡三島村	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ブンギイジョケ	鹿児島県いちき串木野市	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ソウケ	鹿児島県鹿児島郡十島村	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ショケ	鹿児島県鹿児島郡三島村硫黄島	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	エジョケ	鹿児島県薩摩川内市東郷町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	シャク	鹿児島県鹿児島郡三島村	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	マス	鹿児島県大島郡宇検村	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	スシバラ	鹿児島県始良郡加治木町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	メシカゴ	鹿児島県大島郡大和村	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ウバラ	鹿児島県出水市	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	タケワイ	鹿児島県志布志市松山町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	弁当箱	鹿児島県	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	おかず入れ	鹿児島県肝属郡肝付町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ガエ	熊本県球磨郡五木村	個人
	竹茶壺	鹿児島県伊佐郡菱刈町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ショウユノス	鹿児島県薩摩郡さつま町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	マイゼロ	鹿児島県肝属郡肝付町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
(3)東北アジアの樹皮民具	白樺容器	樺太	国立民族学博物館
	樹皮製容器	樺太	国立民族学博物館
	白樺樹皮製容器		国立民族学博物館
	揺籠	樺太東海岸	国立民族学博物館
	ほうき (ムスウエブ) 山ブドウ製	北海道	国立民族学博物館
	矢筒 (イカヨブ)	北海道	国立民族学博物館
	花矢		会津民俗館
	矢筒 (ヤリカヨブ)	北海道	国立民族学博物館
	木製刀		会津民俗館
	花莫産 (とこ)		会津民俗館
	木皮縄		会津民俗館
	刀と刀掛 (エムシ)		会津民俗館
	刀掛		会津民俗館
	冠 (サバウンベ)		会津民俗館
	モーンハー	ラオス・ルアンパバーン県コクナム村・タイラー族	個人
(4)東南アジアの竹民具	メンレオ (男性用)	ラオス・ウドムサイ県ナムレーン村・カム族	個人
	メンレオ (女性用)	ラオス・ウドムサイ県ナムレーン村・カム族	個人
	クップ	ラオス・ボンサリー県ソブアット村・ラオ族	個人
	トラチュアー	ラオス・ウドムサイ県ナンマオ村・モン族	個人
	ピーメュー	ラオス・ルアンパバーン県ナーニャンタイ村・タイラー族	個人
	シャココフ	ラオス・ルアンナムタ県チャラ村・クイ族	個人
	サガ	ラオス・ボンサリー県ピッジェマイ村・ブリアカ族	個人
	モアイ	ラオス・ルアンパバーン県ナーニャンタイ村・タイラー族	個人
	モアイ	ラオス・ルアンパバーン県ナーニャンタイ村・タイラー族	個人
	ハチ	ラオス・ルアンナムタ県タホム村・アカ族	個人
	コロ	ラオス・ルアンナムタ県チャラ村・クイ族	個人
	ヤアン、マサークボン	ラオス・ルアンナムタ県フォアラ村・アカ族	個人
	コンカオ	ラオス・ウドムサイ県ナムナツ村・タイラー族	個人
	ホバ	ラオス・ルアンナムタ県ソイ村・アカ族	個人
	ホオ	ラオス・ルアンナムタ県ラッカマイ村・アカ族	個人
	トラスルアン	ラオス・ウドムサイ県ソムサイ村・カム族	個人
	ラジュコム	ラオス・ボンサリー県アルヤ村・モン族	個人
	タネック	ラオス・ルアンパバーン県ハップサイ村・カム族	個人
	ワーチョンソウ	ラオス・ウドムサイ県ナンマオ村・モン族	個人
	モド	ラオス・ウドムサイ県ナンマオ村・モン族	個人

テ ー マ	資 料 名	使 用 地	所 蔵 者
	カロー	ラオス・ルアンパバーン県ナーニャンタイ村・タイラー族	個人
	コーックワ	ラオス・ルアンパバーン県コクナム村・タイラー族	個人
	タラップマール	ラオス・ルアンナムタム県ダウン村・カム族	個人
	ラーツパン	ラオス・ボンサリー県ガイヌア村・ホー族	個人
	水筒	ラオス	個人
Ⅳ 北と南の神々	山の神講掛軸	金山町	岩淵太門
1. 北の神々	ヤマサキの装束	只見町	只見町教育委員会
	馬の版木	只見町	只見町教育委員会
	山入の注連縄	只見町	只見町教育委員会
	山の神オコゼ	只見町	横山哲夫
	オシンメサマ	喜多方市	会津民俗館
	オシンメサマ	喜多方市	会津民俗館
	竈神	宮城県	会津民俗館
	オニンギョウサマ	耶麻郡西会津町	福島県立博物館
	オニンギョウサマ	岩手県西和賀町白木野	福島県立博物館
	ナマハゲ(赤鬼)	秋田県	秋田県立博物館
〃(青鬼)	秋田県	秋田県立博物館	
2. 南の神々	島津のオコゼ	鹿児島県	玉里島津家資料(鹿児島県歴史資料センター黎明館寄託)
	田の神像	鹿児島県始良郡湧水町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ウッガンサー	鹿児島県川辺郡知覧町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	デブッサー	鹿児島県川辺郡知覧町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	デブッサー	鹿児島県	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	トシドン	鹿児島県薩摩川内市下甕町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	ボゼ	鹿児島県鹿児島郡十島村悪石島	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	タカメン	鹿児島県鹿児島郡三島村竹島	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	メンドン	鹿児島県鹿児島郡三島村硫黄島	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	メン	鹿児島県鹿児島郡三島村大里	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	デオドン	鹿児島県日置市日吉町	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	Ⅴ 北と南の風景から エピソード	赤ベコ(裸)	会津若松市
1. 北の郷土玩具			
	三春駒		福島県立博物館
	三春張子人形		福島県立博物館
	腰高虎		須藤繁雄
	起上り小法師		福島県立博物館
	白河だるま		福島県立博物館
	会津の唐人凧 大		福島県立博物館
	会津の天神様		須藤繁雄
	土湯こけし		須藤繁雄
	中ノ沢こけし		福島県立博物館
2. 南の郷土玩具	鯛車	鹿児島県	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	鯛車	鹿児島県	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	香箱	鹿児島県	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	国分羽子板	鹿児島県	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	瀧ノ下羽子板	鹿児島県	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	高山羽子板	鹿児島県	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	出水羽子板	鹿児島県	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	シタタツノタロジョ	鹿児島県	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	土人形 犬	鹿児島県	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	土人形 ヒナジョ(金太郎)	鹿児島県	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	土人形 ヒナジョ(武者)	鹿児島県	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	キンスケマリ	鹿児島県	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	糸雛	鹿児島県	鹿児島県歴史資料センター黎明館

(イ) 秋の企画展

「わくわく！化石大集合

ーよみがえる300万年前のふくしまー

1. 会期 平成19年10月6日(土)～11月25日(日)
2. 入館者数 6,458人
3. 担当学芸員 自然分野：相田 優・竹谷陽二郎・小澤義春
4. 趣旨

新第三紀鮮新世(520万年～170万年前)は、北太平洋や北極地域の寒冷化に伴い、地球上の環境に大きな変化が起こった時期である。そして福島県内には、貝化石、哺乳類化石、微化石、植物化石など、この当時の海や陸地のようすを示す自然史記録がいくつも残されている。それらから、私たちは当時のふくしまの気候環境や、当時の生き物の生活のようすを知ることが出来る。

この企画展では、県内で最近特に多く発見され始めた鮮新世の海棲哺乳類化石や、当館屈指の資料群である鈴木敬治植物化石コレクションを用いて鮮新世の自然の姿を描き、そこから私たちが住む現在の地球環境をより良く知るためのヒントを得ることを試みた。

なお本企画展では、この「わくわく！化石大集合」を展示第1部とし、別に第2部として「みる・さわる 世界の化石」を同時開催

した。

5. 展示構成

第1部

イントロダクションー鮮新世とは？

展示で対象とする時代を把握するためのイントロダクション

I 海のようにと海の生き物

当時の海洋気候とその変化を、北太平洋全体について概説。また、当時の生き物のようす、およびそれらと古海洋環境との関係を、主として県内産化石に基づいて紹介。同時代の海外の動物化石と、そこからわかる古環境も合わせて展示。

1. 鮮新世の海の哺乳類
2. 貝化石が語る鮮新世の海の環境

II 森のようにと陸の古気候

鈴木敬治植物化石コレクションを中心に据え、当時の森林のようすと、陸域の古環境変遷を紹介。また、当時の陸域で活発だった火山活動の特徴と、日本列島の骨格が形成されていくようすとを紹介。

第2部「みる・さわる 世界の化石」

化石が語る5億年以上の生物の歴史を目で見て、また手にとって直接実感して頂けるよう、世界各地から産出した代表的な化石を展示した。複雑な説明は省略して観覧者に展示の意図が直感的に伝わるよう配慮し、特に「さわる」コーナーの充実を図った。

6. 関連行事

- ① 記念講演会「ふくしまにもいた！アシカ・オットセイー浜通りの化石に見る鮮新世の哺乳類」

日時 11月3日(土) 午後1時30分～3時  
講師 国立科学博物館研究主幹 甲能直樹氏

- ② 野外講座「化石をさがそう」

日時 10月13日(土) 午前8時30分～午後4時30分  
場所 福島県塙町 藤田鉱業株式会社採石場



「わくわく化石大集合」リーフレット



「わくわく！化石大集合」展示解説会

講師 相田 優

③実技講座「化石標本をつくろう」

日時 10月14日(日) 午後1時30分～3時30分

講師 竹谷陽二郎

④展示解説会

10月7日(日) 10月21日(日) 11月3日(土)

11月25日(日)

7. 成果と課題

成 果

①入館者数は最近4～5年のすべての企画展の中で2番目に多かった。

②子供にだけ人気がある訳ではなく、大人の入館者も多かった。

③アンケートにおいて好評価が多かった。特に「説明が分かりやすい」との評価も得た。

④第2部のハンズ・オン・コーナーが人気を博した。

⑤リピーターの存在を伺わせる入館者動向を把握できた。

課 題

①第1部のメイン・パートが評価されていない傾向があった。

②記念講演会入場者が低迷した。

③図録の売り上げが伸び悩んだ。

④アンケートの回答に、展示の内容に対する具体的な評価が少なかった。

企画展「わくわく！化石大集合」展示資料一覧 最初の「イントロダクション」と最後の「見る・さわる世界の化石」の展示資料は省略した。

No.	テ ー マ	資 料 名	個数	地質時代	地層名	産 地	所 蔵 者
1	I海のようにと海の生き物	カルカリヌスのなかま (歯)	1	鮮新世後期	富岡層	双葉町新山	福島県立博物館
2	1. 鮮新世の海の哺乳類 (1)クジラとイルカ	カルカロドン カルカリアス (歯)	1	鮮新世後期	富岡層	双葉町新山	福島県立博物館
3		イスルス デゾーリ (歯)	1	鮮新世後期	富岡層	双葉町新山	福島県立博物館
4		セミクジラのなかま (フタバクジラ) 骨各部位	16	鮮新世後期	富岡層	双葉町新山	双葉町歴史民俗資料館
5		セミクジラのなかま (フタバクジラ) (頭骨) (複製)	1	鮮新世後期	富岡層	双葉町新山	福島県立博物館
6		ミンククジラ全身骨格	1	現生		宮城県 金華山沖	岩手県立博物館
7		ミンククジラのヒゲ板 (ヒゲ板)	1	現生			いわき市教育委員会
8		ニタリクジラ (頸椎・胸椎・腰椎)	3	現生			いわき市教育委員会
9		ナガスクジラのなかま (イワキクジラ第3標本) (頭骨) (複製)	1	鮮新世前期	四倉層	いわき市四倉町	いわき市教育委員会
10		ナガスクジラのなかま (イワキクジラ第2標本) (骨各部位)	10	鮮新世前期	四倉層	いわき市四倉町	いわき市教育委員会
11		マエサワクジラ産状復元模型 (複製)	1	鮮新世前期	竜の口層	岩手県奥州市前沢区	岩手県立博物館
12		マエサワクジラ (鼓室胞) (複製)	1	鮮新世前期	竜の口層	岩手県奥州市前沢区	岩手県立博物館
13		クジラ類のなかま (腰椎)	1	鮮新世後期	大年寺層	南相馬市原町区大甕	福島県立博物館
14		マイルカ類のなかま (歯)	3	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	横田昭彦
15		マイルカ類のなかま (歯)	4	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
16		ゴンドウクジラ?のなかま (歯)	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	横田昭彦
17		ゴンドウクジラのなかま (歯)	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
18		マイルカ類のなかま (オクマイルカ) (頭) (複製)	1	鮮新世後期	富岡層	大熊町夫沢	福島県立博物館
19		マイルカ類のなかま (歯)	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	瀧澤マリ子
20		カマイルカ (模型)	1	現生			ふくしま海洋科学館
21		ヒゲクジラのなかま (イワキクジラ第6標本) 産状復元模型 (腰椎・尾椎) (複製)	2	鮮新世前期	四倉層	いわき市四倉町	いわき市教育委員会
22	ヒゲクジラ類のなかま (頭骨の一部)	1	鮮新世	石熊層	浪江町小野田	福島県立博物館	
23	ハクジラ類のなかま (歯)	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄	
24	イルカ類のなかま (肋骨)	2	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄	
25	オキゴンドウ (頭骨) (複製)	1	現生			岩手県立博物館	
26	ハンドウイルカ (頭骨) (複製)	1	現生			岩手県立博物館	
27	(2)アシカとオットセイたち	ギルモアオットセイ (骨・歯)	15	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	横田昭彦
28		ギルモアオットセイ (骨・歯)	20	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
29		ギルモアオットセイ (骨・歯)	3	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	八巻安夫
30		ギルモアオットセイ (骨・歯)	2	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	荒 好
31		ギルモアオットセイ (指骨)	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	個人
32		ギルモアオットセイ? (骨・歯)	8	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
33		ギルモアオットセイ? (骨)	4	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	横田昭彦
34		キタオットセイ (剥製)	1	現生			国立科学博物館
35		トド (頭骨の一部)	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	荒 好
36		セイウチ類のなかま (右脛骨)	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	横田昭彦
37		セイウチ類のなかま (牙)	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町下郡山	福島県立博物館
38		セイウチ頭骨 (複製)	1	現生			岩手県立博物館
39		アシカ類のなかま (骨・歯)	12	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	横田昭彦
40		アシカ類のなかま (骨・歯)	18	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
41		アシカ類のなかま (オス左上犬歯)	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	個人
42		アシカ類のなかま (歯)	2	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	八巻安夫
43		アシカ類のなかま (骨・歯)	2	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	荒 好



No	テーマ	資料名	個数	地質時代	地層名	産地	所蔵者
44		アシカ類のなかま (環椎)	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	佐々木未来
45		アシカ類のなかま (右下顎)	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	個人
46		アシカ類?のなかま (骨・歯)	5	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
47		アシカ類?のなかま (骨)	6	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	横田昭彦
48		鱧脚類のなかま (左肋骨)	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
49		カリフォルニアアシカ全身骨格	1	現生			国立科学博物館
50		カリフォルニアアシカ剥製	1	現生			国立科学博物館
51	2. 貝化石が語る鮮新世の海の環境	バイのなかま	1	鮮新世	掛川層群	静岡県掛川市	東北大学総合学術博物館
52	(1)鮮新世の貝化石と海 の古気候	ウミニナ	1	鮮新世後期	大年寺層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
53		ハタイウミニナ	1	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市青葉区	東北大学総合学術博物館
54		カワアイ	1	鮮新世後期	大年寺層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
55		クロミナシのなかま	1	第四紀更新世?		千葉県木更津市	東北大学総合学術博物館
56		クロミナシのなかま	1	鮮新世	天徳寺層	秋田県秋田市	仙台市科学館
57		エゾタマガイ	1	第四紀更新世前期	大桑層	石川県金沢市	仙台市科学館
58		ホシキヌタ	1	鮮新世	天徳寺層	秋田県秋田市	仙台市科学館
59		オオイトカケのなかま	1	鮮新世	斗川層	青森県南部町	仙台市科学館
60		マスダヒタチオビ	1	鮮新世	天徳寺層	秋田県秋田市	仙台市科学館
61		カプトアヤボラ	1	鮮新世	天徳寺層	秋田県秋田市	仙台市科学館
62		ヤナミシワバイのなかま	1	第四紀更新世前期	浜田層	青森県むつ市	東北大学総合学術博物館
63		ナサバイのなかま	1	鮮新世	掛川層群	静岡県掛川市	東北大学総合学術博物館
64		チヂミエゾボラ	1	鮮新世	天徳寺層	秋田県秋田市	仙台市科学館
65		ツメタガイ	1	鮮新世	天徳寺層	秋田県秋田市	仙台市科学館
66		ツメタガイ	1	鮮新世後期	大年寺層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
67		ゴウロクツメタガイ	2	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
68		エゾチヂミボラ	1	鮮新世	斗川層	青森県南部町	仙台市科学館
69		イセゴウラクガイ	1	第四紀更新世前期	大桑層	石川県金沢市	仙台市科学館
70		エゾヨウラクガイ	1	鮮新世後期	大年寺層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
71		マクラガイ	1	第四紀更新世前期	大桑層	石川県金沢市	仙台市科学館
72		マクラガイ	1	鮮新世	天徳寺層	秋田県秋田市	仙台市科学館
73		マクラガイ	2	鮮新世	掛川層群	静岡県掛川市	東北大学総合学術博物館
74		マクラガイのなかま	1	第四紀更新世前期	大桑層	石川県金沢市	仙台市科学館
75		アヤメボタル	1	第四紀更新世?		千葉県富津市	東北大学総合学術博物館
76		ムシボタル	1	鮮新世	天徳寺層	秋田県秋田市	仙台市科学館
77		オオコシタカガンガラ	1	鮮新世	天徳寺層	秋田県秋田市	仙台市科学館
78		アカニシ	1	鮮新世後期	大年寺層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
79		ヒメムシロガイ	1	鮮新世後期	大年寺層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
80		ミクリガイのなかま	1	第四紀更新世?		高知県安田町	東北大学総合学術博物館
81		キサゴのなかま	2	鮮新世	掛川層群	静岡県袋井市	東北大学総合学術博物館
82		キサゴのなかま	2	鮮新世	掛川層群	静岡県掛川市	東北大学総合学術博物館
83		スウチキサゴ	1	鮮新世	掛川層群	静岡県掛川市	東北大学総合学術博物館
84		サブスウチキサゴ	1	鮮新世	掛川層群	静岡県掛川市	東北大学総合学術博物館
85		エゾタマガイ	1	鮮新世	天徳寺層	秋田県秋田市	仙台市科学館
86		ウミコハクガイのなかま	1	鮮新世後期	大年寺層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
87		オオツカキリガイダマシ	1	鮮新世後期	鳴沢層	青森県深浦町	仙台市科学館
88		イケベキリガイダマシ	1	第四紀更新世中期	長浜層	千葉県君津郡	東北大学総合学術博物館
89		ムカシキリガイダマシ	1	鮮新世	掛川層群	静岡県掛川市	東北大学総合学術博物館
90		サイシュウキリガイダマシ	2	第四紀更新世前期	大桑層	石川県金沢市	仙台市科学館
91		サイシュウキリガイダマシ	1	鮮新世後期	鳴沢層	青森県深浦町	仙台市科学館
92		モチヅキキリガイダマシ	1	鮮新世後期	笹岡層	秋田県由利本庄市	東北大学総合学術博物館
93		サイシュウキリガイダマシ	2	第四紀更新世前期	大桑層	石川県金沢市	東北大学総合学術博物館
94		アキタキサゴ	1	鮮新世?		新潟県川口町	東北大学総合学術博物館
95		イボキサゴ	1	鮮新世後期	大年寺層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
96		キララガイ	2	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市青葉区	東北大学総合学術博物館
97		キララガイ	1	鮮新世	天徳寺層	秋田県秋田市	仙台市科学館
98		タカサゴツキヒ	1	鮮新世?		台湾新竹州	東北大学総合学術博物館
99		ナミウチツキヒ	1	鮮新世後期	高鍋層	宮城県川南町	東北大学総合学術博物館
100		シガラミサルボウガイ	1	鮮新世後期	大年寺層	宮城県仙台市太白区	仙台市科学館
101		ナガサルボウガイ	1	鮮新世後期	大年寺層	宮城県仙台市太白区	仙台市科学館
102		シガラミサルボウガイの1亜種	1	鮮新世後期	薄井沢層	秋田県藤里町	仙台市科学館
103		リュウキュウサルボウガイのなかま	1	鮮新世	掛川層群	静岡県掛川市	東北大学総合学術博物館
104		オンマサルボウガイ	1	鮮新世	天徳寺層	秋田県秋田市	仙台市科学館
105		オンマサルボウガイ	1	第四紀更新世前期	大桑層	石川県金沢市	仙台市科学館
106		タツノクチサルボウガイ	2	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館

No	テーマ	資料名	個数	地質時代	地層名	産地	所蔵者
107		クチベニデ	1	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
108		ナミマガシワガイ	1	鮮新世後期	大年寺層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
109		ナミマガシワガイ	1	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
110		アラスカシラオガイ	1	第四紀更新世前期	大桑層	青森県青森市	仙台市科学館
111		エゾヌノメアサリ	1	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市青葉区	東北大学総合学術博物館
112		エゾヌノメアサリ	1	鮮新世後期	大年寺層	宮城県仙台市太白区	仙台市科学館
113		キクザルのなかま	1	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
114		コシパニシキ	1	鮮新世後期	鳴沢層	青森県深浦町	仙台市科学館
115		センダイニシキ	1	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
116		イシカゲガイ	1	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市青葉区	東北大学総合学術博物館
117		オンマイシカゲガイ	1	第四紀更新世前期	大桑層	石川県金沢市	仙台市科学館
118		オンマイシカゲガイ	1	鮮新世後期	薄井沢層	秋田県藤里町	仙台市科学館
119		マガキ	1	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
120		ヒメマスオガイ	1	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市	東北大学総合学術博物館
121		ヒヨクガイ	1	第四紀更新世中期	清川層	千葉県市原市	東北大学総合学術博物館
122		ヒヨクガイ	1	鮮新世?		静岡県西伊豆町	東北大学総合学術博物館
123		クロマルフミガイ	1	第四紀更新世前期	大桑層	石川県金沢市	仙台市科学館
124		カガミガイ	1	第四紀更新世前期	大桑層	石川県金沢市	仙台市科学館
125		カガミガイ	1	鮮新世	天徳寺層	秋田県秋田市	仙台市科学館
126		カガミガイ	1	鮮新世後期	薄井沢層	秋田県藤里町	仙台市科学館
127		カガミガイ	2	鮮新世後期	大年寺層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
128		カガミガイ	1	第四紀更新世前期	大桑層	石川県金沢市	東北大学総合学術博物館
129		タツノクチカガミガイ	2	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
130		ウソシジミ	1	第四紀更新世前期	大桑層	石川県金沢市	仙台市科学館
131		ウソシジミ	1	鮮新世	天徳寺層	秋田県秋田市	仙台市科学館
132		ウソシジミ	1	鮮新世後期	薄井沢層	秋田県藤里町	仙台市科学館
133		ウソシジミ	1	鮮新世後期	大年寺層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
134		ウソシジミ	1	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
135		ケンヨシホタテ	1	鮮新世	斗川層	青森県南部町	仙台市科学館
136		タカハシホタテ	2	鮮新世	斗川層	青森県南部町	仙台市科学館
137		タカハシホタテ	1	鮮新世	滝川層	北海道釧路市	仙台市科学館
138		タカハシホタテ	5	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
139		ゴウロクタマキガイ	2	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
140		ヤマトタマキガイ	1	鮮新世後期	鳴沢層	青森県深浦町	仙台市科学館
141		ベニグリガイ	1	鮮新世	掛川層群	静岡県掛川市	東北大学総合学術博物館
142		トウトウミタマキガイ	1	鮮新世	掛川層群	静岡県掛川市	東北大学総合学術博物館
143		エゾタマキガイ	1	第四紀更新世前期	大桑層	石川県金沢市	仙台市科学館
144		エゾタマキガイ	1	鮮新世	天徳寺層	秋田県秋田市	仙台市科学館
145		エゾタマキガイ	1	鮮新世後期	薄井沢層	秋田県藤里町	仙台市科学館
146		シラトリガイモドキ	1	鮮新世後期	大年寺層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
147		オオシラスナガイ	1	第四紀更新世	根古屋層	静岡県静岡市駿河区	東北大学総合学術博物館
148		トウカイシラスナガイ	1	鮮新世後期	鳴沢層	青森県深浦町	仙台市科学館
149		ツキガイモドキ	1	第四紀更新世前期	大桑層	石川県金沢市	仙台市科学館
150		ツキガイモドキ	1	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市泉区	仙台市科学館
151		オオトリガイのなかま	1	鮮新世後期	大年寺層	宮城県仙台市太白区	仙台市科学館
152		ニホンシラトリ	1	第四紀更新世前期	大桑層	石川県金沢市	仙台市科学館
153		サギガイ	1	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
154		ゴイサギガイ	1	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
155		フミガイ	1	鮮新世?		鹿児島県鹿児島市吉田	東北大学総合学術博物館
156		オンマフミガイ	1	第四紀更新世前期	大桑層	石川県金沢市	仙台市科学館
157		サラガイ	1	鮮新世	斗川層	青森県南部町	仙台市科学館
158		アラスジサラガイ	1	第四紀更新世前期	大桑層	石川県金沢市	仙台市科学館
159		アラスジサラガイ	1	鮮新世後期	薄井沢層	秋田県藤里町	仙台市科学館
160		チタニピノスガイ	1	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
161		ピノスガイ	2	第四紀更新世前期	大桑層	石川県金沢市	仙台市科学館
162		ピノスガイ	1	鮮新世	天徳寺層	秋田県秋田市	仙台市科学館
163		ピノスガイ	1	鮮新世後期	薄井沢層	秋田県藤里町	仙台市科学館
164		ピノスガイ	1	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
165		ムカシハマグリ	1	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
166		カズウネホタテ	2	鮮新世後期	薄井沢層	秋田県藤里町	仙台市科学館
167		サンノヘホタテ	1	鮮新世	斗川層	青森県南部町	仙台市科学館
168		ホクリクホタテ	1	第四紀更新世前期	大桑層	石川県金沢市	東北大学総合学術博物館
169		ホクリクホタテ	1	第四紀更新世前期	大桑層	石川県金沢市	仙台市科学館
170		ホタテガイ	1	鮮新世	天徳寺層	秋田県秋田市	仙台市科学館
171		ホタテガイ	1	鮮新世後期	大年寺層	宮城県仙台市太白区	仙台市科学館

No	テーマ	資料名	個数	地質時代	地層名	産地	所蔵者
172		ヨコヤマホタテ	1	第四紀更新世前期?		富山県氷見市	東北大学総合学術博物館
173		ヨコヤマホタテ	1	第四紀更新世前期	大桑層	石川県金沢市	仙台市科学館
174		ヨコヤマホタテ	1	第四紀更新世前期	浜田層	青森県むつ市	東北大学総合学術博物館
175		ナミマガシワモドキ	1	鮮新世	斗川層	青森県南部町	仙台市科学館
176		シマナミマガシワモドキ	1	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市泉区	仙台市科学館
177		シマナミマガシワモドキ	1	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市	東北大学総合学術博物館
178		オオノガイ	1	鮮新世後期	大年寺層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
179		オオノガイ	1	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
180		キタノオオノガイ	1	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
181		シマキンギョガイ	1	鮮新世	天徳寺層	秋田県秋田市	仙台市科学館
182		イソシジミ	1	鮮新世後期	大年寺層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
183		ナミガイ	1	鮮新世後期	薄井沢層	秋田県藤里町	仙台市科学館
184		ナミガイ	2	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
185		ナミガイ	1	鮮新世前期?	竜の口層?	宮城県仙台市?	東北大学総合学術博物館
186		イタヤガイ	1	第四紀更新世前期	大桑層	石川県金沢市	仙台市科学館
187		センダイヌノメハマグリ	2	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市泉区	仙台市科学館
188		タウエヌノメハマグリ	2	第四紀更新世前期	大桑層	石川県金沢市	仙台市科学館
189		ウチムラサキ	1	鮮新世後期	大年寺層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
190		ウバトリガイ	1	鮮新世	天徳寺層	秋田県秋田市	仙台市科学館
191		ウバトリガイ	1	鮮新世後期	薄井沢層	秋田県藤里町	仙台市科学館
192		オオマテガイ	1	鮮新世後期	大年寺層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
193		マテガイ	1	鮮新世後期	大年寺層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
194		ナガウバガイ	1	第四紀更新世前期	大桑層	石川県金沢市	仙台市科学館
195		ナガウバガイ	1	鮮新世	天徳寺層	秋田県秋田市	仙台市科学館
196		ナガウバガイ	2	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
197		ウバガイ (ホッキガイ)	1	鮮新世後期	大年寺層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
198		エゾキンチャク	1	鮮新世	天徳寺層	秋田県秋田市	仙台市科学館
199		エゾキンチャク	1	鮮新世後期	鳴沢層	青森県深浦町	仙台市科学館
200		リュウキュウアサリのなかま	1	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
201		アサリ	2	鮮新世後期	大年寺層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
202		ヒメアサリ	1	鮮新世後期	大年寺層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
203		スエモノガイ	1	第四紀更新世前期	大桑層	石川県金沢市	仙台市科学館
204		スエモノガイ	1	鮮新世後期	薄井沢層	秋田県藤里町	仙台市科学館
205		ウネナシトマヤガイ	1	鮮新世後期	大年寺層	宮城県仙台市青葉区	仙台市科学館
206		ミルクイのなかま	1	鮮新世後期	大年寺層	宮城県仙台市太白区	仙台市科学館
207		ミルクイ	1	鮮新世後期	薄井沢層	秋田県藤里町	仙台市科学館
208		エゾシラオガイ	1	鮮新世	天徳寺層	秋田県秋田市	仙台市科学館
209		トクナガホタテガイ	1	鮮新世	天徳寺層	秋田県秋田市	仙台市科学館
210		トクナガホタテガイ	1	第四紀更新世前期	浜田層	青森県むつ市	東北大学総合学術博物館
211	(2)浜通り地域の貝化石と海古気候	サンゴ類のなかま	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
212		六放サンゴ類のなかま	9	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
213		コケムシ類のなかま	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
214		コプトシリスのなかま	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
215		ヘミティリスのなかま	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
216		テレブラチュリナのなかま	1	鮮新世後期	富岡層	広野町岩切	平 宗雄
217		ユキノカサ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
218		ユキノカサ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	荒 好
219		ユキノカサ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
220		ウミニナ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
221		エゾイトカケのなかま	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	押田勝男 寄贈
222		ツノオリイレ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町岩切	平 宗雄
223		エビスガイのなかま	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
224		コロモガイのなかま	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
225		オオウヨウラクガイ	2	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
226		オオウヨウラクガイ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
227		コベルトカニモリ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
228		ホッカイトカケ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
229		オオモロハバイ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
230		エゾフネガイ	2	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
231		チシマタマガイ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
232		チシマタマガイ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	個人
233		チシマタマガイ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
234		チシマタマガイ	1	鮮新世後期	大年寺層	南相馬市鹿島区小島田	平 宗雄
235		エゾタマガイ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館

No	テーマ	資料名	個数	地質時代	地層名	産地	所蔵者
236		オオヒタチオビ	2	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
237		オオヒタチオビ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	横田昭彦
238		オオヒタチオビ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町岩切	平 宗雄
239		マスタヒタチオビ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
240		マスタヒタチオビ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	横田昭彦
241		マスタヒタチオビ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
242		イトマキヒタチオビのなかま	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
243		ナガニシ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
244		アヤボラ	2	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
245		アヤボラ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	横田昭彦
246		アヤボラ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
247		ウネボラ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
248		エゾサンショウガイ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
249		エゾサンショウガイ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町岩切	平 宗雄
250		エゾサンショウガイ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
251		モミジボラ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
252		モミジボラ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町岩切	平 宗雄
253		ツムガタネジボラ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
254		ネジボラ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
255		ネジボラ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	横田昭彦
256		ネジボラ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
257		ミガキボラ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町岩切	平 宗雄
258		タマキビ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
259		アツタマキビガイ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
260		エゾタマキビ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	荒 好
261		エゾタマキビ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
262		タマツメガイ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町岩切	平 宗雄
263		ケボリシタダミ	1	鮮新世後期	石熊層	浪江町小野田	仙台市科学館
264		エゾボラのなかま	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	横田昭彦
265		ヒメエゾボラ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
266		エゾボラのなかま	1	鮮新世後期	大年寺層	南相馬市鹿島区川子	平 宗雄
267		ユウビエゾボラ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
268		エゾボラモドキ	2	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
269		エゾボラモドキ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	平 宗雄
270		エゾボラのなかま	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	本名信一 寄贈
271		エゾボラのなかま	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
272		ツメタガイのなかま	1	鮮新世後期	石熊層	浪江町小野田	仙台市科学館
273		アオガイのなかま	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	押田勝男 寄贈
274		エゾチヂミボラ	2	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
275		エゾチヂミボラ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	荒 好
276		エゾチヂミボラ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	本名信一 寄贈
277		ヨーロッパチヂミボラ	2	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
278		ヨーロッパチヂミボラ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町岩切	平 宗雄
279		ニクイロフタマンジ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	押田勝男 寄贈
280		イセヨウラクガイ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	押田勝男 寄贈
281		ニッポンヨウラク	2	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
282		ホタルガイのなかま	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	本名信一 寄贈
283		ホタルガイ	1	鮮新世後期	石熊層	浪江町高倉	仙台市科学館
284		ホタルガイ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	押田勝男 寄贈
285		オグラクチナワマンジ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
286		オグラクチナワマンジ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	佐々木未来
287		オグラクチナワマンジ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
288		クチナワマンジ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
289		ボロクチナワマンジ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
290		カドバリフタマンジ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
291		カガニヨリマンジ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
292		ヒメトクサ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
293		コウダガスカシガイ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
294		コウダガスカシガイ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
295		コウダガスカシガイのなかま	1	鮮新世後期	大年寺層	南相馬市鹿島区川子	平 宗雄
296		エゾイグチ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
297		エゾイグチ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
298		オオヘビガイ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
299		オオヘビガイ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
300		オオヘビガイのなかま	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館



No	テーマ	資料名	個数	地質時代	地層名	産地	所蔵者
301		トウイトガイ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
302		トガリクダマキ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
303		トガリクダマキ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
304		ヒメニナのなかま	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
305		カガオリレ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
306		エゾキリガイダマシ	2	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
307		エゾキリガイダマシ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
308		エゾキリガイダマシ	1	鮮新世後期	石熊層	浪江町小野田	仙台市科学館
309		イケベキリガイダマシ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
310		アキタキサゴ	2	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
311		ダンベイキサゴ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
312		ヤマモトダンベイキサゴ	1	鮮新世後期	石熊層	浪江町小野田	仙台市科学館
313		ヤマモトダンベイキサゴ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	平 宗雄
314		ヨウラクモドキ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町岩切	平 宗雄
315		モスソガイ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
316		モスソガイ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
317		オオハネガイ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
318		オオキララガイ	2	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
319		オオキララガイ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	横田昭彦
320		オオキララガイ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町岩切	平 宗雄
321		オオキララガイ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
322		キララガイ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
323		キララガイ	1	鮮新世後期	石熊層	浪江町小野田	仙台市科学館
324		シガラミサルボウガイ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
325		ナミマガシワガイ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
326		コベルトフネガイ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
327		コベルトフネガイ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	横田昭彦
328		コベルトフネガイ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
329		ハコダテシラオガイ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	横田昭彦
330		キクサルガイ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
331		コシバニシキ	2	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
332		コシバニシキ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
333		アズマニシキ	2	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
334		アズマニシキ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	横田昭彦
335		アズマニシキ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
336		アカザラガイ	2	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
337		サドニシキ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
338		サドニシキ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	横田昭彦
339		イシカゲガイのなかま	1	鮮新世後期	石熊層	浪江町小野田	仙台市科学館
340		イシカゲガイのなかま	2	鮮新世後期	石熊層	浪江町 請戸川下流	平 宗雄
341		オウナガイ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町岩切	平 宗雄
342		マガキ	3	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
343		ヒヨクガイ	2	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
344		シャクシガイのなかま	1	鮮新世後期	大年寺層	南相馬市鹿島区川子	平 宗雄
345		マルフミガイのなかま	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
346		クロマルフミガイ	2	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
347		クロマルフミガイ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
348		カガミガイのなかま	1	鮮新世後期	石熊層	浪江町小野田	仙台市科学館
349		ウソシジミ	1	鮮新世後期	石熊層	浪江町高倉	仙台市科学館
350		ウソシジミ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
351		タカハシホタテ	1	鮮新世後期	石熊層	浪江町高倉	福島県立博物館
352		ベンケイガイ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
353		ヤマグチタマキガイ	1	鮮新世後期	石熊層	浪江町小野田	仙台市科学館
354		エゾタマキガイ	2	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
355		エゾタマキガイ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
356		トウカイシラスナガイ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
357		トウカイシラスナガイ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
358		エゾハマグリ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
359		エゾハマグリ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
360		ムカシツキガイモドキ	2	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
361		ムカシツキガイモドキ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	平 宗雄
362		ムカシツキガイモドキ	1	鮮新世後期	大年寺層	南相馬市鹿島区川子	平 宗雄
363		ムカシツキガイモドキ	1	鮮新世後期	富岡層	浪江町高倉	平 宗雄
364		ゴイサギガイ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
365		サラガイ	1	鮮新世後期	石熊層	浪江町小野田	仙台市科学館



No	テーマ	資料名	個数	地質時代	地層名	産地	所蔵者
366		ピノスガイ	2	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
367		ピノスガイ	1	鮮新世後期	石熊層	浪江町小野田	仙台市科学館
368		ヨコヤマピノスガイ	1	鮮新世後期	石熊層	浪江町 請戸川下流	平 宗雄
369		ホタテガイのなかま	1	鮮新世後期	富岡層	広野町岩切	平 宗雄
370		ホタテガイのなかま	2	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
371		トウキョウホタテ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	横田昭彦
372		ホタテガイ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
373		ホタテガイ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	荒 好
374		ナミマガシワモドキ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
375		ナミマガシワモドキ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	横田昭彦
376		ナミガイのなかま	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
377		ベッコウソデガイ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	横田昭彦
378		シコロエガイの変種	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
379		ウチムラサキ	2	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
380		サメザラモドキ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
381		ウバトリガイ	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
382		ウバトリガイ	1	鮮新世後期	大年寺層	南相馬市鹿島区川子	平 宗雄
383		ウバトリガイ	1	鮮新世後期	大年寺層	南相馬市鹿島区小島田	平 宗雄
384		トクナガキスタレガイ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	平 宗雄
385		ナガウバガイ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町岩切	平 宗雄
386		ナガウバガイ	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
387		ナガウバガイ	1	鮮新世後期	石熊層	浪江町高倉	仙台市科学館
388		エゾキンチャク	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
389		エゾキンチャク	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	横田昭彦
390		カサネカンザシのなかま	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	荒 好
391		カサネカンザシのなかま (生痕)	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
392		フジツボ類のなかま	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
393		フジツボ類のなかま他	1	鮮新世後期	富岡層	広野町岩切	平 宗雄
394		カニ類のなかま (ハサミ)	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
395		カニ類のなかま	3	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
396		カニ類のなかま	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
397		ウニ類のなかま (棘)	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
398		ウニ類のなかま	1	鮮新世後期	富岡層	広野町二ッ沼	福島県立博物館
399		ブンブクチャガマのなかま	1	鮮新世後期	大年寺層	相馬市岩の子	荒 好
400		マダラトビエイ?のなかま	1	現生		台湾 高雄沖パシエ海峡	福島県立博物館
401		サメ類のなかま (背椎骨)	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町海老浜	個人
402		メジロザメのなかま (歯)	27	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
403		メジロザメのなかま (歯)	5	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	横田昭彦
404		オナガザメのなかま (右上 or 左下側歯)	2	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
405		ホホジロザメ (右下顎第2歯)	8	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
406		オナガザメのなかま (右上 or 左下側歯)	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	横田昭彦
407		ホホジロザメ (歯)	5	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	横田昭彦
408		パロトダス (右下 or 左上側歯)	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
409		カグラザメのなかま (右上側歯)	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	横田昭彦
410		アオザメ (右下顎第3?歯)	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
411		アオザメ (歯)	2	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	横田昭彦
412		エイのなかま (楯鱗)	3	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
413		カマヒレザメ	1	現生		フィリピン	福島県立博物館
414		ネズミザメ類のなかま (歯)	3	鮮新世	四倉層	いわき市四倉町	福島県立博物館
415		サメガレイ	1	鮮新世後期	大年寺層	相馬市稲田	荒 好
416		クロタチカマス?のなかま	1	鮮新世後期	大年寺層	相馬市	荒 好
417		硬骨魚類?のなかま (脊椎骨)	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
418		鳥類	6	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	横田昭彦
419		鳥類	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	八巻安夫
420	II 森のようすと陸の古気候	偶蹄類のなかま (足根骨)	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
421	(1)陸の哺乳類化石	偶蹄類のなかま (骨)	2	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	横田昭彦
422		ファルコネリオオカミ頭骨	1	鮮新世	加住層	東京都昭島市	飯田市美術博物館
423		シカ類のなかま (上顎右1大臼歯)	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
424		ネコ類のなかま (左尺骨)	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
425		ネコ類のなかま (上顎左3切歯)	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
426		ネコ類のなかま (右踵骨)	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
427		ゾウ類のなかま (切歯)	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小良ヶ浜	平 宗雄
428		アケボノゾウ全身骨格 (複製)	1	鮮新世後期	蒲生層	滋賀県多賀町	飯田市美術博物館
429		インシグニスゾウ	1	鮮新世	大年寺層	宮城県仙台市	東北大学総合学術博物館
430		ステゴドン トリゴノセファルス	2	鮮新世		インドネシア ジャワ島	福島県立博物館

No	テーマ	資料名	個数	地質時代	地層名	産地	所蔵者
431		ステゴドン トリゴノセファルス (頭骨)	1	鮮新世		インドネシア ジャワ島	福島県立博物館
432		イノシシ類?のなかま (右下顎)	1	鮮新世後期	富岡層	富岡町小丸ヶ浜	平 宗雄
433		センダイゾウ	2	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市青葉区	東北大学総合学術博物館
434	(2)陸上火山の噴火	石英安山岩質凝灰角礫岩	1	鮮新世	松和田層	会津美里町東尾岐	福島県立博物館
435		石英安山岩質溶結凝灰岩	1	鮮新世	松和田層	会津美里町東尾岐	福島県立博物館
436		珪長質凝灰岩	1	中新世後期	湯ノ花層	南会津町館岩湯ノ花	福島県立博物館
437		珪長質溶結凝灰岩	1	中新世後期	湯ノ花層	南会津町館岩湯ノ花	福島県立博物館
438		流紋岩 (貫入岩)	1	鮮新世	松和田層	下郷町戸赤戸石	福島県立博物館
439		シルト岩	1	中新世後期	高川層	会津若松市黒森	福島県立博物館
440		トータル岩 (貫入岩)	1	鮮新世	松和田層	会津美里町宮川	福島県立博物館
441		凝灰角礫岩	1	鮮新世	松和田層	会津美里町東尾岐	福島県立博物館
442	(3)植物化石と陸の古気候	ムカシランダイスギ	1	鮮新世前期末-後期	藤峠層上部	柳津町軽井沢	福島県立博物館
443		オウシュウイヌスギ	1	鮮新世前期末-後期	藤峠層上部	柳津町軽井沢	福島県立博物館
444		オウシュウイヌスギ	1	鮮新世後期	和泉層下部	喜多方市山都町小布瀬川	福島県立博物館
445		オウシュウイヌスギ	1	鮮新世?		宮城県仙台市青葉区	福島県立博物館
446		コイチイヒノキ	2	鮮新世後期	和泉層下部	柳津町小柳津	福島県立博物館
447		コイチイヒノキ	1	鮮新世後期	和泉層上部	会津坂下町長井	福島県立博物館
448		メタセコイアのなかま	1	鮮新世前期末-後期	藤峠層上部	喜多方市高郷町夏井	福島県立博物館
449		トウヒのなかま	1	鮮新世前期末-後期	藤峠層上部	柳津町軽井沢	福島県立博物館
450		イヌカラマツのなかま	1	鮮新世後期	和泉層上部	会津坂下町長井	福島県立博物館
451		モギカエデ	1	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市青葉区	東北大学総合学術博物館
452		カエデのなかま	1	鮮新世前期末-後期	藤峠層上部	喜多方市山都町宮古川	福島県立博物館
453		ハンノキ	1	鮮新世前期末-後期	藤峠層上部	柳津町小柳津	福島県立博物館
454		ハンノキ	1	鮮新世後期	和泉層下部	喜多方市山都町原川	福島県立博物館
455		ハンノキ	1	鮮新世後期	和泉層下部	柳津町小柳津	福島県立博物館
456		カバノキのなかま	3	鮮新世前期末-後期	藤峠層上部	柳津町軽井沢	福島県立博物館
457		ジュンサイのなかま	1	鮮新世後期	和泉層中部	柳津町八坂野川	福島県立博物館
458		ヒメツゲ	1	鮮新世後期	和泉層中部	柳津町小柳津	福島県立博物館
459		クマシデのなかま	1	鮮新世前期末-後期	藤峠層上部	柳津町軽井沢	福島県立博物館
460		シキシマシデ	1	鮮新世後期	和泉層中部	柳津町八坂野川	福島県立博物館
461		クマシデのなかま	1	鮮新世後期	和泉層下部	会津坂下町洲走	福島県立博物館
462		マツモ	1	鮮新世後期	和泉層中部	柳津町八坂野川	福島県立博物館
463		エンドウスオウ	2	鮮新世前期末-後期	藤峠層上部	喜多方市上三宮町館山	福島県立博物館
464		キドコンプトニア	2	鮮新世後期	和泉層上部	喜多方市山都町沢口	福島県立博物館
465		シキシマブナ	1	鮮新世後期	和泉層下部	喜多方市山都町原川	福島県立博物館
466		シキシマブナ	1	鮮新世後期	和泉層上部	西会津町八重窪	福島県立博物館
467		ナガバブナ	1	鮮新世前期末-後期	藤峠層上部	柳津町軽井沢	福島県立博物館
468		ムカシブナ	2	鮮新世前期末-後期	藤峠層上部	柳津町軽井沢	福島県立博物館
469		ブナのなかま	1	鮮新世前期	竜の口層	宮城県仙台市	東北大学総合学術博物館
470		オオバタグルミ	1	鮮新世後期	和泉層上部	会津坂下町舟渡	福島県立博物館
471		フウのなかま	1	鮮新世	向山層	宮城県仙台市青葉区	東北大学総合学術博物館
472		フウの1変種	1	鮮新世前期末-後期	藤峠層上部	喜多方市上三宮町館山	福島県立博物館
473		ミツガシワの1変種	1	鮮新世後期	和泉層上部	柳津町八坂野川	福島県立博物館
474		コウセキハマナツメ	1	鮮新世前期末-後期	藤峠層上部	柳津町小柳津	福島県立博物館
475		コウセキハマナツメ	1	鮮新世後期	和泉層下部	柳津町小柳津	福島県立博物館
476		アイツボブラ	1	鮮新世前期末-後期	藤峠層上部	柳津町軽井沢	福島県立博物館
477		キタミボブラ	1	鮮新世前期末-後期	藤峠層上部	柳津町軽井沢	福島県立博物館
478		サンボンスギボブラ	2	鮮新世前期末-後期	藤峠層上部	喜多方市高郷町夏井	福島県立博物館
479		サンボンスギボブラ	1	鮮新世後期	和泉層中部	柳津町大柳川	福島県立博物館
480		サワグルミのなかま	1	鮮新世後期	和泉層下部	喜多方市上三宮町館山	福島県立博物館
481		シキシマサワグルミ	1	鮮新世後期	和泉層上部	柳津町八坂野川	福島県立博物館
482		コナラ	1	鮮新世後期	和泉層下部	喜多方市山都町一の戸川	福島県立博物館
483		ヤナギのなかま	1	鮮新世前期末-後期	藤峠層上部	柳津町八坂野川	福島県立博物館
484		ヤナギのなかま	1	鮮新世前期末-後期	藤峠層上部	喜多方市上三宮町館山	福島県立博物館
485		ナツツバキ	1	鮮新世後期	和泉層下部	西会津町井谷川	福島県立博物館
486		エゴノキ	1	鮮新世後期	和泉層下部	柳津町小柳津	福島県立博物館
487		エゴノキ	1	鮮新世後期	和泉層上部	柳津町八坂野川	福島県立博物館
488		イボビシ	1	鮮新世後期	和泉層上部	喜多方市山都町原川	福島県立博物館
489		ムカシハルニレ	1	鮮新世前期末-後期	藤峠層上部	喜多方市上三宮町館山	福島県立博物館
490		オオカメノキ	1	鮮新世?		宮城県仙台市青葉区	東北大学総合学術博物館
491		ニレバケヤキ	1	鮮新世前期末-後期	藤峠層上部	喜多方市上三宮町館山	福島県立博物館

### (3) その他の展示

#### (ア) まほろん移動展「新編陸奥国風土記巻之五 会津郡・耶麻郡 その一」

会 期 平成19年3月10日(土)～5月13日(日)  
これについては、年報第21号(平18年度)に詳しく掲載

#### (イ) 第2回ふくしま絵本大賞原画展

(ふくしま絵本と子どもの会との共催)

1. 会 期 平成19年5月26日(土)～6月24日(日)
2. 会 場 企画展示室(無料)
3. 入館者数 12,273人
4. 担当学芸員 展示保存班：榎陽介・笹川英俊・横須賀倫達 歴史分野：阿部綾子
5. 趣 旨

郡山市にある「ふくしま絵本と子どもの会」は地域に根ざした絵本文化を創造しようとする会である。この会が主催している「ふくしま絵本賞」の入選作を中心にした展覧会を開催した。平成18年の第2回ふくしま絵本賞の大賞を受賞した「そばのはなし」、喜多方市(旧塩川町)在住の語り部山田登志美さんのむかしばなしに、喜多方市の岩崎たき子さんが貼り絵で素敵な絵を添えた。このほか、入選作、佳作の原画を展示した。小さな子どもから大人まで、多くの方々に楽しんでいただくために、とくに無料にした。

#### 6. 展示作品

##### 【大賞作品】そばのはなし

語り／山田 登志美(喜多方市)

貼り絵／岩崎 たき子(喜多方市)

\*そばの茎はなぜ赤いか、という会津の昔話。古布の端切れを駆使して貼り絵で仕上げた、素朴で美しい味わいの作品。

##### 【佳作・絵画賞】まつかわのさめ

文・切り絵／大河原 裕也(郡山市)

\*いわきの民話を切り絵で表現した作品。大胆な構図で迫力ある画面が特徴的。

##### 【佳作】おばあちゃんの蓬田岳物語

文・絵／青木 典子(白河市)

\*石川郡の最高峰であり信仰の山でもある蓬田岳を題材としたお話。細部に色々しかけがあり、じっくりと楽しみたい作品。

##### 【奨励賞】まゆのはなし

文・絵／菅野 伝授(二本松市)

\*アクリル絵の具を用いた、豊かな色彩表現が魅力的な作品。お蚕さまの背中の模様注目した、深い味わいの話。

##### 【テキスト賞】起き上がり小法師

文・絵／森澤 弘子(会津若松市)

\*会津の三縁起の一つ、起き上がり小法師

を題材にした作品。起き上がり小法師の視点でかかれた、心温まるストーリー。

#### 7. 関連行事

##### よみきかせ

絵本が読めない小さな子どもたちのために、会期中毎週日曜日の午後1時半から午後3時まで、展示室でボランティアの方々のご協力により、「よみきかせ」の会を開いた。お母さんお父さんの膝の上で家族そろって楽しんでいただいた。

5月27日(日)午後1時30分

ふくしま絵本と子どもの会

6月3日(日)午後1時30分

よみきかせグループおはなしのへや

6月10日(日)午後1時30分

ふくしま絵本と子どもの会

6月17日(日)午後1時30分

よみきかせグループおはなしのへや

6月24日(日)午後1時30分

ふくしま絵本と子どもの会

#### 8. 課題

①この展覧会の企画は「ふくしま絵本と子どもの会」の会員で会津在住のかたからの働きかけによる。幼児が主となるだろうからということで、エントランスから直接入りでき、無料の空間とした。したがって正確なカウントはできていないので、入館者数としてあげてある数字は同時期の常設展の入場者数と同じである。

②展示面積が狭かったため、結界パネルを配置することで展示室のレイアウトを作ったが、やはりもう少し絵画などの平面的な資料の展示に対応するような設備が必要になるだろう。

③今回はたまたま幼児向け企画を実施することになったが、季節などを考慮しながら意図して展示の中に取り込むことも必要となるだろう。しかし、現実的にはどうしても「来る」ものを「展示」という関係が主となりがちだ。



「ふくしま絵本大賞」読み聞かせ会



(ウ) 南会津の地図・絵図展

ー福島県歴史資料館の資料からー

(福島県歴史資料館との共催)

1. 会 期 平成20年1月19日(土)～2月24日(日)
2. 会 場 企画展示室 (常設展料金で観覧)
3. 入館者数 2,298人
4. 担当学芸員 歴史分野：高橋 充
5. 趣 旨

福島市にある福島県歴史資料館との共催で、同館所蔵の南会津地域の地図・絵図類を展示した。展示品の中心は、江戸時代の村や山川を書いた地図・絵図。前年8月に誕生した尾瀬の自然公園、尾瀬沼や会津駒ヶ岳・田代山・帝釈山などの山々が、江戸時代にどのようなようであったか、地図・絵図を通して紹介した。

6. 展示構成

- ①南山御蔵入領へようこそ
- ②南会津の村めぐり

7. 関連行事

歴史講座「展示室講座『南会津の地図・絵図展』の見どころ」

日時 平成20年2月9日(土)午後1時30分～3時

講師 高橋 充

8. 成果と課題

- ①時代やテーマに沿ってではなく、実際の村ごとに資料を配列した。地元の方には好評だったが、まったく土地勘のない観覧者に

はわかりにくかった。現在の地図(地形図)や航空写真・景観写真を加えたが、展示の手法として、さらに工夫が必要である。

- ②福島県歴史資料館と連携して事業を進める計画であったが、学芸員の間で調査・研究など協力体制が十分でなかった。
- ③当館所蔵の「南山御蔵入領絵図」や「図書」は、出版物などによく掲載される。今回の村絵図などを加えると、南会津の歴史を紹介するパンフレットや書籍などに、いろいろな形で活用することができる。また、南会津の歴史を学んだり、旧街道を歩くグループなどとも協力して、地図・絵図をさらに活用する道を模索したい。



「南会津の地図・絵図展」展示風景

「南会津の地図・絵図展」 展示資料一覧

No.	資料名	年代	作成者	文書名・所蔵	文書番号
1	鴉巢村絵図	天保6年(1835)		馬場新家文書	420
2	鴉巢村絵図	江戸時代		馬場新家文書	440
3	鴉巢村絵図	寛政3年(1791)8月		馬場新家文書	609
4	大新田村・水根沢村絵図	文化2年(1805)6月		酒井一家文書	344
5	檜枝岐村絵図	慶応元年(1865)11月		檜枝岐村文書	237
6	檜枝岐村絵図	文政元年(1818)8月	檜枝岐村名主縫殿助・与頭弥次郎・百姓代与右衛門	檜枝岐村文書	243
7	檜枝岐村絵図	西正月	檜枝岐村名主縫殿之助	檜枝岐村文書	245
8	檜枝岐村絵図	明治3年(1870)12月		檜枝岐村文書	254
9	陸奥国の境界を書いた絵図	寛政3年(1791)11月	星善吉	檜枝岐村文書	255
10	檜枝岐村絵図	安政6年(1859)7月		檜枝岐村文書	258
11	只見川流域の絵図	子3月		檜枝岐村文書	259
12	田子倉村絵図	江戸時代		皆川欣也家文書	669
13	田子倉・石伏村境の絵図	江戸時代		皆川欣也家文書	673
14	石伏村絵図	江戸時代		矢沢三男家文書	854
15	只見川流域の絵図	文化7年(1810)8月	小出島組芋川村庄屋伊三郎	川口啓喜家文書	8
16	叶津村絵図	天保13年(1842)2月	叶津村百姓代清助・組頭定右衛門・名主作次郎	長谷部大作家文書(県重文)	800



No.	資料名	年代	作成者	文書名・所蔵	文書番号
17	叶津村絵図	天保13年(1842)3月	叶津村百姓代清助・組頭定右衛門・名主作次郎	長谷部大作家文書(県重文)	801
18	叶津村絵図	明治2年(1869)8月		長谷部大作家文書(県重文)	2354
19	会津郡黒谷組絵図	明治初期		長谷部大作家文書(県重文)	2357
20	八十里越の道筋	明治初期		長谷部大作家文書(県重文)	2358
21	叶津村絵図	明治初期		長谷部大作家文書(県重文)	2359
22	洪水に見舞われた大谷村	江戸時代		二瓶八郎家文書	321
23	大谷村絵図	江戸時代		二瓶八郎家文書	322
24	大登村絵図の下書き	江戸時代		河越卿家文書	532
25	大登村絵図の下書き	江戸時代		河越卿家文書	533
26	間方村絵図	天明2年(1782)7月	(間方村)名主儀兵衛	河越卿家文書	540
27	五畳敷村絵図	天明2年(1782)7月	五畳敷村百姓代太右衛門・組頭七郎治・名主理左衛門	河越卿家文書	542
28	漆峠村絵図	天明2年(1782)	漆峠村与頭八郎治	河越卿家文書	543
29	琵琶首村絵図の下書き	江戸時代		河越卿家文書	544
30	琵琶首村絵図の下書き	江戸時代		河越卿家文書	545
31	浅岐村絵図	天明2年(1782)7月	浅岐村名主治郎右衛門	河越卿家文書	547
32	大登村絵図の下書き	江戸時代		河越卿家文書	552
33	大成沢村絵図	天明2年(1782)7月	大成沢村名主源七・与頭次左衛門・百姓代治兵衛・長左衛門	河越卿家文書	553
34	南山御蔵入領絵図	天保7年(1836)2月	遠藤旧巴	福島県立博物館蔵	
35	南山御蔵入領絵図	文化3年(1806)5月	佐々木松夕	個人蔵(福島県立博物館寄託)	
36	図書 全10巻のうち1・3・4・6巻	安政5年(1858)～文久2年(1862)頃		福島県立博物館蔵	

※諸家文書はすべて福島県歴史資料館収蔵 文書名は同館収蔵資料目録に掲載されているもの

## (工) おかえりなさい！ミス福島

1. 会期 平成20年2月16日(土)～3月16日(日)
2. 会場 常設展示「歴史・美術」展示室(常設展料金で観覧)
3. 入館者数 2,878人
4. 担当学芸員 民俗分野：榎陽介 歴史分野：木田浩 美術分野：小林めぐみ
5. 趣旨

昭和2年(1927)に日米で行われた人形交流は、当時日米の間にあった、日本からの移民の処遇についてなど数多くの不協和音になんとか民間の力で友好と相互理解を深めて対処しようとしたアメリカ人宣教師シドニー・ギュリックのアイディアに、日本資本主義の父といわれる渋沢栄一を中心として応えた壮大な事業だった。この展覧会では、福島県代表としてアメリカに送られた市松人形「ミス福島(福島絹子)」の現所蔵者が、修理のために日本に里帰りさせたことを契機に開催されたもので、合わせて県内に残されている友好人形(青い目の人形)17体中15体を借用し展示した。

## 6. 展示構成

- ①答礼人形ミス福島とそのお道具  
ミス福島と附属する道具の展示
- ②日米人形交流  
渋沢史料館の資料により日米人形交流を展示
- ③福島県内の青い目の人形  
県内の青い目の人形15体(現存確認17体)、写真で1体を紹介。附属する資料なども展示した。

## 7. 関連行事

- ①ミス福島開榭展示作業公開(報道関係向け)  
日時 2月15日(金)午後3時30分より  
報道向けに実施した。複数の報道機関から開榭展示作業を取材したいという要望があったためマスコミ向けに公開した。所蔵者の要望もあって、答礼人形研究家の高岡美知子氏が立会い、開榭した。
- ②オープニングセレモニー  
日時 2月16日(土)午前10時30分より  
会場 展示会場

③ 記念講演会「80年前の国際交流—人形交流は人間交流—」

日時 3月1日(土)午後1時30分～3時

講師 答礼人形研究者・元武庫川女子大学教授 高岡美知子氏

④ Alan Pate さんにメッセージを送ろう

日時 3月9日(日)午前10時30分より

会場 エントランスホール、展示会場

内容 答礼人形を迎える歌をみんなで歌い、答礼人形の所蔵者に送るミス福島の絵を子どもたちに描いてもらった。

8. 成果と課題

① 展覧会は予定されたものではなく、急に開催することになったものであったため、準備の時間をとることができなかった。そのことは、答礼人形を輸送するために、専門業者を依頼できなかったことにつながり、東京の渋沢史料館から学芸員による梱包、公用車で輸送という形になった。会期終了後は当館から京都まで、学芸員が梱包し、輸送のみ専門業者が行うということになった。

② 展示場所も「歴史・美術テーマ展示」の展示予定を縮小し、割り込ませることによって確保できた。この点では割り込んだ相手の展示担当者が本展の担当でもあったという恵まれた偶然が介在した。

③ 結果的にはマスコミの一部から大きな支持を受け、冬の雪の季節という環境の悪さにもかかわらず多くの熱心な来館者に恵まれた。「81年ぶりに福島県に戻ってきた答礼人形」というドラマチックでロマンを感じられるテーマだったことも、報道に携わる人びとの記事にしようという意欲に力を与えたと思う。ただし、これらすべてのことは意図して行ったものではなく、偶然の結果である。また、そうした美しいエピソードに展覧会自体が流されてしまったという側面は確実にあったと思う。

④ 予定や計画ではなく偶然による展覧会であったため、展示の期間も限定しなくてはならなかった。冬の最も条件の悪い吹雪の季節ではなく、もう少しよい時期に実施できればさらに多くの方に見ていただけることになっただろう。

⑤ きちんと計画した展覧会ではなかったが、答礼人形をどうにかして福島県内で展示したいと、熱意を持って粘り強く「福島県」に向けメッセージを発し続けてくださった高岡美知子さんはじめ、多くの方々の無償

の協力を得ることができた。こうした機会をすばやく捉えて柔軟に対処するという能力を身につけておくということも博物館の活動というものには必要なことかもしれない。

⑥ 展覧会そのものだけではなく、そこで知れたことを記録として残すということも必要なことだろう。平成20年度の紀要には新聞記事などを採録して、展覧会だけでは伝えられなかった部分を残すことにしている。



「おかえりなさい! ミス福島」リーフレット



「おかえりなさい! ミス福島」オープニングセレモニー

「お帰りなさい！ ミス福島」 展示資料一覧

No.	資 料 名	所 蔵 者	備 考
1	答礼人形ミス福島	個人	アメリカ合衆国
2	ミス福島お道具	個人	アメリカ合衆国
3	渋沢栄一宛 シドニー・ギュリック博士書簡	渋沢史料館	10386
4	人形の歌	渋沢史料館	1927年3月3日
5	青い目の人形歓迎会ニ関スル電報（下書）	渋沢史料館	9925
6	Gift of Friendship	渋沢史料館	1927年3月14日 ニューヨークタイムズ記事の訳文
7	日本国済寺道親善協議会の議事録	渋沢史料館	1927年5月8日
8	National Reception for the Japanese Doll Ambassadors of Goodwill	渋沢史料館	1927年12月27日
9	日本青い目の人形使節に対する垂米利加の歓迎	渋沢史料館	
10	日本青い目の人形の垂米利加に於ける歓迎 概況	渋沢史料館	
11	アサヒグラフ 第8巻第10号	個人	人形大使館迎号
12	Dolls of Friendship	個人	シドニー・ギュリック著
13	写真パネル（青い目の人形の歓迎会）	渋沢史料館	渋沢史料館
14	写真パネル（日本青年館での答礼人形送別会）	渋沢史料館	1927年11月4日
15	写真パネル（答礼人形送別会）	渋沢史料館	渋沢史料館
16	写真パネル（リバーサイド市ミッションインに展示された答礼人形）	渋沢史料館	渋沢史料館
17	写真パネル（ワシントンでの歓迎会）	渋沢史料館	人形を渡すのは駐米大使松平恒雄氏の娘正子さん
18	写真パネル（シカゴ ホテル・ラ・ソールでの歓迎会）	渋沢史料館	1927年12月16日
19	写真パネル（ニューヨーク市役所前での歓迎会）	渋沢史料館	1927年12月28日
20	写真パネル（青い目の人形を抱く渋沢栄一）	渋沢史料館	1927年4月2日
21	青い目の人形（メリー）	福島市立水保小学校	
22	青い目の人形	福島市立荒井小学校	
23	青い目の人形	福島市立福島第三小学校	
24	着替え	福島市立福島第三小学校	
25	青い目の人形（ジャン・マリー・ネルソン）	梁川中央保育園	
26	着替え	梁川中央保育園	2枚
27	人形歓迎会招待者名簿の控え	梁川中央保育園	85名、うち52名にチェックマークあり。
28	答礼の使者として人形を送りませう	梁川中央保育園	日本児童親善会パンフレット
29	可愛いお人形が親善のお使	梁川中央保育園	日本児童親善会パンフレット
30	アメリカの子どもが記した英文レター	梁川中央保育園	
31	青い目の人形（ドロシー・ダウン）	川俣町立川俣小学校	
32	青い目の人形（リリー）	二本松市立渋川小学校	
33	青い目の人形（ベティ）	二本松市立渋川小学校	
34	人形の箱	二本松市立渋川小学校	
35	青い目の人形（バーニス・マスカーチン）	郡山市立守山小学校	
36	歓迎の辞	郡山市立守山小学校	昭和2年 児童総代 額入り
37	青い目の人形（アンナ）	郡山市立湖南小中学校	旧福良小学校
38	人形の箱	郡山市立湖南小中学校	
39	歓迎会の写真	郡山市立湖南小中学校	2枚
40	学級日誌	郡山市立湖南小中学校	人形受領及び歓迎会の記載あり
41	青い目の人形	郡山婦人会幼児保育所	
42	青い目の人形（ベティ・ジェーン）	白河市立白河第二小学校	
43	日本行き切符	白河市立白河第二小学校	
44	自己紹介カード	白河市立白河第二小学校	
45	パスポート	白河市立白河第二小学校	
46	青い目の人形	西郷村立熊倉小学校	

No.	資 料 名	所 蔵 者	備 考
47	パスポート	西郷村立熊倉小学校	
48	日本行きの切符	西郷村立熊倉小学校	
49	絵はがき	西郷村立熊倉小学校	福島県から発行か 袋付き
50	可愛いお人形が親善のお使	西郷村立熊倉小学校	日本児童親善会パンフレット
51	答礼使者として米国へ人形を送りませう	西郷村立熊倉小学校	日本児童親善会パンフレット
52	ギュリック氏よりの手紙	西郷村立熊倉小学校	日本の子供たちに宛てた和文。サインのみ英文。
53	答礼人形につけるアメリカの子供たち宛ての手紙	西郷村立熊倉小学校	英文が印刷され、上部に学校名が記されるようになっている。未記入である。
54	米国世界児童親善会寄贈人形ニ関スル件	西郷村立熊倉小学校	11月20日付で福島県内の各小学校校長宛に福島県学務部長の通達を記したもの。
55	青い目の人形（メリー）	いわき市立小川小学校	
56	青い目の人形（メリー）	只見町立只見小学校	
57	人形の箱	只見町立只見小学校	
58	絵はがき	只見町立只見小学校	福島県から発行か
59	青い目の人形写真	須賀川幼稚園	
60	青い目の人形（アンナ）	個人	旧私立坂下幼稚園
61	人形の箱	個人	旧私立坂下幼稚園
62	絵はがき	個人	福島県から発行か 袋つき 旧私立坂下幼稚園
63	「人形を迎える歌」の歌詞カード	個人	旧私立坂下幼稚園
64	「人形を迎える歌」の楽譜	個人	旧私立坂下幼稚園
65	園長の咄	個人	人形についての園長の話の手書き原稿 旧私立坂下幼稚園
66	英文レター	個人	旧私立坂下幼稚園
67	パスポート（切符を含む）	個人	アメリカ国旗が貼ってある切符がパスポートに付いている 旧私立坂下幼稚園
68	青い目の人形	個人	秋田県湯沢東小学校旧蔵
69	青い目の人形写真（ジュリー）	個人	会津若松市内の親善人形か？

(オ) まほろん移動展「考古学から探る古代会津  
—古墳・飛鳥・奈良・平安—」

～新編陸奥国風土記〔巻之五〕会津郡・耶麻郡その二より～

(福島県文化財センター白河館(まほろん)との共催)

1. 会 期 平成20年3月15日(土)～5月11日(日)
2. 会 場 企画展示室(常設展料金で観覧)
3. 入館者数 10,624人
4. 担当学芸員 考古分野:横須賀倫達・藤原妃敏・森 幸彦・大竹正浩
5. 趣 旨

福島県文化財センター白河館(まほろん)では県内各地から出土した考古資料を県民にわかりやすく紹介するため、毎年古代における郡ごとに遺跡や遺物を紹介する「新編陸奥国風土記」展を行っている。本展は平成19年春にまほろんにて開催された会津郡・耶麻

郡についての展示会を共催の「移動展」という形で当館にて実施したものであり、本年度は「その二」として古墳～平安時代の資料を紹介した。本館における移動展では、まほろんの収蔵資料に加えて会津坂下町、会津若松市、喜多方市、磐梯町各教育委員会の協力を得て資料を大幅に追加し、ストーリー性を補強した。

古墳・飛鳥時代では国指定重要文化財である会津大塚山古墳の資料を中心に、東北屈指の内容を誇る会津の古墳文化を紹介した。奈良・平安時代では、主に金堂の復元工事の進む慧日寺跡の資料を基軸に該期の信仰について触れている。

6. 関連行事

①考古学講座「考古学から探る古代会津の謎」

日時 4月19日(土)午後1時30分～2時30分



講師 横須賀倫達

②展示解説会

4月19日(土) 5月15日(日)

7. 成果と課題

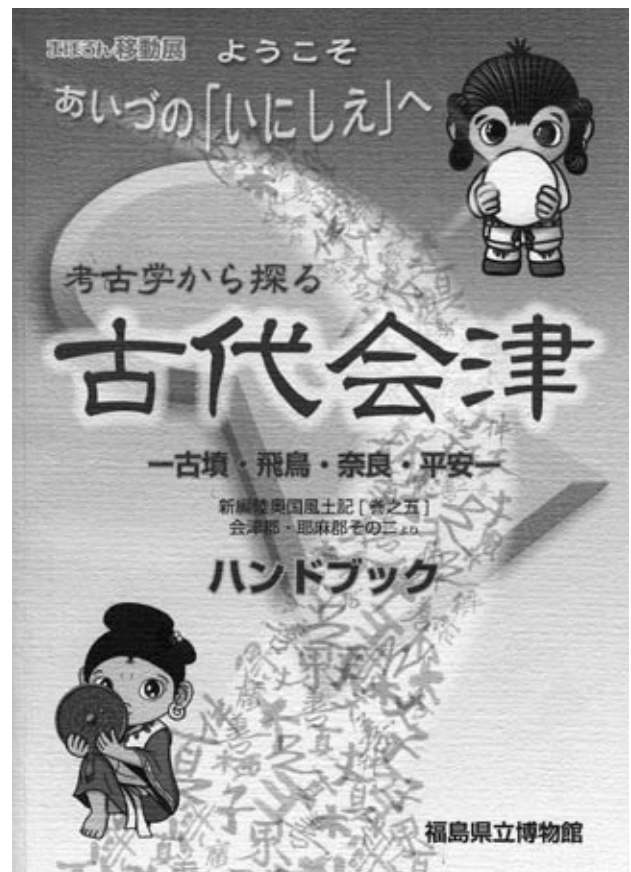
- ①当館の企画展を移動した平成18年度『馬と人との年代記』以来、福島県文化財センター白河館（まほろん）との連携事業は2年連続3度目となり、準備から開催まで滞りなく遂行することができた。
- ②資料を大幅に追加しストーリー性を強化、企画展示室すべてを使用した展示スペースの利用により、より規模の大きなわかりやすい展示となった。
- ③国指定重要文化財（大塚山古墳資料、恵日寺所蔵資料）、県指定重要文化財（田村山古墳資料、森北1号墳資料、大戸古窯跡群）といった指定品を多数公開することができた。
- ④A5判のハンドブック（オールカラー36ページ、販売価格250円）を発行することができた。（展示期間中の頒布部数 379部）
- ⑤展示タイトルを展示内容の理解しやすいものに変更した。
- ⑥映像資料の放映、竪穴住居跡空間の再現、



「まほろん移動展」展示解説会

手にとれる復元資料（鏡・土器）の設置、古代衣装の展示など、展示内容を体感してもらう仕掛けを多く設置し、好評を得た。

- ⑦関連行事は多数の参加者を得ることができた。地元を扱った内容ということであり、地域の関心の高さがうかがえた。
- ⑧総観覧者数は10,624人であった。昨年度開催の[その一]と比して総入館者数は減少。有料入館者数（大学生以上）は微増した。総入館者の減少は学校団体の来館が減ったためであり、今後は学校団体向けの内容の充実、広報などの取り組みが課題となる。
- ⑨理解の容易さを重視したため、詳しい解説のキャプションなどは極力少なくした。そのため、より詳しい説明を求めた観覧者にとっては不足だったようだ。



「考古学から探る古代会津一古墳・飛鳥・奈良・平安一」ハンドブック

まほろん移動展「考古学から探る古代会津」展示資料一覧

テーマ	No	資料名	点数	出土遺跡	所蔵者	指定
古墳時代の幕開け	1	徳一座像（複製）	1		当館	
	2	甕	2	館ノ内2号周溝墓	喜多方市教育委員会	
	3	壺	2	館ノ内2号周溝墓	喜多方市教育委員会	
	4	甕	3	稲荷塚1号住居	会津坂下町教育委員会	
	5	壺	1	稲荷塚1号住居	会津坂下町教育委員会	
	6	壺	2	稲荷塚2号周溝墓	会津坂下町教育委員会	
	7	器台	4	稲荷塚2号周溝墓	会津坂下町教育委員会	
	8	高杯	2	稲荷塚2号周溝墓	会津坂下町教育委員会	
	9	器台	1	杵ガ森古墳	会津坂下町教育委員会	
	10	壺	6	杵ガ森古墳	会津坂下町教育委員会	
	11	底部穿孔壺	11	稲荷塚6号周溝墓	会津坂下町教育委員会	
	12	器台	1	稲荷塚6号周溝墓	会津坂下町教育委員会	
	13	壺	1	稲荷塚6号周溝墓	会津坂下町教育委員会	
I 大型古墳と鏡の時代	14	内行花文鏡	1	田村山古墳	北会津町田村山区長	県重文
	15	内行花文鏡（破鏡）	1	田村山古墳	北会津町田村山区長	県重文
	16	鉄製品	5	田村山古墳	北会津町田村山区長	県重文
	17	玉類	2	田村山古墳	北会津町田村山区長	県重文
	18	銅鏡	1	森北1号墳	会津坂下町教育委員会	県重文
	19	鉄製ヤリガンナ	2	森北1号墳	会津坂下町教育委員会	県重文
	20	鉄製槍	1	森北1号墳	会津坂下町教育委員会	県重文
	21	管玉	2	森北1号墳	会津坂下町教育委員会	県重文
	22	二重口縁壺	2	森北1号墳	会津坂下町教育委員会	県重文
	23	二重口縁壺	1	堂ヶ作山古墳	会津若松市教育委員会	
	24	高杯	1	堂ヶ作山古墳	会津若松市教育委員会	
	25	鶏形土製品	2	堂ヶ作山古墳	会津若松市教育委員会	
	26	埴輪片	一括	田中舟森山古墳	喜多方市教育委員会	
	27	壺形土器片	一括	田中舟森山古墳	喜多方市教育委員会	
	28	底部穿孔壺	2	鎮守森古墳	会津坂下町教育委員会	
	29	埴輪片	6	亀ヶ森古墳	会津坂下町教育委員会	
	30	三角縁神獣鏡	1	会津大塚山古墳	会津若松市	国重文
	31	靱	1	会津大塚山古墳	会津若松市	国重文
	32	銅鏃	6	会津大塚山古墳	会津若松市	国重文
	33	三葉環頭大刀	1	会津大塚山古墳	会津若松市	国重文
	34	変形四獣鏡（会期中まで）	6	会津大塚山古墳	会津若松市	国重文
	35	振文鏡（会期中まで）	1	会津大塚山古墳	会津若松市	国重文
	36	剣	5	会津大塚山古墳	会津若松市	国重文
	37	復元品 三角縁神獣鏡	1	会津大塚山古墳	福島県文化財センター白河館	
	38	管玉・管玉未製品	21	宮ノ北遺跡	会津坂下町教育委員会	
	39	石針・鉄針	9	宮ノ北遺跡	会津坂下町教育委員会	
	40	砥石	2	宮ノ北遺跡	会津坂下町教育委員会	
	41	白石	1	宮ノ北遺跡	会津坂下町教育委員会	
	42	甕	2	宮ノ北遺跡	会津坂下町教育委員会	
	43	鉢	1	宮ノ北遺跡	会津坂下町教育委員会	
	44	器台	1	宮ノ北遺跡	会津坂下町教育委員会	
	45	小型丸底壺	1	宮ノ北遺跡	会津坂下町教育委員会	
II 謎の豪族居館と鍛冶のムラ	46	杯	3	古屋敷遺跡 SD01	喜多方市教育委員会	
	47	甌	1	古屋敷遺跡 SD01	喜多方市教育委員会	
	48	須恵器大甕	1	古屋敷遺跡 SD01	喜多方市教育委員会	
	49	杯	2	古屋敷遺跡 SD02	喜多方市教育委員会	
	50	鉢	1	古屋敷遺跡 SD02	喜多方市教育委員会	
	51	高杯	1	古屋敷遺跡 SD02	喜多方市教育委員会	
	52	甕	1	古屋敷遺跡 SD02	喜多方市教育委員会	
	53	須恵器杯	1	古屋敷遺跡 SD02	喜多方市教育委員会	
	54	壺	2	古屋敷遺跡 SK481	喜多方市教育委員会	
	55	高杯	1	古屋敷遺跡 SK481	喜多方市教育委員会	
	56	甕	1	古屋敷遺跡 SK481	喜多方市教育委員会	
	57	甌	1	古屋敷遺跡 SK481	喜多方市教育委員会	
	58	手づくね	1	古屋敷遺跡 SK481	喜多方市教育委員会	
	59	石製模造品	5	古屋敷遺跡 SK481	喜多方市教育委員会	
	60	白玉	13	古屋敷遺跡 SK481	喜多方市教育委員会	
	61	石製模造品	3	古屋敷遺跡 KSD -04	喜多方市教育委員会	
	62	白玉	56	古屋敷遺跡 KSD -04	喜多方市教育委員会	
	63	人物埴輪	1	経塚1号墳	会津坂下町教育委員会	
	64	家形埴輪	1	経塚1号墳	会津坂下町教育委員会	

テーマ	No.	資料名	点数	出土遺跡	所蔵者	指定	
Ⅱ 謎の豪族居館と鍛冶のムラ	65	人物埴輪	2	経塚1号墳	会津坂下町教育委員会		
	66	鳥形埴輪	1	経塚1号墳	会津坂下町教育委員会		
	67	円筒埴輪	2	経塚1号墳	会津坂下町教育委員会		
	69	杯	5	中平遺跡 SI11	会津坂下町教育委員会		
	70	甌	2	中平遺跡 SI11	会津坂下町教育委員会		
	71	甕	3	中平遺跡 SI11	会津坂下町教育委員会		
	72	杯	3	中平遺跡 SI14	会津坂下町教育委員会		
	73	壺	3	中平遺跡 SI14	会津坂下町教育委員会		
	74	甌	3	中平遺跡 SI14	会津坂下町教育委員会		
	75	甕	3	中平遺跡 SI14	会津坂下町教育委員会		
	76	カマド支脚	1	中平遺跡 SI14	会津坂下町教育委員会		
	77	砥石	1	中平遺跡 SI14	会津坂下町教育委員会		
	78	台石	1	中平遺跡 SI14	会津坂下町教育委員会		
	79	杯	1	中平遺跡1号平地	会津坂下町教育委員会		
	80	鉢	1	中平遺跡1号平地	会津坂下町教育委員会		
	81	甌	1	中平遺跡1号平地	会津坂下町教育委員会		
	82	甕	1	中平遺跡1号平地	会津坂下町教育委員会		
	83	編み物石	12	中平遺跡1号平地	会津坂下町教育委員会		
	84	羽口	3	中平遺跡1号鍛冶工房	会津坂下町教育委員会		
	85	鉄滓	3	中平遺跡1号鍛冶工房	会津坂下町教育委員会		
	86	鉄片	4	中平遺跡1号鍛冶工房	会津坂下町教育委員会		
	87	鉄床石	1	中平遺跡1号鍛冶工房	会津坂下町教育委員会		
	88	杯	5	中平遺跡1号祭祀跡	会津坂下町教育委員会		
	89	高杯	2	中平遺跡1号祭祀跡	会津坂下町教育委員会		
	90	鉢	2	中平遺跡1号祭祀跡	会津坂下町教育委員会		
	91	小甕	2	中平遺跡1号祭祀跡	会津坂下町教育委員会		
	92	甕	2	中平遺跡1号祭祀跡	会津坂下町教育委員会		
	93	白玉・管玉	1	中平遺跡1号祭祀跡	会津坂下町教育委員会		
	Ⅲ 溝で囲うムラと崖に並ぶ横穴墓	94	須恵器横瓶	1	樋渡台畑遺跡 SI7	会津坂下町教育委員会	
		95	須恵器はそう	1	樋渡台畑遺跡 SI7	会津坂下町教育委員会	
		96	青銅釧	1	樋渡台畑遺跡 SI7	会津坂下町教育委員会	
		97	鉄ヤリガンナ	1	樋渡台畑遺跡 SI16	会津坂下町教育委員会	
		98	石製管玉	6	樋渡台畑遺跡 SI7	会津坂下町教育委員会	
99		鉄製斧	1	樋渡台畑遺跡 SI8	会津坂下町教育委員会		
100		須恵器特殊器台	1	樋渡台畑遺跡 SI9	会津坂下町教育委員会		
101		鉄鎌	1	樋渡台畑遺跡 SI9	会津坂下町教育委員会		
102		青銅製釧	1	樋渡台畑遺跡 SI11	会津坂下町教育委員会		
103		鉄製釣針	1	樋渡台畑遺跡 SI12	会津坂下町教育委員会		
104		須恵器提瓶	1	樋渡台畑遺跡 SI16	会津坂下町教育委員会		
105		鉄鎌	1	樋渡台畑遺跡 SI16	会津坂下町教育委員会		
106		紡錘車	1	樋渡台畑遺跡 SI16	会津坂下町教育委員会		
107		ガラス小玉	2	樋渡台畑遺跡 SI16	会津坂下町教育委員会		
108		鉄鎌	1	樋渡台畑遺跡 SI19	会津坂下町教育委員会		
109		紡錘車	1	樋渡台畑遺跡 SI27	会津坂下町教育委員会		
110		鉄鎌	2	樋渡台畑遺跡 SI27	会津坂下町教育委員会		
111		土製丸玉	1	樋渡台畑遺跡 SI27	会津坂下町教育委員会		
112		土製管玉	2	樋渡台畑遺跡 SI27	会津坂下町教育委員会		
113		須恵器大甕	1	樋渡台畑遺跡 SD9	会津坂下町教育委員会		
114		甕	1	竹原遺跡	会津坂下町教育委員会		
115		勾玉・丸玉	2	内屋敷遺跡	喜多方市教育委員会		
116		土製管状品	2	内屋敷遺跡	喜多方市教育委員会		
117		須恵器提瓶	2	内屋敷遺跡	喜多方市教育委員会		
118		杯	3	内屋敷遺跡	喜多方市教育委員会		
120		杯	3	内屋敷遺跡	喜多方市教育委員会		
121		挂甲小札	一括	山崎46号横穴	喜多方市教育委員会		
122		ガラス小玉	9	山崎46号横穴	喜多方市教育委員会		
123		鉄刀	2	山崎9号横穴	喜多方市教育委員会		
124		鉄鎌	1	山崎9号横穴	喜多方市教育委員会		
125	刀子	1	山崎9号横穴	喜多方市教育委員会			
126	水晶切子玉	1	駒板新田1号横穴	福島県教育委員会			
127	石製勾玉	13	駒板新田2号横穴	福島県教育委員会			
128	青銅製耳環	3	駒板新田2号横穴	福島県教育委員会			
130	鉄刀	1	駒板新田2号横穴	福島県教育委員会			
131	鉄鎌	1	駒板新田3号横穴	福島県教育委員会			
132	ガラス小玉	64	駒板新田4号横穴	福島県教育委員会			

テーマ	No.	資料名	点数	出土遺跡	所蔵者	指定
Ⅲ 溝で囲うムラと崖に並ぶ横穴墓	133	両頭金具	1	駒板新田5号横穴	福島県教育委員会	
	134	石製勾玉	6	駒板新田5号横穴	福島県教育委員会	
	135	ガラス小玉	25	駒板新田5号横穴	福島県教育委員会	
	136	鉄刀	1	駒板新田8号横穴	福島県教育委員会	
	137	鉄鎌	1	駒板新田9号横穴	福島県教育委員会	
	138	鉄刀	1	駒板新田11号横穴	福島県教育委員会	
	139	鉄鏃	1	駒板新田11号横穴	福島県教育委員会	
	140	鉄鏃	7	駒板新田11号横穴	福島県教育委員会	
	141	両頭金具	2	駒板新田11号横穴	福島県教育委員会	
	142	環状吊金具	1	駒板新田12号横穴	福島県教育委員会	
	144	須恵器大甕	1	駒板新田13号横穴	福島県教育委員会	
	145	鉄鏃	2	駒板新田15号横穴	福島県教育委員会	
	146	石製勾玉	5	駒板新田15号横穴	福島県教育委員会	
	149	青銅製耳環	1	駒板新田16号横穴	福島県教育委員会	
	Ⅳ 姿を現した会津郡衙	150	須恵器フラスコ瓶	1	駒板新田19号横穴	福島県教育委員会
151		杯	1	駒板新田24号横穴	福島県教育委員会	
152		盤	3	駒板新田24号横穴	福島県教育委員会	
153		碗	1	駒板新田24号横穴	福島県教育委員会	
154		杯	3	郡山遺跡 SK51	会津若松市教育委員会	
155		鉢	2	郡山遺跡 SK51	会津若松市教育委員会	
156		甕	2	郡山遺跡 SK51	会津若松市教育委員会	
157		高杯	1	郡山遺跡 SK51	会津若松市教育委員会	
158		須恵器杯	1	郡山遺跡 SK51	会津若松市教育委員会	
159		杯	1	郡山遺跡 SA09	会津若松市教育委員会	
160		甕	2	郡山遺跡 SA09	会津若松市教育委員会	
161		墨書土器「会」	2	郡山遺跡	会津若松市教育委員会	
162		瓦片	4	郡山遺跡	会津若松市教育委員会	
164		軒丸瓦	1	村北窯跡	会津若松市教育委員会	
165		奈良三彩壺	1	鏡の町遺跡A	喜多方市教育委員会	
166		石製丸轆	1	鏡の町遺跡B	喜多方市教育委員会	
167		耳皿	1	鏡の町遺跡A	喜多方市教育委員会	
168		腰帯復元品	1		福島県立博物館	
169		筆復元品	1		福島県立博物館	
170		緑釉皿	1	鏡ノ町遺跡B	喜多方市教育委員会	
171		灰釉長頸壺	1	鏡ノ町遺跡B	喜多方市教育委員会	
172		墨書土器「宿」	1	鏡ノ町遺跡B	喜多方市教育委員会	
173		灰釉碗	1	西木流C遺跡	会津若松市教育委員会	
174		刻書須恵器甕「大江」	1	内屋敷遺跡	喜多方市教育委員会	
175		風字硯	1	屋敷遺跡	福島県教育委員会	
176		墨書土器「大私」	1	屋敷遺跡	福島県教育委員会	
177		墨書土器「海」	1	矢玉遺跡	会津若松市教育委員会	
178		墨書土器「長」	1	矢玉遺跡	会津若松市教育委員会	
179		舟形二面硯	1	金屋遺跡	会津若松市教育委員会	
180		円面硯	1	上雨屋遺跡	会津若松市教育委員会	県重文
181		須恵器平瓶	2	上雨屋遺跡	会津若松市教育委員会	県重文
182		須恵器蓋	1	上雨屋遺跡	会津若松市教育委員会	県重文
183		融着須恵器杯	1	上雨屋遺跡	会津若松市教育委員会	県重文
184		須恵器蓋	1	上雨屋12号窯跡	会津若松市教育委員会	県重文
185		須恵器杯	1	上雨屋12号窯跡	会津若松市教育委員会	県重文
186	須恵器鳥形瓶	1	分布採集	会津若松市教育委員会	県重文	
187	須恵器長頸瓶	2	大戸窯跡郡南原19・25号窯	会津若松市教育委員会	県重文	
188	須恵器杯	3	大戸窯跡郡南原19号窯	会津若松市教育委員会	県重文	
189	須恵器焼台	2	大戸窯跡郡南原19号窯	会津若松市教育委員会	県重文	
190	須恵器高台付杯	1	大戸窯跡郡南原19号窯	会津若松市教育委員会	県重文	
191	須恵器蓋	1	大戸窯跡郡南原19号窯	会津若松市教育委員会	県重文	
Ⅴ 人の祈り 仏都会津のはじまりと古代	192	三鈷杵	1	慧日寺	恵日寺	国重文
	193	刻書土器「佛」	1	慧日寺	磐梯町教育委員会	
	194	墨書土器「赤水寺」	2	慧日寺	磐梯町教育委員会	
	195	墨書土器「見寺」	1	慧日寺	磐梯町教育委員会	
	196	墨書土器「碧」	1	慧日寺	磐梯町教育委員会	
	197	墨書土器「安集」	1	慧日寺	磐梯町教育委員会	
	198	墨書土器「造佛」	2	慧日寺	磐梯町教育委員会	
	199	二彩火舎	1	慧日寺	磐梯町教育委員会	
	200	羽口	1	慧日寺	磐梯町教育委員会	
	201	埴塼	1	慧日寺	磐梯町教育委員会	



テーマ	No.	資料名	点数	出土遺跡	所蔵者	指定
V 仏都会津のはじまりと古代人の祈り	202	鉄滓	2	慧日寺	磐梯町教育委員会	
	203	須恵器泥塔	1	郡山遺跡	会津若松市教育委員会	
	204	須恵器小瓶	1	会津総合運動公園	会津若松市教育委員会	
	205	灯明杯	3	内屋敷遺跡	喜多方市教育委員会	
	206	瓦塔	16	内屋敷遺跡	喜多方市教育委員会	
	207	瓦塔復元品			喜多方市教育委員会	
	208	線刻・蓮文土器「岡本」	1	荒屋敷遺跡	福島県教育委員会	
	209	墨書土器「寺□」	1	上吉田遺跡	福島県教育委員会	
	210	須恵器浄瓶	1	間宮出土	個人	
	211	墨書土器「祀」	1	三城潟家北遺跡	猪苗代町教育委員会	
	212	墨書土器「寺」	1	北遠面遺跡	会津坂下町教育委員会	
	212	人面・人物墨書土器	2	鏡ノ町遺跡B	喜多方市教育委員会	
	213	墨書土器「神」	1	郡山遺跡	会津若松市教育委員会	
	214	墨書土器「宮」	1	郡山遺跡	会津若松市教育委員会	
	215	墨書土器「財」	1	郡山遺跡	会津若松市教育委員会	
	216	墨書土器「鳥」	1	郡山遺跡	会津若松市教育委員会	
	217	墨書土器「吉集」	1	観音屋敷遺跡	猪苗代町教育委員会	
	218	墨書土器「万福・臣」	1	観音屋敷遺跡	猪苗代町教育委員会	
	219	墨書土器「福集」	1	屋敷遺跡	福島県教育委員会	
	220	墨書土器「若」	1	上吉田遺跡	福島県教育委員会	
	221	墨書土器「得」	1	上吉田遺跡	福島県教育委員会	
	222	墨書土器「和」	1	上吉田遺跡	福島県教育委員会	
	223	墨書土器「善」	1	上吉田遺跡	福島県教育委員会	
	224	墨書土器「真」	1	上吉田遺跡	福島県教育委員会	
	225	土器類	17	上吉田遺跡	福島県教育委員会	
	226	土器類	1	上吉田遺跡	福島県教育委員会	
	227	河川跡模型	1	上吉田遺跡	福島県文化財センター白河館	
次なる時代へ	228	経筒	1	松野千光寺経塚	喜多方市教育委員会	
	229	白磁四耳壺	1	陣が峯城跡	会津坂下町教育委員会	
	230	白磁水注	1	陣が峯城跡	会津坂下町教育委員会	
	231	青白磁輪花皿	1	陣が峯城跡	会津坂下町教育委員会	

#### (4) 移動展

県立博物館の展示を見たくても「会津若松は遠すぎて」という県民の声がしばしば聞かれる。また、当館で実施した企画展の一部や、当館の収蔵品を市町村の博物館・資料館で公開して欲しいという要望も多い。県立博物館では、収蔵品を県内各地で広く公開することで、県民や市町村の要望に応え、県民に文化に対する理解をさらに深めてもらうという目的で、県内の博物館相当施設での展示を開催している。

#### 「博物館がやって来た！！ - 県立博物館収蔵庫のヒ・ミ・ツ…」

1. 会期 平成19年10月13日(土)～11月25日(日)
2. 会場 双葉町歴史民俗資料館
3. 入館者数 743人
4. 担当学芸員 考古分野：横須賀倫達 歴史分野：佐藤洋一 美術分野：小林めぐみ・笹川英俊 民俗分野：榎陽介・鈴木克彦 企画：展示保存班（榎・笹川・横須賀）

#### 5. 趣旨

サブタイトルに「収蔵庫のヒ・ミ・ツ」としたのは、これまでとは異なった、分野などの枠を超えたテーマに沿って資料を選び出し、展示会を構成しようとしたからである。とは

いうものの、連携の薄い資料でも並べることができるなど、展示資料選択の幅が広がるという利点も当然あった。

設定した「秘密」は5つ。そこには名品といわれるものから、そうはいえないだろうというものまで、多様なものが振り分けられた。レプリカや模造品も堂々と展示。逆に本物そっくりだということを強調して見もらった。

#### 6. 展示構成

～収蔵庫5つのヒミツ～

- ①古墳のヒミツが入ってます  
県内古墳出土の埴輪や装飾古墳の壁画写真パネルを展示。
- ②いいものいっぱい入ってます  
会津漆器や有名な誰でもが知っているような歴史上の人物の資料など。
- ③こんなものまで入ってます  
福島県を特徴付ける習俗といえるけれども、その形がちょっと世間をはばかりなものだから、なかなかおっぴらには、という上棟式に棟木につける火伏せやオカマサマとよばれるもの。それから村境に立っていたわら人形など。

④集める情熱入ってます

いつの時代でもコレクターはいて、他の人にはその情熱が理解できない、ということもあっただろう。ここでは郷土玩具のコレクションと、古銭の収集家の資料。いずれも当館に寄贈されたもの。

⑤ホンモノそっくり入ってます ～レプリカ資料～

かつて若松城にあったといわれる泰西王侯騎馬図屏風。本物はしかるべき美術館に収蔵されているがその複製品が当館にはある。そして、仏像や土器の忠実なレプリカ。それだけ見たのだったらちょっと偽者か本物か区別が付きにくいだろう。

7. 関連行事

体験講座「まるごと体験博物館」

11月3日、4日の2日間、勾玉づくり、糸紡ぎ、時代衣装を着てみよう、きなこづくり、雪国の装いの5つのメニューを用意し、



「博物館がやってきた」リーフレット

小学生を中心に体験してもらった。とくに初日の午後からの体験には、待ちかねた小学生の女子児童が多数詰めかけ、会場はにぎやかな声にみちていた。人気は時代衣装の着付けと勾玉づくりの2つであった。

8. 成果と課題

①移動展は資料の連関性や地元双葉や浜通りとの関係よりも、テーマを優先して選択した。そのことは、展示の切り口を豊かにする面では利するものだったが、全体として、魅力を増したかどうかについては疑問が残った。ただ、ポスターは印刷所にイメージを伝えデザインをお願いしたが、楽しいイメージを伝えるものとなったと思う。

②来館者数が伸びなかったことはどこに原因があったのか。近年では旧梁川町で開催した展覧会では、自然分野が中心となり小中学生をターゲットにし、好評を得た。また梁川町の教育委員会が各方面に強く来館を勧めたこともあって、多くの観覧者を迎えることができた。それと比較してみると、今回は開催地の展覧会開催への全体としてのサポートを引き出す、ということへの工夫が必要であったろう。

③輸送費が計上されていないと、とくに美術資料の展示が困難になる。今後予算の状況によっては公用車での輸送のみということもありうるわけで、その対応を考えておかなければならないだろう。



「まるごと体験博物館」実施風景

移動展「博物館がやって来た!!」展示資料一覧

No.	コーナー	資料名	(出自)	分野	点数	指定
古墳のヒミツ						
1		人物埴輪 (盾持)	原山1号墳	考古	1	県重文
2		人物埴輪 (女子)	原山1号墳	考古	1	県重文
3		動物埴輪 (鳥)	原山1号墳	考古	1	県重文
4		円筒埴輪	原山1号墳	考古	2	県重文
5		壁画パネル		考古	4	
いいものいっぱい						
6		大隈瀧銅版画		美術	1	
7		照姫 短冊		美術	1	
8		十二天図		美術	1	
9		中尊寺経 (清衡経)		美術	1	
10		草花蒔絵螺鈿洋櫃		美術	1	
11		白虎隊自刃図		美術	1	
12		鶴亀草花螺鈿鼓箱		美術	1	
13		武田晴信書状		歴史	1	
14		会津藩家訓		歴史	1	
こんなものまで						
15		おかまさま	旧安達町石橋	民俗	1式	
16		火伏せ	三島町名入	民俗	1式	
17		わら人形	西会津町	民俗	1	
18		わら人形	秋田県大館市	民俗	2	
19		フミダワラ	三島町	民俗	1足	
20		アシナカ		民俗	1足	
21		ミノ		民俗	1	
22		カンジキ		民俗	3	
23		カンゼンブシ	只見町	民俗	1	
集める情熱						
24		貨幣 (古代)		歴史	12	
25		貨幣 (近世)		歴史	59	
26		貨幣 (近代)		歴史	23	
27		全国の郷土玩具	大竹コレクション	民俗	60	
28		各地のこけし	大竹コレクション	民俗	33	
29		民具いろいろ	大竹コレクション	民俗	8	
ホンモノそっくり						
30		縄文時代土器 (複製)		考古	8	
31		縄文時代土器	三貫地貝塚	考古	4	
32		平安時代土器 (複製)		考古	8	
33		平安時代土器	社教資料	考古	4	
34		泰西王侯騎馬図 (動) (複製)		美術	四曲一双	
35		泰西王侯騎馬図 (静) (複製)		美術	二曲一双	
36		木造十一面観音菩薩立像 (複製)		美術	1	
37		興福寺 仏頭 (複製)		美術	1	

(5) 展示解説

(ア) 展示解説員

当館では、22名の展示解説員を配備し、展示の解説を中心とした業務を担当している。通常の展示解説のほか、次の解説業務を実施している。

1. やさしい展示解説会

展示解説員による常設展の定時解説会。原則的に土・日曜日、各2回（午前11時、午後2時開始、ただし他の行事と重なる時間帯は実施せず）行い、1回の所要時間は約45分間。解説箇所は総合展示室全体。

実施状況 計90回 参加人数317人  
(土曜日34回109人、日曜日56回208人)

## 2. 通し解説

非定期の常設・企画展解説。個人・団体の要望に応じ、展示解説員1人が総合展示室を解説。

実施回数 計52回

## 3. 部屋送り解説

非定期の常設・企画展解説。主に個人の要望に応じ、各展示室担当の解説員が交代で解説。

実施回数 計78回

## 4. ガイダンス

学校団体向けに当館の概要と展示の紹介、利用上の諸注意などを行う。

実施回数 計4回

### (イ) 学芸員

企画展の会期中において、展示解説員の食事休憩の時間帯で、展示室での解説および監視の人員が不足する事態が生じる。それに対応するため、学芸員がその役割を担う。平成19年度は、1コマ45分で計187コマ担当した。

### (ウ) 展示解説のための印刷物

常設展示を解説した印刷物を次のとおり出版している。なお、企画展については、その都度展示解説図録を刊行している。

#### ①福島県立博物館常設展示解説図録

常設展の解説図録。昭和61年初版発行。106p.

#### ②福島県立博物館ガイドブック

常設展の展示内容をコンパクトに解説。裏方の館活動も紹介。昭和61年発行。28p.

#### ③博物館と遊ぼう!

子供に展示に対する興味を起こさせるように工夫した解説書。平成7年発行。61p.

#### ④ Fukushima Museum Permanent Exhibition Guide Book

英文の展示解説パンフレット。希望する来館者に無償配布。昭和18年発行。14p.

#### ⑤解説シート

常設展示の解説補助として展示解説シートを作成した。常設展示を中心に各コーナーで解説テーマを設け、計21ヶ所に設置した。

解説シートの作成件数 (平成20年3月31日現在)

常設展示	大テーマ	テーマ数
総合展示	原 始	2
	古 代	2
	中 世	2
	近 世	2
	近・現代	2
	自然と人間	2
部門展示	民 俗	2
	自 然	2
	考 古	2
	歴史・美術	1
体験学習室		2

## 4. 調査研究事業

### (1) 展示資料調査研究

将来の博物館リニューアルに向けて、新たな研究成果と展示資料の収集のため、考古・歴史・民俗・美術・自然の各分野がテーマを設定し、調査を実施している。

#### (ア) 考古資料の材質・製作技法に関する研究

##### 1. 趣 旨

出土した状態の考古資料は、そのままでは当時の姿を理解することが難しい。また、製作技術の分析にはその材質や技術的な特徴を把握することが必要である。本研究では展示資料を復元するためのバックデータ収集を目的とする。

##### 2. 調査概要

平成19年度は、県内古墳出土考古資料のうち以下の調査研究を行った。

#### ①南相馬市羽山1号横穴出土鉄製品 (7世紀

#### 初頭)

平成18年度から継続。平成19年度も引き続き資料を南相馬市より借用し、実測、写真撮影等の整理作業、及び構造、製作技術等の調査、検討を実施した。また6月に南相馬市を訪れ、借用資料以外の調査を行っている。なおこれら2ヶ年度の調査成果については、平成19年度発行の当館紀要(22号)に発表している。

主な成果としては、馬具(辻金具、帯金具)の鉾を錫で装飾していることが判明、いわき市勿来金冠塚古墳に次いで全国2例目の事例を確認しえた。これまで北方ルートを通じての流通が考えられていた古墳時代~奈良時代の錫製品について、再考を促す成果となりうる。

#### ②郡山市淵ノ上1号墳出土鉄製品 (6世紀後



葉)

平成19年度から開始。郡山市から資料を借用し、接合、実測、X線透過撮影等の整理作業及び、構造、製作技術等の調査、検討を実施した。

本資料については平成20年度も継続調査する予定であるが、今年度までに朝鮮半島製品と親縁関係をもつ冑の構造認識、全国で3例目の確認例となる胸板状鉄製品の確認、これまで認識されていなかった馬具類の確認等の成果があがっている。

## (イ) 展示室における効果的な歴史理解に資する歴史資料の研究

### 1. 趣旨

(内容)

この調査研究は、県内外の観覧者が、展示室において効果的に福島県の歴史に関する理解を深めることができるように、各時代のさまざまな様相を象徴的に示すことができる実物資料について、歴史事象を多角的にとらえることができるような周辺資料も含めて、調査研究することを目的とする。

その成果は、当館の常設展示の展示替えにおける歴史関係展示資料の候補や複製資料を製作する候補を選定する際に活用する。

(対象)

- ・古代資料：本県に関わる出土文字資料  
地名（郡郷名）や人名・寺社名・歌謡が記載されている典籍
- ・中世資料：国家の変動と本県の武士の動向がわかる歴史資料  
(蘆名氏関係資料・伊達氏関係資料・蒲生氏関係資料)
- ・近世資料：幕藩制下における支配形態と民衆の動向がわかる歴史資料  
(県内諸大名関係資料・幕府代官関係資料)
- ・近・現代資料：国家の動向と本県の役割がわかる歴史資料  
(戊辰戦争関係資料・自由民権関係資料)

(新展示関連中テーマ)

- ・飛鳥・奈良・平安時代一寺院の誕生など
- ・中世一戦争と城
- ・近世一モノとヒトの動き
- ・近代一福島県の成立 戦争と県民生活
- ・現代一復興と高度経済成長

### 2. 調査概要

①古代 福島県関係の地名、人名、社寺名が

見られる古代史資料（典籍、古辞書など）の所在調査および写真複製作成候補の選定。とくに恵日寺関係資料の調査。

②中世 福島県ゆかりの武将関係資料および絵図類の所在調査、特に新規の県外所在資料の情報収集および所在確認と調査。

③近世 福島県ゆかりの大名関係資料や地方関係資料の新規所在確認と調査。古文書資料の製作道具など成立に関わる資料の所在調査。戊辰戦争に至る幕末資料の所在調査。

④近代 世界的、全国的に著名になった福島県出身者の動向を示す資料情報の収集と資料調査。明治維新期の県内の行政文書など政治史関係資料や県内の教育史資料の所在調査。西南戦争から第二次世界大戦にかかる県内の戦争関係資料の所在調査。

⑤現代 戦後復興期の資料所在調査。日本の高度経済成長期の資料所在調査。

⑥その他 資料所在情報調査にあたっては、各時代の担当者が主体性をもってあたるが、資料調査にあたっては、調査先の資料所蔵状況に応じて、相互に協力して調査を推進する。

## (ウ) 福島県における衣生活文化の研究

### 1. 趣旨

福島県内の衣料の歴史と材質を中心に明らかにすることを目的とする。幸い、大沼郡昭和村のようにカラムシの栽培の本州唯一の地域もあり、わが国のカラムシ栽培とそれを材料とする越後上布・縮などの伝統織物の歴史を解き明かす重要な位置にある。また、大沼郡三島町の縄文晩期の荒屋敷遺跡からは、当時の布（アングン）や布織目の圧痕のある土器片の出土などの資料もあり、布の歴史を知る上で多くの資料を有している。本研究は、これら出土繊維をも含め、麻・シナ・藤・木綿などの衣料の変遷と各地の資料館等に保存されている資料を調査し、福島県内の衣の民俗を明らかにするものである。

### 2. 調査概要

平成19年度は、南会津地方の仕事着の調査を軸に、南会津郡の衣生活の調査を行った。具体的には、旧南郷村・只見町の山村部の仕事着の変遷を中心に調査した。

また、只見町教育委員の協力により、同町収蔵の仕事着コレクションの調査と現地での聞き取り調査を行った。

さらに、本館寄託の「渡部つとむコレクション」の中から、産育儀礼に着用する祝着

の調査を行い、その成果を歴史美術テーマ展示「ささやかなみやびー子どもの着物と祝いの装いー」で展示した。

## (エ) 福島県域の大名文化に関する研究

### 1. 趣 旨

戦国時代末から江戸時代にかけて、福島県域には多くの領主、大名の支配地が存在した。本研究では、関連諸大名を取り巻く文化の様相を、大名自身の作品、彼らが養成した学者、画家、工人らの資料、学問に関わる資料を通して、明らかにする。なお、この成果は文化展示のテーマ内容、ならびに企画展に反映させる。

### 2. 調査概要

相馬市個人、南相馬市個人、会津若松市妙国寺などで行った相馬駒焼、涅槃図繡仏の調査に基づき、歴史美術テーマ展示、紀要などで一部資料を紹介した。

## (オ) 恐竜時代のふくしまに関する研究

### 1. 趣 旨

本県に分布する中生代のジュラ紀～白亜紀の地層は、本県の大地の基盤をなす重要な位置を占めている。特に最近、本県浜通りに分布する相馬およびいわき地域の中生代の地層から、恐竜をはじめとする脊椎動物、植物化石など、重要な化石の発見が相次ぎ、これらをもとに、地史や古環境を再考することが必要となってきている。本研究では、本県中生代の岩石・化石資料を収集し、調査を進め、東アジア全体の形成史を背景としながら、当時の生物相および古環境がどのようなものであったかを明らかにする。調査にあたっては、大学等の研究機関はもちろんのこと、地域の研究団体との共同研究・情報交換を積極的に進める。

### 2. 調査概要

平成19年度は、相馬地域に分布するジュラ紀の相馬中村層群といわき地域に分布する白亜紀の双葉層群の調査を中心に実施した。

#### ①コレクション調査

平成19年12月12日 いわき市四倉町在住の鈴木千里氏からいわき市白亜紀層産化石の借用と相馬地域ジュラ紀層の貝類化石の受贈

#### ②現地地質調査

平成20年3月12日～13日 相馬市塩手山および山上にて相馬中村層群下部の山上層、栗津層の地質調査

## (2) その他の調査研究事業

## (ア) 鈴木敬治植物化石コレクション整理事業

### 1. 趣 旨

福島大学名誉教授の故鈴木敬治氏により、本県を中心とした地域から採集された植物化石標本および関連資料等、約2万点が当館に収蔵されている。これらは、鈴木氏の長年にわたる古植物研究によって収集されたすべての資料である。新生代の植物化石コレクションとしては本邦屈指のものであり、新種を設定する模式標本も多く、学術的価値が高い。

これらの標本を最新の学術動向に沿うように順次整理・登録し、博物館資料として万全の体制を整える。また、将来予定されている博物館リニューアルにおいては、本コレクションを、当館の最も重要な自然史資料の一つとして広く公開する予定である。さらに、コレクション目録を編纂・刊行して、研究者に対する資料利用の便宜を図る計画である。

### 2. 事業概要

平成19年度は、未鑑定資料のうちの一部について福井県立恐竜博物館の矢部淳氏に鑑定を依頼し、約100点の鑑定を行った。しかしながら、当初計画において予定されていた本年度のコレクション目録の刊行は、予算の削減により印刷費が認められなかったため実行されなかった。さらに、平成20年度も引き続き印刷費が認められていないため、これまでに鑑定・登録済みの標本についての目録刊行は、当初計画より2年延期となり平成21年度の事業となる予定である。

## (イ) 収蔵資料鑑定整理事業

当館では、採集・寄贈などにより自然史資料の収集を進めている。これらには、さまざまな化石や鉱物・岩石が含まれる。これらの資料は、種類の同定など正確な鑑定を経て初めて標本としての価値をもち、展示や研究資料として活用できる。そのため当館では、毎年収集した資料および既に収蔵されているもののうち、学芸員では鑑定できない資料の鑑定を、それぞれの専門家に依頼し行っている。

平成19年度は次の資料の鑑定を依頼した。

福島県産新生代貝類化石

期 日 平成20年2月16日～17日

鑑定者 筑波大学地球科学系教授

小笠原憲四郎氏

## (ウ) 古文書整理事業

福島県域に現存する古文書は、他地域と比較して近世初期からの地方文書を大量に含むなど、たいへん良質な事で全国の研究者から注目されている。こうした古文書は、近年の

自治体史編纂事業によって、少しずつではあるが人々の目にふれるようになってきた。しかし、保存管理の不備が多々指摘されはじめ、ようやく所在が確認された古文書がその後破損したり、再び所在が確認できなくなったものもある。また、自治体史編纂事業によって整理が進行しているとはいえ、未整理の古文書が古物商・古本屋によって買われ、入札会等に陳列されているのも事実である。

こうした現状は、我々に未整理の古文書の整理と、そのマイクロ撮影による古文書原本の保存が急務であることを知らせている。本事業は、古文書をマイクロ撮影し、原本のかわりに閲覧用に提供し、原本を保存することを目的としている。

平成19年度は、「田中倭文子家寄贈資料」を中心に、諸家寄贈・寄託資料の整理を実施した。マイクロ撮影は、前年度より継続して「堀切家寄託資料」の撮影を行った。

### (3) 職員の研究活動

#### (ア) 研究成果の公表

##### 1. 印刷物（単行本・自治体史・図録・報告書・紀要・学術雑誌）

相田 優・竹谷陽二郎，2007.10，企画展 わくわく！化石大集合 ―よみがえる300万年前のふくしま―。48 p.，福島県立博物館。

阿部綾子，2007. 6，江戸大名家藩史・藩主総覧 会津藩。歴史読本 徳川300藩 藩主系譜全伝，第52巻，第7号，通巻815，p.108-114，新人物往来社。

阿部綾子，2007. 8，史料散歩 将軍の台本。日本歴史学会（編），日本歴史，第711号，p.86-87，吉川弘文館。

阿部綾子，2008. 2，コラム1 北の商人像。浪川健治・佐々木馨（編），北方社会史の視座―歴史・文化・生活―，第2巻，p.64-66，清文堂出版。

小澤義春，2008. 3，地球環境変動史を語る化石―ストロマトライトとグロッソプテリスを例にして―。福島県立博物館紀要，第22号，p.23-30。

川延安直，2007.11，遠藤香村の基礎的研究 画題・画風・款印について。鹿島美術研究（年報第24号別冊）。

川延安直，2008. 3，近世会津の絵画。会津若松市史研究会（編），会津若松市史20-1，会津の絵画と書，p.2-27，会津若松市。

川延安直，2008. 3，初期白虎隊自刃図について。福島県立博物館紀要，第22号，p.55-84。

小林めぐみ，2008. 3，妙国寺所蔵涅槃図繡仏について。福島県立博物館紀要，第22号，p.117-134。

佐々木長生・川野和昭・森 幸彦・東 和幸・名久井文明・赤羽正春・上江洲均・赤坂憲雄，2007. 7，福島県立博物館平成19年度企画展図録 樹と竹 ―列島の文化、北から南から―。120 p.，福島県立博物館・鹿児島県歴史資料センター黎明館。

佐藤洋一，2008. 3，石井研堂著「少年工藝文庫」全二十四冊の細目と特質について（その二）。福島県立博物館紀要，第22号，p.31-54。

鈴木克彦，2008. 3，奥会津・箕の物語 2007。福島県立博物館紀要，第22号，p.85-115。

高橋 充，2007.12，藤原家長の請雨経―中世初期の会津恵日寺。柳原敏昭・飯村均（編），中世会津の風景，p.89-102，高志書院。

高橋 充，2007.12，下荒井村の妙法寺―北会津の中世寺院に関する一考察―。会津若松市史研究，第9号，p.89-106，会津若松市。

高橋 充，2008. 3，史料散歩 蒲生秀行・忠郷時代の会津藩政。日本歴史，第718号，p.88-89，日本歴史学会。

高橋 充，2008. 3，第2章中世，第1節文献資料，第2節 宮下八幡宮の棟札，第3章近世。会津若松市史研究会（編），北会津村史，第2巻，p.85-107，139-357，会津若松市。

高橋 充・阿部綾子 他（分担校閲），2007.12，築田家文書 御用・公用日記，第三巻。歴史春秋社。

松田隆嗣，2007.5，シリーズ12 森林文化，出土品からみた木の文化（5）広葉樹キリ。林業福島，No.514，p.7，社団法人福島県林業協会。

横須賀倫達・小林 啓，2008. 3，羽山1号横穴出土馬具の調査 ―錫装馬具の確認―。福島県立博物館紀要，第22号，p.1-15。

横須賀倫達，2008. 3，考古学から探る古代会津 ―古墳・飛鳥・奈良・平安―ハンドブック。32 p.，福島県立博物館。



## 2. 学会発表

西浦忠輝・松田隆嗣・谷口陽子，2007. 6，  
大理石製磨崖仏（入水三十三観音）の保  
存〔Ⅲ〕－処理15年後の状態と今後の  
方策－. 文化財保存修復学会第29回大  
会研究発表要旨集，p. 34－35，文化財  
保存修復学会.

会委員 猪苗代町

森 幸彦：原町市史編纂専門研究員 南相馬  
市

森 幸彦：鹿島町史編纂委員 南相馬市

横須賀倫達：日本考古学協会埋蔵文化財保護  
対策委員会全国委員 日本考古学協会

### (イ) 他団体による委嘱等

阿部綾子：青森県史編纂委員 青森県

阿部綾子：塩川町史編纂委員 喜多方市

阿部綾子：北会津村史編纂委員 会津若松市

阿部綾子：伊南村史編纂委員 南会津町

榎 陽介：相馬市史編纂委員 相馬市

川延安直：喜多方市美術品収集委員 喜多方  
市

小林めぐみ：伊南村史編纂委員 南会津町

佐々木長生：研究プロジェクト「農業と環境  
破壊」総合地球環境学研究所

佐々木長生：相馬市史執筆委員 相馬市

佐々木長生：人類文化研究のための非文字資  
料の体系化 神奈川大学

佐治 靖：環境と開発に関する調査 平安座  
自治会

佐藤洋一：財団法人神道大系編纂会評議員

高橋 充：塩川町史編纂委員 喜多方市

高橋 充：伊南村史編纂委員 南会津町

高橋 充：二本松城調査指導委員会委員 二  
本松市

高橋 充：向羽黒城整備委員会委員 会津美  
里町

高橋 充：北会津村史編纂委員 会津若松市

高橋 充：原町市史編纂委員 南相馬市

高橋 充：相馬市史編纂委員 相馬市

高橋 充：会津藩主松平家墓所及び松平氏庭  
園指導会議委員 会津若松市

高橋 充：会津藩主松平氏墓所保存修理検討  
委員会委員 猪苗代町

竹谷陽二郎：相馬市史執筆委員 相馬市

藤原妃敏：会津若松市文化財保護審議委員  
会津若松市

藤原妃敏：塩川町史編纂委員 喜多方市

藤原妃敏：原町市史編纂専門研究員 原町市

藤原妃敏：新鶴民俗資料館運営委員 会津美  
里町

藤原妃敏：喜多方市立美術館運営協議会委員  
喜多方市

松田隆嗣：会津藩松平家墓所保存整備指導会  
議委員 会津若松市

松田隆嗣：会津藩主松平家墓所保存修理検討



## 5. 教育普及事業

### (1) 講座・講演会

当館では、館長、学芸員、展示解説員、およ

び外部講師に依頼し、一般県民向けの各種の講座や講演会を実施している。

平成19年度行事一覧

#### 1 木曜の広場

テ ー マ	講 師	講師所属	期 日	参加者
旅人たちの見たふくしま1－風土の旅人たち	赤坂憲雄	館長	4月5日(木)	72
旅人たちの見たふくしま2－芭蕉と『奥の細道』	赤坂憲雄・菅野俊之	館長・県立図書館総括司書	5月17日(木)	95
旅人たちの見たふくしま3－吉田松陰と『東北紀行』	赤坂憲雄・滝沢洋之	館長・会津若松市史研究会副会長	6月7日(木)	115
旅人たちの見たふくしま4－喜多方美術倶楽部と会津を訪れた画家	赤坂憲雄・川延安直	館長・学芸員	7月5日(木)	80
旅人たちの見たふくしま5－民芸運動と会津本郷焼	赤坂憲雄・小林めぐみ	館長・学芸員	8月2日(木)	68
旅人たちの見たふくしま6－高橋由一の描いたふくしま	赤坂憲雄・伊藤 匡	館長・県立美術館学芸課長	9月6日(木)	53
旅人たちの見たふくしま7－十返舎一九と『金草鞋』	赤坂憲雄・阿部綾子	館長・学芸員	10月4日(木)	82
旅人たちの見たふくしま8－古川古松軒と『東遊雑記』	赤坂憲雄・佐々木長生	館長・学芸員	11月1日(木)	70
旅人たちの見たふくしま9－高山彦九郎と『北向日記』	赤坂憲雄・佐々木長生	館長・学芸員	12月6日(木)	53
旅人たちの見たふくしま10－野田泉光院と『日本九峰修行日記』	赤坂憲雄・佐々木長生	館長・学芸員	1月10日(木)	44
旅人たちの見たふくしま11－イザベラ・バードと『日本奥地紀行』	赤坂憲雄・佐々木長生	館長・学芸員	2月7日(木)	132
旅人たちの見たふくしま12－柳田国男と「勢至堂峠」	赤坂憲雄・佐々木長生	館長・学芸員	3月6日(木)	175

#### 2. 考古学講座

テ ー マ	講 師	講師所属	期 日	参加者
高校生のための考古学基礎講座①	森 幸彦・横須賀倫達・大竹正浩・藤原妃敏	学芸員	5月23日(水)	4
高校生のための考古学基礎講座②	森 幸彦・横須賀倫達・大竹正浩・藤原妃敏	学芸員	6月13日(水)	8
高校生のための考古学基礎講座③	森 幸彦・横須賀倫達・大竹正浩・藤原妃敏	学芸員	6月27日(水)	4
高校生のための考古学基礎講座④	森 幸彦・横須賀倫達・大竹正浩・藤原妃敏	学芸員	7月11日(水)	1
高校生のための考古学基礎講座⑤	森 幸彦・横須賀倫達・大竹正浩・藤原妃敏	学芸員	7月25日(水)	5
高校生のための考古学基礎講座⑥	森 幸彦・横須賀倫達・大竹正浩・藤原妃敏	学芸員	8月8日(水)	0
高校生のための考古学基礎講座⑦	森 幸彦・横須賀倫達・大竹正浩・藤原妃敏	学芸員	8月22日(水)	1
高校生のための考古学基礎講座⑧	森 幸彦・横須賀倫達・大竹正浩・藤原妃敏	学芸員	9月12日(水)	0

テ	マ	講	師	講師所属	期	日	参加者
高校生のための考古学基礎講座⑨		森 幸彦・横須賀倫達・大竹正浩・藤原妃敏		学芸員	9月26日(水)		1
高校生のための考古学基礎講座⑩		森 幸彦・横須賀倫達・大竹正浩・藤原妃敏		学芸員	10月10日(水)		1
高校生のための考古学基礎講座⑪		森 幸彦・横須賀倫達・大竹正浩・藤原妃敏		学芸員	10月24日(水)		1
縄文土器をつくろう①		森 幸彦・大竹正浩		学芸員	8月18日(土)		26
縄文土器をつくろう②		森 幸彦・大竹正浩		学芸員	8月19日(日)		26
縄文土器の野焼き		森 幸彦・大竹正浩		学芸員	9月30日(日)		30
会津古墳巡り(友の会研修旅行)		横須賀倫達・大竹正浩		学芸員	10月8日(月)		37
勾玉・ガラス玉でアクセサリをつくろう		藤原妃敏・横須賀倫達		学芸員	11月11日(日)		25

### 3. 民俗講座

テ	マ	講	師	講師所属	期	日	参加者
記録映像を見る1 新作「奥会津の元山と番匠」		鈴木克彦		学芸員	5月20日(日)		32
民俗映像を見る2 「只見の手仕事ーカンゼンブシとフカグツゲンベエ」		榎 陽介		学芸員	5月27日(日)		10
民俗映像を見る3 「只見の漁と鮎」「わら人形を作るー柳津町胃中地区の百万遍」		榎 陽介		学芸員	6月3日(日)		10

### 4. 歴史講座

テ	マ	講	師	講師所属	期	日	参加者
はじめての古文書講座1		阿部綾子		学芸員	5月12日(土)		30
はじめての古文書講座2		阿部綾子		学芸員	6月9日(土)		23
はじめての古文書講座3		阿部綾子		学芸員	7月14日(土)		28
はじめての古文書講座4		阿部綾子		学芸員	8月11日(土)		26
シリーズ磐梯山1		木田 浩		学芸員	9月8日(土)		84
シリーズ磐梯山2		高橋 充		学芸員	10月6日(土)		45
シリーズ磐梯山3		星 幸		学芸員	11月10日(土)		65
シリーズ磐梯山4		佐藤洋一		学芸員	12月8日(土)		54
展示室講座1「会津暦展の見どころ」		佐藤洋一		学芸員	1月12日(土)		44
展示室講座2「南会津の地図・絵図展の見どころ」		高橋 充		学芸員	2月9日(土)		66
展示室講座3「常設展の見どころ」		木田 浩・星 幸		学芸員	3月8日(土)		25

### 5. 美術講座

テ	マ	講	師	講師所属	期	日	参加者
展示室講座1「能装束の美」		川延安直・小林めぐみ		学芸員	4月14日(土)		20
展示室講座2「仏と神の造形」		川延安直・小林めぐみ		学芸員	6月2日(土)		25
展示室講座3「喜多方美術倶楽部の画家たち」		川延安直・小林めぐみ		学芸員	7月28日(土)		13
展示室講座4「焼き物はここを見る」		川延安直・小林めぐみ		学芸員	9月1日(土)		24
展示室講座5「魅力発見ーけんぱくの宝」		川延安直・小林めぐみ		学芸員	10月27日(土)		20
漆の技に挑戦ー木と漆のアクセサリーⅠ		須藤紀雄		会津工芸新生会	7月1日(日)		9
漆の技に挑戦ー木と漆のアクセサリーⅡ		須藤紀雄		会津工芸新生会	7月8日(日)		9
漆の技に挑戦ー南蛮漆器の飾り皿Ⅰ		井波 純		会津短期大学准教授	11月25日(日)		12
漆の技に挑戦ー南蛮漆器の飾り皿Ⅱ		井波 純		会津短期大学准教授	12月1日(土)		12

## 6. 自然史講座

テ	ー	マ	講 師	講師所属	期 日	参加者
化石をさがそう			相田 優	学芸員	10月13日(土)	53
化石標本をつくろう			竹谷陽二郎	学芸員	10月14日(日)	32
鶴ヶ城の野鳥			古川裕司	野鳥研究家	11月18日(日)	8

## 7. 保存科学講座

テ	ー	マ	講 師	講師所属	期 日	参加者
バックヤードから見る博物館－収蔵資料の展示・保管の現状を見る－			松田隆嗣	学芸員	12月22日(土)	15

## 8. 指導者向け研修講座

テ	ー	マ	講 師	講師所属	期 日	参加者
福島県立博物館研修講座			小澤義春ほか	学芸員	8月3日(金)	7

## 9. まほろん移動展展示解説会・展示解説日

テ	ー	マ	講 師	講師所属	期 日	参加者
新編陸奥国風土記卷之五 会津郡・耶麻郡その一			森 幸彦	学芸員	4月28日(土)	30
新編陸奥国風土記卷之五 会津郡・耶麻郡その一			森 幸彦	学芸員	5月13日(日)	12

## 10. 体験講座

テ	ー	マ	講 師	講師所属	期 日	参加者
おもちゃをつくろう①「はじき猿をつくろう」			赤羽 愛ほか	展示解説員	9月23日(日)	21
おもちゃをつくろう②「牛乳パックで紙すきをしよう」			渡邊麻衣子ほか	展示解説員	12月23日(日)	27
おもちゃをつくろう③「たいこトントンをつくろう」			遠藤智子ほか	展示解説員	3月9日(日)	24

## 11. 実技講座

テ	ー	マ	講 師	講師所属	期 日	参加者
草木染め1			山根正平・山根好子	染織工芸家	8月25日(土)	8
草木染め2			山根正平・山根好子	染織工芸家	8月26日(日)	8
からむしの糸づくり			日置睦・平田尚子	伝統技術保持者	11月4日(日)	30
わらざうりをつくろう①			鈴木幸雄	伝統技術保持者	12月2日(土)	中止
わらざうりをつくろう②			鈴木幸雄	伝統技術保持者	2月10日(日)	中止
唐人凧づくり			鈴木英夫	伝統技術保持者	12月9日(日)	13

## 12. 実 演

テ	ー	マ	講 師	講師所属	期 日	参加者
昔語り			横山幸子	語り部	4月8日(日)	12
昔語り			横山幸子	語り部	7月29日(日)	8
昔語り			山田登志美	語り部	5月6日(日)	20
昔語り			山田登志美	語り部	1月14日(日)	31
機織り①			山根正平	染織工芸家	4月15日(日)	37
機織り②			山根正平	染織工芸家	6月17日(日)	10
須賀川の絵のぼり製作・小旗作り			大野青峰・大野久子	伝統技術保持者	5月5日(土)	90
注連縄づくり			鈴木幸雄	伝統技術保持者	12月16日(日)	20

### 13. 企画展記念講演会・シンポジウム・公演

テ　　マ	講　　師	講師所属	期　　日	参加者
「樹と竹―列島の文化、北から南から」	名久井文明・川野和昭・赤坂憲雄・佐々木長生	物質文化研究所 一芦舎代表・鹿 児島県歴史資料 センター黎明館 学芸課長・館長・ 学芸員	7月22日(日)	65
「もう二つの日本文化」	藤本　強	文化財センター 白河館館長	7月29日(日)	45
日本民具学会講演会・シンポジウム⇒第3土曜イベント・館長土曜講座を兼ねる	赤坂憲雄	館長	9月15日(土)	123
製作実演「皮箕・荷縄・籠づくり」	山内善次・東原　亨・ 二瓶新永	伝統技術保持者	9月16日(日)	160
「ふくしまにもいた！アシカ・オットセイー浜通りの化石に見る鮮新世の哺乳類」	甲能直樹	国立科学博物館 研究主幹	11月3日(日)	26

### 14. 企画展関連講座

テ　　マ	講　　師	講師所属	期　　日	参加者
会津地方の樹皮文化	佐々木長生	学芸員	8月4日(土)	25

### 15. 企画展展示解説会・展示解説日

テ　　マ	講　　師	講師所属	期　　日	参加者
「樹と竹―列島の文化、北から南から」	佐々木長生	学芸員	7月29日(日)	15
「樹と竹―列島の文化、北から南から」	佐々木長生	学芸員	8月4日(土)	13
「樹と竹―列島の文化、北から南から」	佐々木長生	学芸員	8月12日(日)	5
「樹と竹―列島の文化、北から南から」	佐々木長生	学芸員	9月9日(日)	15
「わくわく！化石大集合―よみがえる300万年前のふくしま―」	竹谷陽二郎	学芸員	10月7日(日)	14
「わくわく！化石大集合―よみがえる300万年前のふくしま―」	竹谷陽二郎	学芸員	10月21日(日)	18
「わくわく！化石大集合―よみがえる300万年前のふくしま―」	相田　優	学芸員	11月3日(日)	23
「わくわく！化石大集合―よみがえる300万年前のふくしま―」	相田　優	学芸員	11月25日(日)	25

### 16. 第3土曜イベント

テ　　マ	講　　師	講師所属	期　　日	参加者
①桜能	会津能楽会の皆さん	会津能楽会	4月21日(土)	280
②館長土曜講座・東北学1	赤坂憲雄	館長	5月19日(土)	71
③詩人が歩く、むかしと歩く@県博　詩人和合亮一けんぱくで語る	和合亮一	福島西高校教諭	6月16日(土)	60
④館長土曜講座・東北学2	赤坂憲雄	館長	7月21日(土)	65
⑤納涼野外映画会「ゴジラ」			8月18日(土)	169
⑥館長土曜講座「民具から見た列島の文化」(仮称)⇒日本民具学会講演を兼ねる	赤坂憲雄	館長	9月15日(土)	123
⑦友の会文化祭	友の会の皆さん	友の会	10月20日(土)	500
⑧語りと調べ	横山幸子・黒沢淳子	語り部・篠笛演奏家	11月17日(土)	150
⑨クリスマスコンサート　チェンパロの調べ	尾形純子	チェンパロ奏者	12月15日(土)	451



テ ー マ	講 師	講師所属	期 日	参加者
⑩館長土曜講座・東北学3「会津磐梯山を考える」	赤坂憲雄・佐藤 公・ 小松山六郎・白岩賢 一郎	館長・磐梯山噴 火記念館副館長・ 野口英世記念館 学芸課長・磐梯 山慧日寺資料館 学芸員	1月19日(土)	215
⑪けんぱく雛祭り	平出美穂子・福島県 雅楽会の皆さんほか	食文化研究家・ 福島県雅楽会	2月16日(土)	180
⑫館長と語る昔話	赤坂憲雄・横山幸子	館長・語り部	3月15日(土)	85

※①⑤⑧⑨は四季イベント

### 17. はくぶつかんで遊ぼう!

テ ー マ	講 師	講師所属	期 日	参加者
こいのぼりをつくろう	松葉容子ほか	展示解説員	4月29日(日)	127
七夕かざりをつくろう	遠藤智子ほか	展示解説員	7月7日(土)	123
かざぐるまをつくろう	山田久美子ほか	展示解説員	8月12日(日)	151
おもしろかわり絵をつくろう	五十嵐早苗ほか	展示解説員	10月13日(土)	115
クリスマスツリーかざりをつくろう	渡邊芙美ほか	展示解説員	12月1日(土)	104
ひな人形をつくろう	角田祥子ほか	展示解説員	2月23日(土)	97

### 18. その他の共催事業

テ ー マ	講 師	講師所属	期 日	参加者
会津史学会講演会「松平家廟が語るもの」	近藤真佐夫	会津若松市教育委 員会文化課副主幹	10月27日(土)	133
放送大学福島学習センター公開講演会「磐梯山・ 猪苗代湖の生い立ちを探る」	中馬教充	放送大学客員教授 (福島大学名誉教授)	12月2日(日)	163
会津史談会講演会「葦名氏について」	高橋 充	学芸員	12月13日(木)	90
NPO 法人はるなか桜守養成講座	小山 徹	花と緑の研究所研究員	12月20日(木)	12
NPO 法人はるなか講演会「会津の桜について」	渡部鉦太郎	会津生物同好会会員	1月26日(土)	71
NPO 法人はるなか講演会「漆33年の軌跡」	並木恒延	漆芸家	1月27日(日)	93
NPO 法人はるなか講演会「山紫水明のふるさとづくり」	折笠常弘	会津生物同好会会長	3月16日(日)	187
第2回ふくしま絵本大賞原画展関連行事・読み 聞かせの会	ふくしま絵本と子ども の会・よみきかせ グループおはなしの へやの皆さん	ふくしま絵本と子 どもの会・よみき かせグループおは なしのへや	5月27日(日)	30
			6月3日(日)	28
			6月10日(日)	30
			6月17日(日)	37
			6月24日(日)	32
特別展示「おかえりなさい! ミス福島」記念講演会 「80年前の国際交流ー人形交流は人間交流」	高岡美知子	答礼人形研究家・元 武庫川女子大学教授	3月1日(土)	63

※展示会解説員による「やさしい展示解説会」を90回実施。



木曜の広場「民芸運動と会津本郷」



高校生のための考古学基礎講座②



考古学講座「縄文土器をつくろう」



民俗講座 記録映像を見る 新作「奥会津の元山と番匠」  
にもとづいた製作体験



歴史講座「はじめての古文書講座」



美術講座 展示室講座「喜多方美術倶楽部の画家たち」



自然史講座「化石をさがそう（埴町）」



自然史講座「化石標本をつくろう」



体験講座 おもちゃをつくろう「牛乳パックで紙すきをしよう」



実技講座「からむしの糸づくり」



実演「注連縄づくり」



はくぶつかんで遊ぼう！「七夕かざりをつくろう」

## (2) 第3土曜イベント

地域に開かれた親しみやすい博物館を目指すため、「第3土曜イベント」と称し、エントランスホールを中心に、毎月第3土曜日にイベントを開催した。その中で、特に春夏秋冬に規模の大きい「四季のイベント」を開催した。

### ★四季のイベント

#### 春「桜能」

1. 日時 平成19年4月21日(土)午後2時30分～6時
2. 会場 エントランスホール
3. 参加者数 280名
4. 出演 会津能楽会
5. 内容

《桜能》と題して会津能楽会による演能を行った。会津能楽会は、明治11年に能装束・能面の保存、新規購入、演能技術の研鑽・向上を目指して組織された「和楽講」がもとになり、近代以降の会津の能楽の基礎を築いた能楽の愛好会。春、秋の演能会をはじめ会津

秋祭り協賛行事の薪能は広く親しまれている。江戸時代、会津若松城内では能が行われていた。かつての城内三の丸に立地する当館エントランスホールに能舞台を仮設しての、会津能楽会による演能は会津の伝統文化をあらためて認識する機会となった。

午後6時までの長時間のイベントであったが、メインの能・胡蝶は、梅の花に戯れる蝶の精霊が舞う、春にふさわしい曲で、優雅な舞台は最後まで多くの観覧者を魅了した。

なお、舞台設営など多くの作業に会津能楽会の会員がボランティアとして協力していただいたことを付記しておく。

公演内容は第1部（午後2時30分～4時）が、素謡・鶴亀、舞囃子・安宅、連管・神舞、舞囃子・玉鬘、仕舞・西行桜、舞囃子・西王母、第2部（午後4時30分～6時）は、連調・羽衣、能・胡蝶

また、同時に開催した歴史・美術テーマ展示「能をとりまく美術」では、会津能楽会御所蔵の能装束・能面を中心に能に用いられる



諸道具の一部を展示した。

#### 6. 成果と課題

- ①地域の文化団体との協力で会津の能という伝統文化を広く紹介することができた。だが、十分な予算もなく多くを会津能楽会の負担に頼ることになった。
- ②当初、音響などの点から危惧されたエントランスホールの魅力を発見できた。
- ③会津能楽会との以降の協力体制を作ることができた。



桜能



野外映画会準備風景

#### 夏 「納涼野外映画会 ゴジラ」

1. 日時 平成19年8月18日(土)午後6時～8時30分
2. 会場 博物館エントランス前広場
3. 参加者数 169名
4. 内容  
上映に先立ち「映画音楽の夕べ」と題して、地元の吹奏楽団「ファンファーラあいづ」の皆さんによる映画音楽の演奏を行った。日没後、午後7時ころから映画「ゴジラ」の上映を開始した。  
映画「ゴジラ」(第1作 モノクロ 97分)は、1954年に空想科学映画として公開され、県内の映画館でも上映された。映画の特殊技術を、須賀川市出身の円谷英二氏が担当したことでも知られている。中庭に設置した大きなスクリーンに映ったゴジラの姿は、とても迫力があつた。
5. 成果と課題
  - ①天候など諸条件に恵まれたこともあるが、野外での映画上映が技術的に可能であることがわかつた。野外スクリーンへの映像の映り方や音響などは、予想以上に快適なものであつた。
  - ②はじめての試みであつたため、準備に手間取ることが多く、また広報も不十分だつた。

#### 秋 「語りと調べ」

1. 日時 平成19年11月17日(土)午後1時30分～3時
2. 会場 エントランスホール
3. 参加者数 150名
4. 出演 横山幸子氏(語り部)、黒沢淳子氏(篠笛奏者)
5. 内容

伊達市在住の横山幸子さんによる昔語りと福島市在住の篠笛奏者黒沢純子さんのコラボレーション。横山さんが「安達ヶ原」と「羽衣伝説」を語り、場面に呼応しながら黒沢さんが篠笛演奏で情景をつくり上げる。いわき地域に伝わる「羽衣伝説」は平成20年1月に日仏交流150周年記念イベントフランス公演において横山さんが予定していた演目で、一足早いお披露目となった。合い間には黒沢さんの独奏もあり、深まる秋のひと時、篠笛の世界に浸ることができた。

#### 6. 成果と課題

- ①横山幸子さんには、毎年2～3回「昔語り」実演をお願いしているが、今回は横山さんの語りの世界における新しい試みを博物館で紹介する機会となった。会津の「昔語り」関係者も多数来場し、大きな刺激を受けたと思われる。
- ②会場はほぼ満席状態であつた。来場者の反応も「とてもおもしろかつた」「昔語りの情景が篠笛によって深みを増すのを感じた」などの声が寄せられた。
- ③常設展有料入場者数は昨年比1.1でさほどの伸びはなかつた。今後はイベント後に常設展へ誘導する仕掛けが必要である。





「語りと調べ」(左：黒沢淳子さん、右：横山幸子さん)



「クリスマスコンサート」

### 冬 「クリスマスコンサート」

1. 日時 平成19年12月15日(土)午後2時～4時10分
2. 会場 エントランスホール
3. 参加者数 451名
4. 出演 尾形純子氏 (チェンバロ奏者)
5. 内容

桃山時代から江戸時代初期にかけて、日本で描かれた初期洋風画の代表作が、かつて若松城にあった「泰西王侯騎馬図」である。同じ頃、ヨーロッパで愛好されていた楽器チェンバロも日本にやってきた。当日は、この「泰西王侯騎馬図」(複製)をバックに、福島市在住のチェンバロ演奏家の尾形純子さんに、ヨーロッパ中世の音楽を中心に演奏してもらった。第1部はヨーロッパ中世のルネサンス音楽、第2部は季節にちなんだクリスマスキャロル、第3部はチェンバロが活躍したヨーロッパ・バロック音楽という構成であった。

#### 6. 成果と課題

- ①チェンバロという楽器を生で聴く機会はめったにないこともあり、当日はこれまでのミュージアムイベントで最多の450名を超える聴衆が集まった。
- ②チェンバロ自身の音はもともと小さいが、エントランスホールではよく響き、音に広がりがあった。チェンバロという楽器の音色や性格はよく理解されたと思う。
- ③予想をはるかに超える聴衆が集まったため、混雑し、イベント以外の入館者の通路を確保するのがむずかしかった。
- ④中世という時代背景、日本とヨーロッパのつながりについて、聴衆に興味をもってもらえたかは疑問。

### (3) 体験学習室

エントランスホールの脇に配置された無料空間。昔のおもちゃで遊んだり、昔の着物を着たりできる体験コーナー。また、資料を実際に手にとって触ったりできるハンズオンコーナーもある。ここには、展示解説員が常駐し来館者に対応している。



体験学習室

#### 1. 衣装着付け

衣装着付け件数 1,976件

着付け衣装 春：当世具足・番具足・打掛・半袴 夏：水干・直垂・白拍子・山伏  
秋：町人旅姿・武士旅姿・へん綴・壺 冬：古墳男子・推古朝・小袖・天武朝女子

着付けた衣装などの写真を撮影、体験学習室内に掲示。希望者に配布した。

#### 2. 衣装展示

春：大鎧 夏：十二単 秋：大工  
冬：小直衣

#### 3. ハンズオンコーナー

- ①6月～10月 平安時代の土器にさわってみよう

「土器にさわってみよう」展示資料

種類	名称	時代	原資料出土遺跡
土 師 器	杯 (つき)	9 世紀	会津若松市上吉田遺跡
土 師 器	耳杯 (じはい)	9 世紀	白河市板倉前遺跡
土 師 器	甌 (こしき)	9 世紀	伊達市僧ヶ入遺跡
土 師 器	甕 (かめ)	9 世紀	会津美里町下堀際遺跡
須 恵 器	杯 (つき)	9 世紀	会津若松市大戸窯跡
須 恵 器	蓋付杯 (ふたつきつき)	9 世紀	会津若松市大戸窯跡
須 恵 器	碗 (すずり)	9 世紀	会津若松市大戸窯跡
須 恵 器	瓶 (へい)	9 世紀	会津若松市大戸窯跡
縄文土器	深鉢 (ふかばち)	3000年前	新地町三貫地貝塚
縄文土器	浅鉢 (あさばち)	3000年前	新地町三貫地貝塚
縄文土器	台付鉢 (だいつきはち)	3000年前	新地町三貫地貝塚



土器にさわってみよう

②10月～3月 茶碗にさわってみよう

「茶碗にさわってみよう」展示資料

No.	資料名
1	灰釉茶碗
2	緑釉茶碗
3	駒絵茶碗
4	黒茶茶碗
5	天目茶碗
6	天目台



茶碗にさわってみよう

4. 季節行事に関する手作り資料の展示 (展示解説員が製作)

7月 七夕飾り 12月 クリスマスツリー  
1月 団子さし 3月 手作りひな人形

(4) 学校・文化施設との連携

学校および文化施設との連携をはかり、次の事業を実施している。

(ア) 展示室での自主学習

1. 博物館見学のしおり (小・中学生用)

クイズ形式のワークシート。常設展示を見学して書き込みながら学べるように構成されている。展示資料をよく観察することによって様々な考え方・まとめ方ができる内容。小・中学生の個人および団体来館者に無償配布している。



博物館見学のしおり (団体用)

2. ワークシート

ホームページからダウンロードでき、利用する団体が学習目的にあわせて使用できる。常設展示室のテーマ別に主な展示品を題材にしている。

(イ) 体験学習メニュー

来館した児童生徒が博物館資料を用いた直接体験をすることは、多様なものの見方、考え方を育てることに有効であることから、「古

代の技に挑戦（考古）」「化石にふれてみよう（自然）」「糸紡ぎ（民俗）」「度量衡の統一と農民の暮らし（歴史）」という体験メニューを用意している。

実施状況（分野・回数）

4月（考古・1回） 5月（考古・3回）  
6月（考古・2回、歴史・1回、自然・2回、美術・1回） 7月（考古・1回） 9月（歴史・1回、民俗・1回、自然・1回） 10月（自然・1回） 11月（民俗・1回） 1月（考古・1回） 2月（自然・1回） 合計 18回

(ウ) 指導者向け研修（博物館研修講座）

小・中学校教員並びに公民館等学校教育・生涯教育関係者を対象に、博物館の利用方法周知と、学校や公民館等が授業や講座を実施する際の博物館の有効利用を促進することから研修講座を実施した。博物館が行っている体験メニューや団体入館時の体験学習の事例等を紹介した。

平成19年8月3日(金)午前9時30分～午後4時  
参加者7名（全て教員）

(エ) 体験用具の貸出

学校や生涯教育関連施設が行う体験的活動



化石にふれてみよう



糸紡ぎ

を支援するため、歴史・考古・自然の各分野で体験用具の貸出を行っている。

用具貸出状況

11月8日 化石・岩石採集用ハンマー・タガネ 郡山市立薫小学校

(オ) ゲスト・ティーチャー

博物館学芸員の専門知識や経験を館外でも有効に利用してもらうため、学校や公民館等の要請に応じて現地へ赴き、体験学習を中心とした授業を実施した。

ゲスト・ティーチャー実施一覧

月 日	講 師	内 容	実 施 先
6月3日	小澤義春	おもしろ実験「大気力」	喜多方市立第一小学校
5月9日	森 幸彦	縄文時代から古墳時代に至る会津の歴史	会津若松市立謹教小学校
7月25日	小澤義春	地球にだけ空気があるのはなぜ？ ー地球と生命進化の歴史ー	竹田看護専門学校
9月8日	森 幸彦・横須賀倫達	柳津縄文探検	会津若松市立謹教小学校
10月10日	竹谷陽二郎・小澤義春	化石採集・クリーニング パレオパラドキシアについて	伊達市立栗野小学校
10月17日	相田 優	東山の化石について	会津慈光幼稚園
10月18日	相田 優	東山の化石について	会津慈光第二幼稚園
12月20日	竹谷陽二郎	大地の変化	猪苗代町立東中学校



ゲスト・ティーチャー（栗野小学校・広瀬川にて）

(カ) 職場体験

生徒の適切な進路選択に寄与すべく、学校からの要請を受け入れ、実際に博物館業務を体験してもらった。

- ①喜多方市立山都中学校（2名）1日間
- ②会津若松市立河東中学校（5名）1日間
- ③会津若松市立第二中学校（5名）1日間
- ④会津若松市立第六中学校（3名）1日間
- ⑤会津美里町立高田第一中学校（5名）2日間





職場体験

出身の大学生を受け入れている。  
 実習期間 8月28日(火)～9月2日(日)  
 人数 12名

実習生所属大学

No.	大 学 名	人 数
1	大東文化	1
2	和光	1
3	高崎経済	1
4	新潟	2
5	米沢女子短期	1
6	東北芸術工科	1
7	日本 (通信教育)	2
8	大正	1
9	立教大学院	1
10	聖心女子	1
	合 計	12

(キ) 博物館実習

大学における学芸員資格取得のための「博物館実習」を実施。県内の大学生および県内

博物館実習プログラム

月 日(曜)	時 間	内 容	担 当	場 所
8月 28日 (火)	8:50～9:00 9:00～9:10 9:10～9:40 9:50～10:50 11:00～12:00 —昼食— 12:50～15:20 15:30～16:50 17:00～17:45	出席確認・諸連絡 実習生紹介 オリエンテーション 博物館の概要 博物館の設備 (館内見学)	資料整理班 (大竹) 資料整理班 (大竹) 資料整理班 (大竹) 学芸課長 (藤原) 資料整理班 (大竹)	第2会議室 事務室 第2会議室 第2会議室 館内
	12:50～15:20 15:30～16:50 17:00～17:45	常設展・企画展観覧 (自由観覧) 展示を観覧して (感想・質問等) 実習日誌の作成・提出	資料整理班 (大竹) 資料整理班 (大竹・阿部) 資料整理班 (大竹)	展示室 第2会議室 第2会議室
29日 (水)	9:05～ 9:10～10:00 10:10～11:00 11:10～12:00 —昼食— 12:50～16:50 17:00～17:45	出席確認・諸連絡 博物館の資料と調査研究 資料保存の科学 美術資料について	資料整理班 (大竹) 資料整理班 (相田) 保存科学分野 (松田) 美術分野 (川延・小林・笹川)	第2会議室 第2会議室 第2会議室 第2会議室
	12:50～16:50 17:00～17:45	美術資料の取り扱い 実習日誌の作成・提出	美術分野 (川延・小林・笹川) 資料整理班 (大竹)	第2会議室 第2会議室
30日 (木)	9:05～ 9:10～10:00 10:10～11:00 11:10～12:00 —昼食— 12:50～16:50 17:00～17:45	出席確認・諸連絡 博物館の企画・運営 博物館の広報普及活動 自然資料について	資料整理班 (大竹) 企画運営班 (竹谷) 広報班 (佐藤洋) 自然分野 (竹谷・相田・小澤)	第2会議室 第2会議室 第2会議室 第2収蔵庫
	12:50～16:50 17:00～17:45	自然資料の取り扱い 実習日誌の作成・提出	自然分野 (竹谷・相田・小澤) 資料整理班 (大竹)	第2収蔵庫 第2会議室
31日 (金)	9:05～ 9:10～10:00 10:10～11:00 11:10～12:00 —昼食— 12:50～16:50 17:00～17:45	出席確認・諸連絡 博物館の学習支援活動 図書資料の整理・登録・管理 民俗資料について	資料整理班 (大竹) 学習支援班 (佐々木) 資料整理班 (小林・相田・大竹) 民俗分野 (佐々木・榎・鈴木)	第2会議室 第2会議室 第2会議室 第1収蔵庫
	12:50～16:50 17:00～17:45	民俗資料の取り扱い 実習日誌の作成・提出	民俗分野 (佐々木・榎・鈴木) 資料整理班 (大竹)	第1収蔵庫 第2会議室
9月 1日 (土)	9:05～ 9:10～10:00 10:10～11:00 11:10～12:00 —昼食— 12:50～16:50 17:00～17:45	出席確認・諸連絡 博物館の展示 図書資料の整理・登録・管理 歴史資料について	資料整理班 (大竹) 展示班 (榎) 資料整理班 (小林・相田・大竹) 歴史分野 (阿部・森田)	第2会議室 第2会議室 図書室 第2会議室
	12:50～16:50 17:00～17:45	歴史資料の取り扱い 実習日誌の作成・提出	歴史分野 (阿部・森田) 資料整理班 (大竹)	第2会議室 第2会議室
2日 (日)	9:05～ 9:10～12:00 —昼食— 12:50～14:50 15:00～16:50 17:00～17:45	出席確認・諸連絡 考古資料とその取り扱いについて	資料整理班 (大竹) 考古分野 (藤原・大竹)	第2会議室 第2会議室
	12:50～14:50 15:00～16:50 17:00～17:45	考古班の体験学習について 実習を終えて (質疑・意見交換) 実習のまとめ・反省作成、実習日誌等の作成・確認・提出	考古分野 (森・大竹) 資料整理班 (川延・大竹) 資料整理班 (大竹)	考古作業室 第1会議室 第2会議室



(5) 生涯学習・研究支援

(ア) 相談コーナー

エントランスホール内に配置された無料空間。展示図録・報告書・紀要など博物館の刊行物の他、博物館資料に関連した一般図書や図鑑・辞書など2,085冊を配架。入館者が自由に閲覧できる。平成19年度は113冊増加した。また、入館者の展示や資料に関する質問や相談の求めに応じて、入館者と学芸員が面談する場でもある。



相談コーナー

(イ) 資料の特別観覧

個人や研究機関による研究活動を支援するため、博物館資料の閲覧や撮影を許可し実施している。

分野別特別観覧件数：

歴史：23件 美術：4件 自然：1件  
合計：28件

(ウ) 講師派遣

公民館や研究団体など他団体から依頼された講座・講演に対して、学芸員を講師として派遣した。

講師派遣状況

月 日	講 師	演 題	主 催
6月19日	佐々木長生・ 木田 浩	会津の彼岸獅子	会津若松市高齢福祉課「ゆめ寺子屋」
7月7日	榎 陽介	会津の子育ての信仰 ーオンバサマとその周辺ー	会津磐青の会
8月7日	佐々木長生	会津の峠	会津若松市高齢福祉課「あいづわくわく学園」
10月19日	竹谷陽二郎	飯豊山の自然ー地質ー	飯豊の山の案内人養成塾
10月25日	森 幸彦	縄文土器の話	柳津町高齢者学級「福寿学園」
11月8日	高橋 充	大名行列について	白河市中心公民館「白河文化財教室」
11月15日	相田 優	わくわく化石大集合	会津アカデミー
11月22日	森 幸彦	縄文人の愛と死	白河市中心公民館「白河文化財教室」
11月25日	榎 陽介	糸紡ぎ	ラボ教育センター
2月21日	佐々木長生	イザベラ・バードが歩いた道	会津若松市高齢福祉課「ゆめ寺子屋」
3月13日	木田 浩	磐梯山信仰	会津若松西ロータリークラブ

## 6. 広報公聴活動および出版事業

### (1) 広報活動

#### (ア) 広報用印刷物

博物館の広報を目的とする印刷物として次のものを発行している。

広報用印刷物の印刷部数と送付先

種類	サイズ	印刷数	主な送付先
ポスター	B2	企画展 3,000枚×2回 移動展 600枚 まほろん移動展 600枚 計 7,200枚	県内小・中・高校 県内博物館・美術館・図書館・公民館・文化施設・教育施設 県外主要博物館 東北・関東地方の県立図書館・大学図書館 会津地域の銀行・病院・JA・道の駅・旅館・ホテル・保養施設・その他店頭 博物館友の会会員(町貼り協力者) 県内市町村教育委員会 会津方部県出先機関 県教育事務所
リーフレット	A4	企画展 35,000枚×2回 計 70,000枚	県内および近県の新聞社・放送局 県内タウン情報誌 県内公立小・中・高校 県内博物館・美術館・図書館・公民館・文化施設・教育施設 県外主要博物館 東北・関東地方の県立図書館・大学図書館 会津地域の銀行・病院・JA・道の駅・旅館・ホテル・保養施設・その他店頭 南東北・関東・新潟旅行代理店 博物館友の会会員(町貼り協力者) 県内市町村教育委員会 会津方部県出先機関 県教育事務所
博物館だより (博物館の広報誌)	A4 8頁	3,500冊×4回=14,000冊	県内タウン情報誌 県内公立小・中・高校 県内私立小・中・高校 県内博物館・美術館・図書館・公民館・文化施設・教育施設 県外主要博物館 東北・関東地方の国立・県立図書館・大学図書館 県内市町村教育委員会 会津方部県出先機関 県教育事務所
年間催し物案内	20×39.3cm 四つ折	45000枚×1回=45,000枚	県内の放送局 県内タウン情報誌 県内公立小・中・高校 県内私立小・中・高校 県内博物館・美術館・図書館・公民館・文化施設・教育施設 県外主要博物館 東北・関東地方の県立図書館・大学図書館 会津地域の銀行・病院・JA・道の駅・旅館・ホテル・保養施設・その他店頭 南東北・関東・新潟旅行代理店 県内市町村教育委員会 会津方部県出先機関 県教育事務所
はくぶつかんニュース	A4両面 (館内印刷)	16,000枚×12回=192,000枚	県内公立小・中・高校 県内私立小・中学校 県内図書館・公民館・教育施設 県内市町村教育委員会 県教育事務所
月行事予定表	A4 (館内印刷)	1,200枚×12回=14,400枚	県内および新潟県の新聞社・放送局 県内タウン情報誌 会津若松市記者クラブ 会津若松市・周辺市町村の観光・広報係 県内主要文化施設
投げ込み(企画展の記者発表などマスコミ向けイベント情報の提供)	A4 (館内印刷)	随時	県内新聞社・放送局・タウン情報誌 場合により近県のマスコミに提供 県政記者クラブ 会津若松市記者クラブ

#### (イ) 広告

特に企画展等の広報を目的とする広告を次頁下のとおり実施した。

#### (ウ) 取材

マスコミによる取材は展示会に関するものを中心に掲載した。

##### 1. 夏の企画展「樹と竹」

###### ①報道向け説明会

7月20日 福島民報社、福島民友新聞社、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、タウン情報誌 VOICE

###### ②展示内容

8月14日 福島放送

8月24日 NHK 福島放送局

##### 2. 秋の企画展「わくわく！化石大集合」

###### ①報道向け説明会

10月5日 福島民報社、福島民友新聞社

###### ②展示内容

10月12日 タウン情報誌会津嶺

10月16日 ふくしま FM

10月17日 NHK 福島放送局、  
テレビユー福島

10月 毎日新聞社

11月6日 福島民友新聞社



博物館だより第87号

3. 第2回ふくしま絵本大賞原画展

①報道向け説明会

5月25日 福島民報社、福島民友新聞社

②展示内容

6月5日 NHK、

6月7日 福島放送

6月13日 福島テレビ

4. 南会津の地図・絵図展

①報道向け説明会

1月18日 福島民報社、福島民友新聞社、  
読売新聞社、NHK

②展示内容

1月17日 NHK

5. おかえりなさい！ミス福島

①展示作業公開

2月15日 朝日新聞社、福島民報社、NHK、  
福島放送

②オープニングセレモニー

2月16日 朝日新聞社、福島民報社、福

島民友新聞社

③展示内容

2月23日 福島中央テレビ

3月9日 福島民報社、福島民友新聞社

3月13日 ニッポン放送

④記念講演会

3月1日 朝日新聞社、福島民報社

6. まほろん移動展「考古学から探る古代会津」

①報道向け説明会

3月14日 福島民報社、福島民友新聞社、  
タウン情報誌 VOICE

②展示内容

4月9日 NHK

7. 歴史美術テーマ展示

(1) 「社寺が伝えた祈りの美」

5月8日 福島民報社、福島民友新聞社、  
読売新聞社、福島テレビ、福島放送、テ  
レビュー福島

5月9日 NHK

5月11日 毎日新聞社

(2) 「会津を訪れた画家たち」

6月26日 NHK 福島放送局

(3) 「けんぱくの宝」

9月20日 福島テレビ

9月28日 福島民報社

(4) 「会津暦」

11月23日 福島民報社

8. 常設展示

近現代「アームストロング砲」

8月23日 NHK 大阪放送局

9. 次年度企画展

「磐梯山展」の概要

4月25日 福島民報社

12月27日 福島民報社

10. 第3土曜イベント

「クリスマスコンサート」

12月11日 NHK

(エ) 報道・記事

展示会に関するものを中心に掲載した。

広告掲載一覧

展 示 会	看板(駅前・ 博物館周り)	バスフロントマスク (市内バス)	バスワイド (側板)	新 聞
夏の企画展「樹と竹」	○	○		福島民報社
秋の企画展「わくわく！化石大集合」	○	○	○	
冬の展示「南会津の地図・絵図展」	○			福島民報社・福島民友新聞社
まほろん移動展「考古学から探る古代会津」	○			福島民報社・福島民友新聞社

## 1. 夏の企画展 「樹と竹」

### ①放送

8月18日 福島放送 県政番組「福島トピックス」

8月24日 NHK 昼のニュース

### ②新聞

7月21日 福島民友 「「樹と竹の文化」道具を通し紹介」

7月22日 福島民報 「「樹と竹」の文化を紹介」

## 2. 秋の企画展 「わくわく！化石大集合」

### ①放送

10月21日 NHK ニュース福島版

10月22日 NHK 「情報テラス 福島県立博物館」

### ②新聞

10月6日 福島民報 「化石展きょう開幕」

10月6日 福島民友 「本県から出土した動植物の化石紹介」

10月27日 読売新聞福島版 「土曜博物館 海と山のあいだ①」

11月3日 読売新聞福島版 「土曜博物館 海と山のあいだ②」

11月10日 読売新聞福島版 「土曜博物館 海と山のあいだ③」

11月24日 読売新聞福島版 「土曜博物館 海と山のあいだ④」

### ③雑誌・情報誌

日経サイエンス12月号 「わくわく！化石大集合 11/25まで福島県立博物館で」  
会津嶺2007年 「第8回けんぱくへ行こう わくわく！化石大集合」

うつくしま教育通信 Vol.40 (メルマガ) 「県立博物館企画展 わくわく！化石大集合」

ふくしまこども新聞 県中版 2007. 12月号 「わくわく！化石大集合—よみがえる300万年前のふくしま—」

## 3. 第2回ふくしま絵本大賞原画展

### ①放送

6月7日 福島放送 夕方のニュース

6月13日 NHK 「くらしのチャンネル」 「はまなかあいづ Today」

6月16日 福島テレビ

## 4. 南会津の地図・絵図展

### ①放送

1月18日 NHK 「くらしのチャンネル」 「はまなかあいづ Today」

1月23日 FMふくしま 「ふくしまイブニングブレイク」

### ②新聞

1月19日 福島民友 「南会津の地図展示」、  
福島民報 「江戸時代の南会津紹介」 「これが江戸時代の南会津」

1月26日 読売新聞福島版 「土曜博物館 幕末の絵図『塔のへつり』」

2月9日 読売新聞福島版 「土曜博物館 会津藩の口留番所」

2月23日 読売新聞福島版 「土曜博物館 勘定役人・佐藤五郎左衛門」

### ③雑誌・情報誌・広報紙

サンデーあいづ1254号 (1月20日)

『日本歴史』2007年10月号 「全国博物館企画展案内」

月刊シティ情報ふくしま1月号 「アート頁」

会津嶺2008年1月号 「第10回 けんぱくへ行こう」

## 5. おかえりなさい！ミス福島

### ①放送

2月4日 NHK 福島 「はまなかあいづ Today 梁川中央保育園から借用」

2月15日 NHK 福島 「はまなかあいづ Today ミス福島の展示」

2月15日 福島放送 「スーパーJチャンネル お帰りなさいミス福島」

2月26日 福島中央テレビ 「ゴジてれシャトル ゴジてれ特集」

3月17日 ニッポン放送 「上柳昌彦のお早う GoodDay 8時の GOOD STORY 人形81年後日本に帰る」

### ②新聞

1月24日 福島民報 「米への答礼人形ミス福島 80年ぶりの里帰り」

1月30日 福島民報 「あぶくま抄 (コラム)」

1月31日 福島民報 「来月里帰りの答礼人形「ミス福島」 “無事” 知り感激の涙 80年前手紙朗読の沼崎八重さん (福島) 思い出よみがえる」

2月16日 福島民報 「お帰り「ミス福島」 県立博物館 きょうから展示」

2月16日 朝日新聞福島版 「「ミス福島」 里帰り 県立博物館きょう公開 80年ぶり米から」

2月16日 読売新聞福島版 「土曜博物館 「ミス福島」 里帰り 日米友好の人形80年ぶり再会」

2月17日 福島民報 「お帰り「ミス福島」 若松の県立博物館 人形展始まる」



- 2月17日 福島民友「答礼人形「ミス福島」展示 県立博物館 81年ぶり「里帰り」」
- 2月18日 福島民報「帰国の答礼人形「ミス福島」 感激再び 80年前の記憶と対面 橋渡しの研究家訪問 米国から手紙届ける」
- 2月22日 福島民友「編集日記（コラム）」
- 3月2日 福島民報「いわきの遠藤さん 実家に置いた宝物… 「青い目の人形」と確認 ミス福島展に仲間入り 県立博物館」
- 3月2日 福島民報「答礼人形里帰りの仲立ち 高岡さん講演 県立博物館」
- 3月2日 朝日新聞福島版「「青い目の人形」私の実家にありました 「ママー」と泣きます いわきの遠藤さん「発見」 県立博物館 きょうから公開」
- 3月10日 福島民報「人形の里帰りでメッセージ 県立博物館の「ミス福島」展 子どもたちが米国の研究家に」
- 3月10日 福島民友「県立博物館 人形貸し出しに感謝しよう 「ミス福島」米所有者に子どもらメッセージ」
- 3月16日 福島民報「(投書) 絹子さんお帰り 気品に思わず涙」
- 3月17日 福島民報「「ミス福島」展が閉幕 県立博物館」
6. まほろん移動展「考古学から探る古代会津」
- ①放送
- 4月10日 NHK
7. 歴史美術テーマ展示
- (1) 「社寺が伝えた祈りの美」
- 5月8日 福島テレビ「お昼のニュース 夕方のニュース」
- 5月8日 福島放送「夕方のニュース」
- 5月8日 テレビユー福島「夕方のニュース」
- 5月9日 NHK「お昼のニュース 夕方のニュース」
- (2) 「会津を訪れた画家たち」放送
- 7月4日 NHK 朝のニュース 昼のニュース
- (3) 「けんぱくの宝」放送
- 9月22日 福島テレビ 夕方のニュース

8. 常設展示
- アームストロング砲、家訓
- 10月17日 NHK「その時歴史が動いた」
9. 第3土曜イベント
- 「クリスマスコンサート」
- 12月14日 NHK「くらしのチャンネル」「はまなかあいづ Today」

(オ) ホームページ

当館ではホームページを開設し、館の紹介およびイベントなどの各種情報を発信している。アクセス件数は下表のとおり。

(カ) ニュースメール

当館ではニュースメールを作成し、企画展、テーマ展示、講座、講演会などの催しの情報などを、マスコミ向けに発信している。平成19年度：Vol.21～Vol.44

(2) 公聴活動

館の運営に反映させるため、次の行事について利用者に対するアンケート調査を実施した。アンケート結果については、行事終了後、行事担当者が集計・分析し、その結果を館員による全体会議で随時報告している。

- ①常設展
- ②企画展「樹と竹」「わくわく！化石大集合」
- ③その他の展示「新編陸奥国風土記巻之五」「南会津の地図・絵図展」
- ④移動博物館「博物館がやってきた！」
- ⑤解説員によるやさしい展示解説会
- ⑥講座「博物館で遊ぼう！」

(3) 出版事業

平成19年度は次の出版物を刊行した。

(ア) 企画展図録

- ①福島県立博物館 平成19年度企画展図録 樹と竹 ー列島の文化、北から南からー 1,500冊
- ②企画展 わくわく！化石大集合 ーよみがえる300万年前のふくしまー 1,200冊
- ③まほろん移動展 考古学から探る古代会津 ー古墳・飛鳥・奈良・平安ー ハンドブック 1,000冊

(イ) 紀要

福島県立博物館紀要 第22号 600冊

(ウ) 年報

福島県立博物館年報 第21号 600冊

平成19年度ホームページアクセス件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
53,251	54,941	58,065	51,808	48,642	48,012	50,855	41,895	40,031	45,486	43,936	43,288

## 7. 博物館友の会活動への支援

### (1) 友の会活動への支援

当館は、福島県立博物館友の会の活動を支援するため、共催事業などの実施、行事に対する講師の派遣、サークル活動への協力、各会員に対して博物館だよりの送付、展示観覧への便宜、資料や文献の閲覧等研究活動の支援などを行っている。

### (2) 友の会の活動状況

#### (ア) 友の会の概要

①発 足 平成元年3月10日

②設立の目的

博物館活動に協力するとともに、会員が「福島県の歴史と文化・自然」についての研修を深め、会員相互の親睦をはかり、あわせて博物館活動の普及発展に寄与することを目的とする。

③総会の開催 平成20年3月15日(土)

④平成19年度会員数

個人会員：286名 家族会員：175家族  
高校生会員：43名  
賛助会員：6（個人2・法人4）

#### (イ) 平成19年度事業概要

##### 1. 行事の開催

「第1回友の会文化祭」

「異世代間の交流」をテーマに、会員それぞれが持てる技能を活用し、来館者に楽しい一時を過ごしていただくという趣旨で開催された。多くの個人・団体の参加があり、自らの作品や技を披露することができた。なお、会津若松市高齢福祉課に後援いただき、今後地域文化を振興する上での協力体制づくりをすることができた。

日時 10月20日(土) 午前10時～午後3時15分  
会場 福島県立博物館



「化石・鉱物探検隊」による化石のクリーニング

### 出演団体

古文書愛好会（友の会サークル）  
化石・鉱物探検隊（友の会サークル）  
会津若松ザベリオ学園高等学校考古学研究部  
あいづね情報出版舎有限会社  
中藤切絵教室  
蜃気楼  
ファンファーラあいづ  
社会福祉法人会津若松保育協会 若松第三保育園  
会津けん玉クラブ

入場者数 約500名

### 2. 研修旅行の実施

#### ①春の研修旅行

研修先 亀田城、佐藤八十八美術館、男鹿  
真山伝承館、なまはげ館、秋田県立博物館、秋田城跡 など

期 日 平成19年5月22日(火)～23日(水)

参加者 71名



友の会研修旅行「会津の古墳巡り」

#### ②秋の研修旅行

研修先 亀ヶ森古墳 田村山古墳 会津大塚山古墳 など

期 日 平成19年10月8日(月)

参加者 40名

### 3. 会報の発行

年4回、会報を発行し会員に配布した。

### 4. 博物館事業への協力

#### ①博物館展示観覧

平成19年度友の会会員入館者数 1,354件

#### ②博物館講座への協力

博物館自然史講座「化石をさがそう」に、友の会サークルである「友の会化石・鉱物探検隊」が参加・協力した。



友の会会報第74号

## 5. 会議

- ①役員会 平成19年 5月3日、9月6日、  
12月8日(臨時)、平成20年 2月23日
- ②総会 平成20年 3月15日(土)

### (ウ) サークル活動

#### 1. 化石・鉱物探検隊

化石や鉱物に興味をもつ研究サークルで、自然史に関する研鑽と会員相互の親睦を深めることを目的とし、平成12年に設立された。会員数35名。野外での巡検や化石・鉱物の採集、研修会等の活動を行っており、博物館の行事にも随時協力している。

平成19年度は、春から秋にかけて県内および山形県の化石・鉱物産地を計7回訪れ地層見学と標本採集を行い、冬季に2回の研修会を実施した。また、10月13日埴町で開催された博物館自然史講座「化石をさがそう」に協力し、講座参加者に対する採集指導と安全確保を行った。さらに、10月20日友の会文化祭に、「化石を見つけよう」の会場を開設し、参加者の化石クリーニングと標本製作のサポート活動を行った。会場は終日大勢の参加者で賑わった。

また、平成20年度開催予定の化石・鉱物探検隊結成10周年記念企画展「野山の宝 化石・鉱物展 -化石・鉱物探検隊10周年

成果展-」の実施計画を立てた。

#### 2. 古文書愛好会

平成14年度に発足した古文書愛好会は、随時20～30名が参加し、活動を続けてきた。メンバーはそれぞれ5つの班に分かれ、チームを組んで古文書の解読・考察にあたっている。平成19年度は月1回・第2土曜日に開催し、班ごとに順番に発表を行い、毎回最後に全員で文字・内容の検討を行った。テキストは当初から県指定文化財の築田家文書(福島県立博物館寄託)を用いている。築田家は江戸時代には一貫して若松城下の検断(町役人)をつとめた家で、その文書は城下の諸相を伝える良質な史料であるため、これまで学習してきた成果を冊子にまとめることを企画し計画をすすめ、念願の学習の記録である「築田家文書」の刊行を果たした。



化石・鉱物探検隊研修会



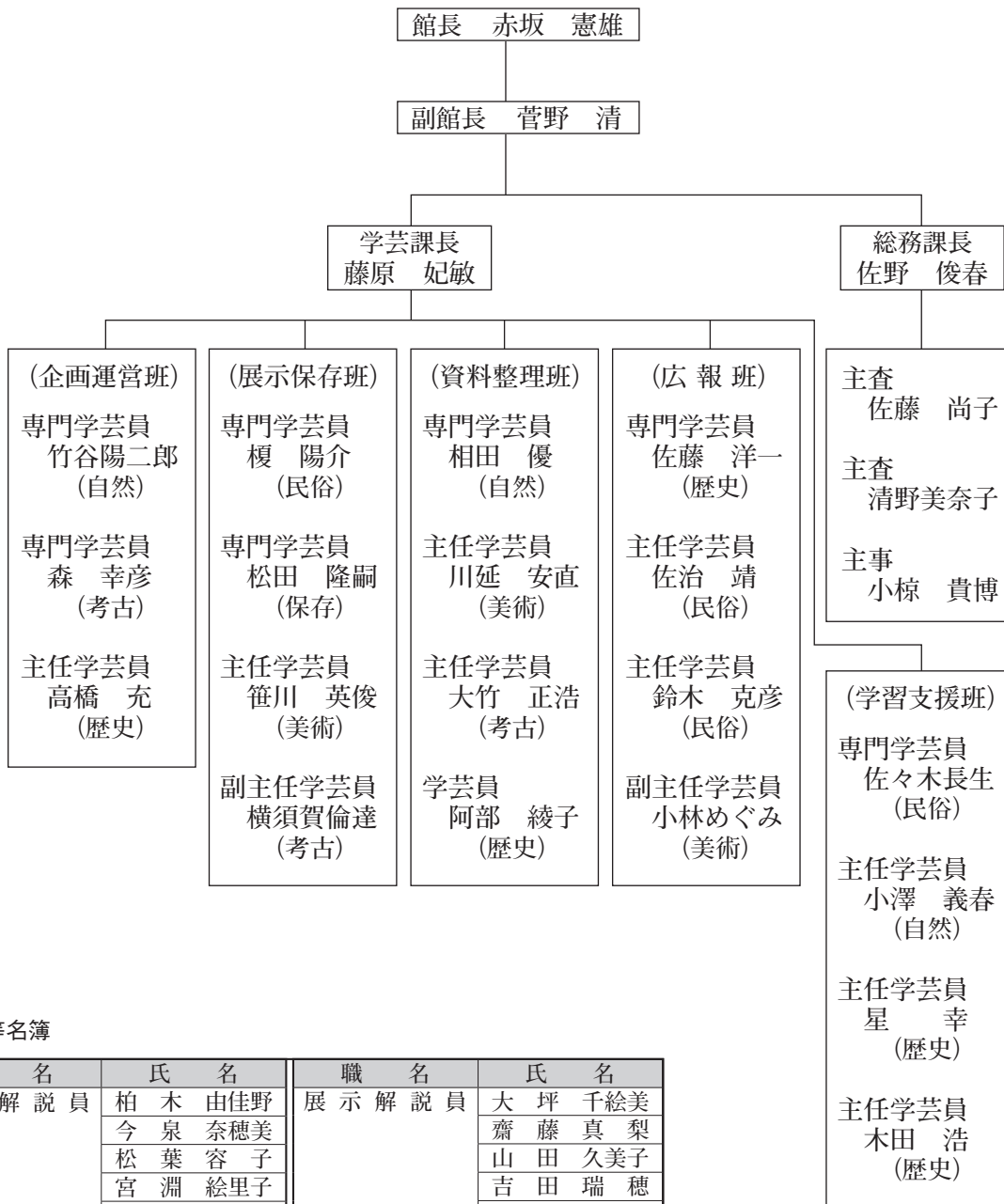
築田家文書

# Ⅲ 管理運営

## 1. 組織・職員

福島県立博物館の組織

(平成19年4月1日現在)



嘱託員等名簿

職名	氏名	職名	氏名	
展示解説員	柏木 由佳野	展示解説員	大坪 千絵美	
	今泉 奈穂美		齋藤 真梨	
	松葉 容子		山田 久美子	
	宮淵 絵里子		吉田 瑞穂	
	丸山 文子		角田 祥子	
	小島 明美		星 みずほ	
	國府 由美子		芳賀 真美	
	大竹 さやか		渡邊 芙美	
	赤羽 愛		資料整理員	森田 鉄平
	渡邊 麻衣子			花積 竜一
	遠藤 智子			齋藤 史子
	橋本 好恵			小林 麻梨
	菊地 百合子		臨時事務補助員	福島 優里
	五十嵐 早苗			



## 2. 予 算

平成19年度は、下表のとおり予算を執行した。

平成19年度予算執行状況

歳 入

(単位：千円)

科 目 (款・項・目・節)			金 額
使用料及び手数料			8,033
	使 用 料		8,033
		行政財産使用料	449
		建 物 使 用 料	449
		教 育 使 用 料	7,584
		博 物 館 使 用 料	7,584
財 産 収 入			2,157
	財 産 売 払 収 入		2,157
		物 品 売 払 収 入	2,157
		その他物品売払代金	2,157
諸 収 入			836
	雑 入		836
		雑 入	836
		雑 入	836
合 計			11,026

歳 出

(単位：千円)

科 目 (款・項・目・節)			金 額
労 働 費			2,152
	雇 用 対 策 費		2,152
		緊急雇用対策費	2,152
		共 済 費	230
		賃 金	1,922
教 育 費			212,799
	教 育 総 務 費		2,796
		事 務 局 費	2,776
		報 酬	2,400
		職 員 手 当	375
		共 済 費	1
		財 務 管 理 費	20
		交 際 費	0
		使用料及び賃借料	20
	社 会 教 育 費		210,003
		社会教育総務費	42
		使用料及び賃借料	42
		博 物 館 費	209,961
		報 酬	49,813
		共 済 費	5,864
		報 償 費	1,769
		旅 費	6,340
		需 用 費	65,007
		需用費（食糧費）	84
		役 務 費	11,856
		委 託 料	61,918
		使用料及び賃借料	1,400
		備品購入費	5,816
		負担金、補助及び交付金	85
		公課費	9
	合 計		214,951

### 3. 委員会の開催

#### (1) 運営協議会

##### (ア) 運営協議会委員

博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関であり、学校教育及び社会教育の関係者並びに学識経験のある者のうちから10名に委嘱している。また、平成13年1月からは、委員の選考に一部公募方式を導入した。

##### (イ) 会議

第1回 平成19年7月5日(木)

議題

- ①会長、副会長の選出について
- ②平成19年度事業計画について
- ③その他

第2回 平成20年2月15日(金)

議題

- ①平成19年度事業の実施概要について
- ②平成20年度事業計画について
- ③その他

運営協議会委員名簿

区分	氏名	役職名
学校教育	川前 範子	郡山市立喜久田小学校長
	斎藤 斉	郡山市立郡山第一中学校長
	佐治 和則	県立安積黎明高等学校長
社会教育	会長 高城 俊春	(財)福島県青少年育成・男女共生推進機構理事長
	薄 崇雄	喜多方市中央公民館長
学識経験者	副会長 伊藤 豊松	喜多方市文化財保護審議会会長
	高瀬 かづ子	県文化財保護審議会委員
	五十嵐 まりい	会津若松市教育委員会委員
	佐藤 弘子	公募委員
	中野 豊	公募委員

# IV 利用状況

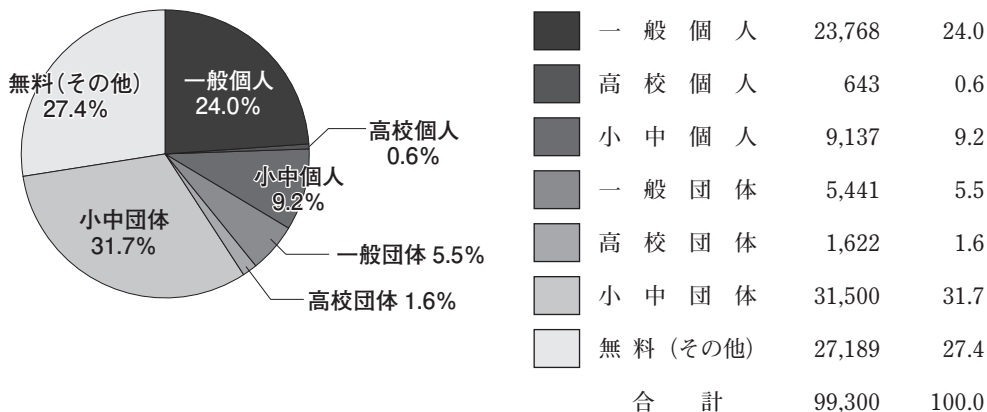
## 1. 入館者統計

### (1) 平成19年度入館者統計

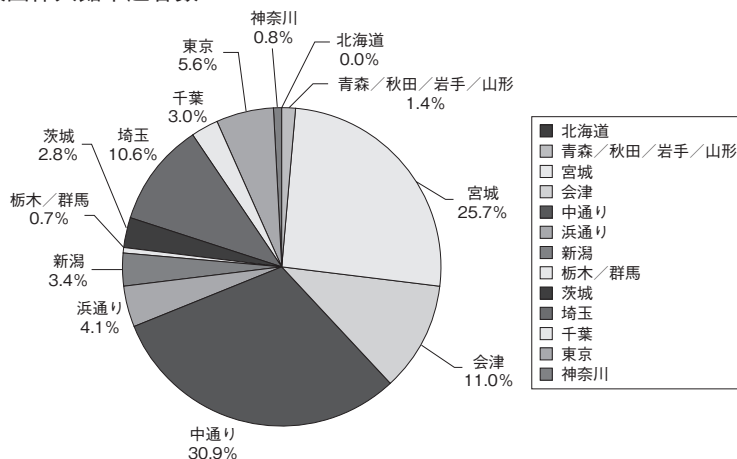
月別区分別入館者数

月別	常設展				企画展			合計		構成比
	日数	有料	無料		日数	有料	無料	日数	人数	
		人数	小中高校生 人数	その他 人数		人数	人数			
4	26	2,480	3,944	995				26	7,419	7.5%
5	27	2,772	7,237	2,262				27	12,271	12.3%
6	25	2,744	10,899	11,373				25	25,016	25.2%
7	26	1,851	3,423	1,013	11	379	142	26	6,808	6.9%
8	28	2,959	1,783	813	28	1,385	208	28	7,148	7.2%
9	26	2,449	5,755	915	17	696	269	26	10,084	10.1%
10	26	2,536	5,238	1,823	26	2,354	544	26	12,495	12.6%
11	26	1,676	1,717	1,308	25	1,871	1,689	26	8,261	8.3%
12	23	611	156	1,171				23	1,938	2.0%
1	23	745	204	678				23	1,627	1.6%
2	25	1,786	117	1,040				25	2,943	3.0%
3	25	2,002	342	946				25	3,290	3.3%
合計	306	24,611	40,815	24,337	107	6,685	2,852	306	99,300	100.0%

平成19年度入館者内訳



平成19年度地域別学校団体入館申込者数



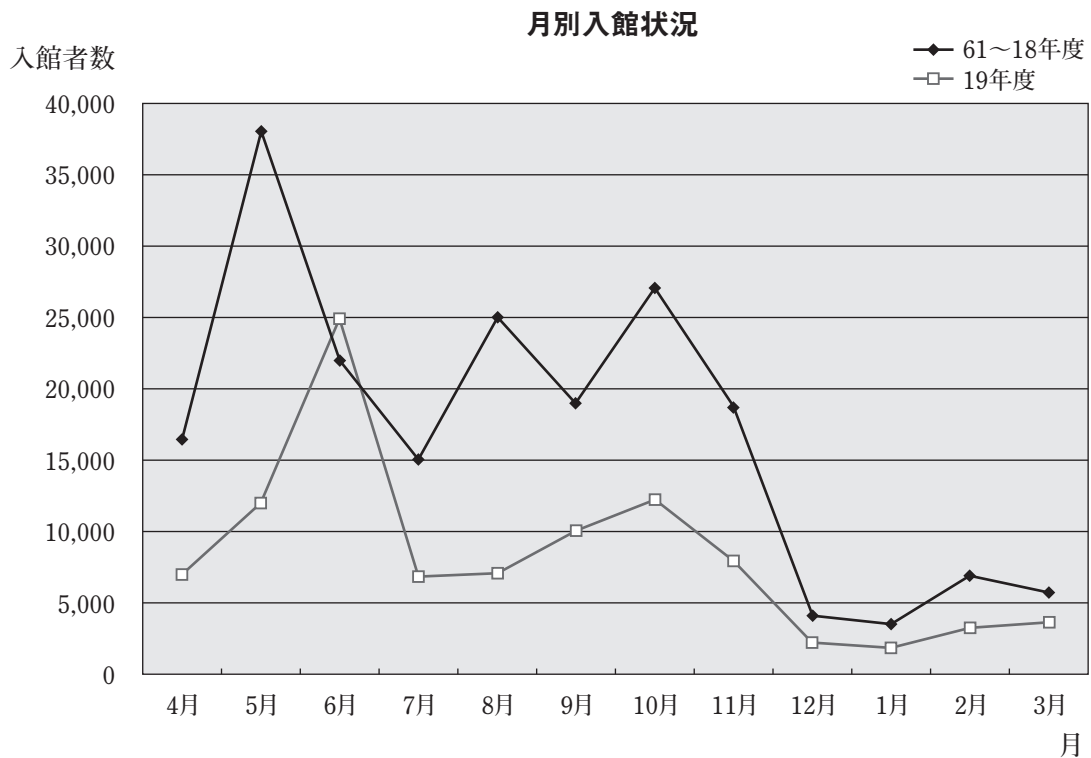
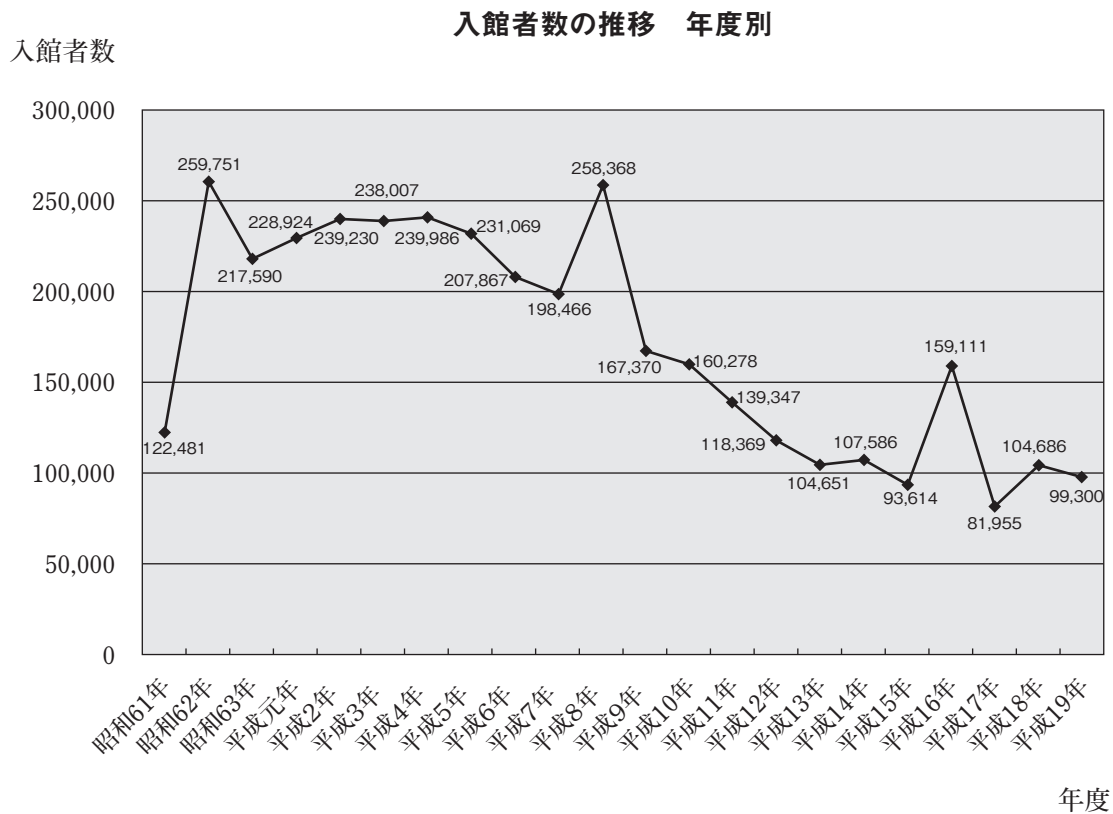
## (2) 入館者の推移 (年度別・月別)

入館者の推移 (年度別・月別)

区分	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
4月		25,919	20,561	25,699	22,750	22,851	16,637	17,975	15,320	16,571	12,433	13,521	14,922	13,456	10,539	8,473	8,028	4,899	8,770	8,440	7,019	7,419
5月		48,367	35,853	52,872	50,265	52,723	56,983	50,452	38,689	42,882	40,138	39,844	34,430	30,999	21,341	20,267	19,242	13,884	19,287	14,548	11,381	12,271
6月		17,881	14,823	20,356	19,043	23,592	23,841	29,319	20,737	28,622	18,185	22,279	24,933	23,659	18,775	16,475	17,211	12,884	16,768	12,008	14,151	25,016
7月		23,356	22,651	18,456	24,050	20,340	22,800	21,138	12,328	15,340	9,725	8,036	9,541	9,051	7,127	5,682	4,706	8,732	20,318	7,507	5,246	6,808
8月		40,749	32,396	31,127	34,218	33,257	37,431	28,490	25,837	23,785	21,495	15,803	16,208	13,607	13,184	8,451	14,702	10,630	34,732	7,157	10,548	7,148
9月		24,259	20,198	18,248	17,008	21,882	20,334	18,285	16,551	16,428	15,879	13,082	13,794	12,175	12,794	13,423	19,901	12,525	35,813	8,787	13,405	10,084
10月	31,758	27,099	29,648	26,832	34,201	21,851	18,565	20,022	28,034	20,252	64,772	26,015	18,431	15,696	15,609	12,192	10,688	13,000	11,227	11,972	25,464	12,495
11月	49,868	27,082	21,234	16,058	18,482	15,682	17,592	15,629	19,857	15,096	50,811	10,290	9,061	7,937	8,120	5,825	5,265	7,693	5,440	4,374	9,029	8,261
12月	8,860	5,548	4,512	3,369	2,303	3,618	4,028	6,989	7,839	2,048	9,473	2,125	2,395	1,582	1,801	5,797	1,078	1,665	2,192	926	1,989	1,938
1月	6,531	4,010	4,959	4,048	3,813	8,675	5,073	4,993	4,732	2,701	3,141	2,111	3,218	2,714	829	1,412	1,196	1,235	855	1,159	1,468	1,627
2月	13,614	7,653	6,350	6,986	5,982	7,006	9,096	9,137	9,197	7,631	6,700	7,578	9,770	4,795	5,353	3,836	3,183	3,733	2,019	2,815	2,928	2,943
3月	11,850	7,878	4,405	4,873	7,115	6,530	7,606	8,640	8,742	7,160	5,616	6,686	3,575	3,676	2,897	2,818	2,386	2,734	1,690	2,262	2,058	3,290
合計	122,481	259,751	217,590	228,924	239,230	238,007	239,986	231,069	207,867	198,466	258,368	167,370	160,278	139,347	118,369	104,651	107,586	93,614	159,111	81,955	104,686	99,300
日数	133	297	296	299	299	298	297	293	296	298	294	295	295	294	301	303	306	302	302	305	310	306
日平均	921	875	735	766	800	799	808	789	702	666	879	567	543	474	393	345	352	310	527	269	338	325
月平均	20,414	21,646	18,133	19,077	19,936	19,834	19,999	19,256	17,322	16,539	21,531	13,948	13,357	11,612	9,864	8,721	8,966	7,801	13,259	6,830	8,724	8,275
累計	122,481	382,232	599,822	828,746	1,067,976	1,305,983	1,545,969	1,777,038	1,984,905	2,189,371	2,441,739	2,609,109	2,769,387	2,908,734	3,027,103	3,131,754	3,239,340	3,332,954	3,492,065	3,574,020	3,678,706	3,778,006



入館者の推移グラフ（年度別・月別）



## (3) 企画展入館者統計

## 企画展入館者数

年度	企画展名	期 間	日 数	一 般	高 校	小 中	合 計
61	武家の文化	61.10.18~61.11.16	27日	18,806人	1,967人	4,474人	25,247人
	福島のまつり	62.1.17~62.3.1	37	6,302	456	755	7,513
	計		64	25,108	2,423	5,229	32,760
62	福島の顔	62.4.18~62.6.14	48	13,008	510	7,077	20,595
	植物化石展	62.7.18~62.9.15	51	14,116	1,267	7,149	22,532
	会津の仏像	62.10.17~62.12.13	49	14,670	440	904	16,014
	陸奥の古瓦	63.1.23~63.3.21	50	4,069	151	291	4,511
	計		198	45,863	2,368	15,421	63,652
63	境の神・風の神	63.4.16~63.6.12	49	9,804	1,046	5,668	16,518
	江戸時代の流通路	63.7.16~63.9.11	50	16,240	1,502	5,729	23,471
	東国の埴輪	63.10.8~63.12.11	54	15,585	1,472	4,702	21,759
	鉱物の世界	元.1.21~元.3.19	49	4,160	470	2,653	7,283
	計		202	45,789	4,490	18,752	69,031
元	縄文の四季	元.4.18~元.6.11	48	13,246	2,293	27,743	43,282
	まちの成立とにぎわい	元.7.4~元.9.3	54	16,611	1,151	8,120	25,882
	中通りの仏像	元.9.22~元.11.26	55	15,356	1,895	6,486	23,737
	東北の陶磁史	2.1.20~2.3.18	50	5,058	151	1,532	6,741
	計		207	50,271	5,490	43,881	99,642
2	垂欧堂田善とその系譜	2.4.21~2.6.10	44	12,274	2,507	22,522	37,303
	太古の生きものたち	2.7.6~2.9.2	51	17,519	1,407	10,681	29,607
	秀吉・氏郷・政宗	2.9.22~2.11.25	55	18,273	2,481	8,516	29,270
	日本の音色	3.1.19~3.3.21	53	5,567	149	1,731	7,447
	計		203	53,633	6,544	43,450	103,627
3	シルクロード紀行	3.4.16~3.6.9	48	13,878	3,319	27,384	44,581
	縄文絵巻	3.7.20~3.9.23	57	21,276	1,734	10,548	33,558
	浜通りの仏像	3.10.10~3.12.8	51	12,293	1,030	3,528	16,851
	ふくしま鉱山のあゆみ	4.1.18~4.3.15	49	7,626	138	2,043	9,807
	計		205	55,073	6,221	43,503	104,797
4	マンガ文化の源流	4.4.18~4.6.4	49	12,151	2,192	27,981	42,324
	恐竜のあるいた道	4.7.18~4.9.23	57	22,049	1,459	11,772	35,280
	定信と文晁	4.10.17~4.12.6	43	10,333	1,083	2,549	13,965
	発掘ふくしま	5.1.16~5.3.21	55	7,004	338	1,831	9,173
	計		204	51,537	5,072	44,133	100,742
5	明治はじめて物語	5.4.17~5.6.13	48	12,810	1,542	28,085	42,437
	稲とくらし	5.7.17~5.9.23	58	19,467	1,195	8,349	29,011
	東北からの弥生文化	5.10.16~5.12.5	42	12,436	936	3,178	16,550
	会津の自然史	6.1.22~6.3.21	51	6,928	418	2,350	9,696
	計		199	51,641	4,091	41,962	97,694
6	玉堂と春琴・秋琴	6.4.23~6.6.5	37	8,816	346	16,330	25,492
	げんき・病・元気	6.7.23~6.9.18	49	14,075	1,027	6,232	21,334
	会津大塚山古墳の時代	6.10.8~6.12.4	48	18,285	751	7,095	26,131
	村芝居の世界	7.1.21~7.3.26	55	7,676	268	2,445	10,389
	計		189	48,852	2,392	32,102	83,346
7	探検員化石ワールド	7.4.22~7.6.11	44	9,187	1,608	26,208	37,003
	海のまくあけ	7.7.22~7.9.17	50	14,101	1,003	5,889	20,993
	福島1000年時のかたち	7.10.7~7.11.26	43	9,379	1,342	3,417	14,138
	いにしえの木匠	8.1.20~8.3.24	55	5,760	74	1,907	7,741
	計		192	38,427	4,027	37,421	79,875
8	福島の山岳信仰	8.4.20~8.6.9	44	8,931	976	12,432	22,339

年度	企画展名	期間	日数	一般	高校	小中	合計
8	地震・火山・津波	8.7.20~7.9.16	51	11,671	443	6,176	18,290
	秀吉と桃山文化	8.10.5~8.11.24	43	45,643	1,583	8,929	56,155
	近代子どもの世界	9.1.18~9.3.23	54	3,733	130	2,427	6,290
	計		192	69,978	3,132	29,964	103,074
9	縄文たんけん	9.4.19~9.6.8	43	5,282	1,164	23,052	29,498
	日本の魚学・水産学事始め	9.7.19~9.9.15	51	6,396	396	4,082	10,874
	染める	9.10.10~9.12.7	51	6,165	118	7,372	13,655
	遠澤と探幽	10.1.24~10.3.15	43	5,854	433	775	7,062
	計		188	23,697	2,111	35,281	61,089
10	戦国の城	10.4.18~10.6.14	49	8,731	600	19,452	28,783
	発掘ふくしま2	10.7.18~10.9.13	50	7,930	484	5,954	14,368
	天の絹絲	10.10.10~10.12.13	55	6,521	133	3,009	9,663
	日本の美	11.1.26~11.2.21	23	5,055	101	567	5,723
	計		177	28,237	1,318	28,982	58,537
11	氷河時代	11.4.17~11.6.13	49	6,351	680	20,052	27,083
	新弥生紀行	11.7.17~11.9.15	43	6,128	409	3,438	9,975
	生の中の死	11.10.9~11.12.12	54	5,826	225	2,103	8,154
	豊かなる世界へ	12.1.22~12.3.20	51	3,426	103	448	3,977
	計		197	21,731	1,417	26,041	49,189
12	集古十種	12.4.22~12.6.11	44	4,843	81	7,960	12,884
	海獣パレオパラドキシア	12.7.15~12.9.10	49	6,013	363	4,074	10,450
	英雄たちの系譜	12.10.7~12.12.10	55	5,838	139	3,326	9,303
	安積良斎と門人たち	13.1.20~13.3.20	51	2,963	73	115	3,151
	計		199	19,657	656	15,475	35,788
13	食と考古学	13.4.21~13.6.10	44	3,330	281	8,964	12,575
	肖像に見る福島を築いた人々	13.7.7~13.8.26	44	3,630	118	1,148	4,896
	武者たちが通る	13.9.22~13.11.11	44	4,437	385	2,675	7,497
	計		132	11,397	784	12,787	24,968
14	化石芸術	14.4.27~14.6.30	56	3,921	552	6,928	11,401
	雪村展	14.8.10~14.9.23	39	11,362	169	1,149	12,680
	計		95	15,283	721	8,077	24,081

年度	企画展名	期間	日数	一般	高校	小中	無料	合計
15	発掘された日本列島2003	15.7.15~15.8.13	26	2,473	386	647	1,424	4,930
	発掘ふくしま3	15.8.20~15.9.23	30	1,833	40	479	432	2,784
	《笑い》の想像力	15.10.11~15.12.7	50	3,190	47	456	769	4,462
	計		106	7,496	473	1,582	2,625	12,176
16	戊辰戦争といま	16.4.17~16.6.13	49	6,451	190	3,191	1,048	10,880
	アートオブスター・ウォーズ展	16.7.3~16.9.26	75	46,019	5,631	11,234	1,552	64,436
	ふくしまの工芸	16.10.23~16.12.5	36	2,524	65	182	626	3,397
	計		160	54,994	5,886	14,607	3,226	78,713
17	老い	17.4.23~17.6.5	39	1,732	80	414	814	3,040
	婚礼	17.9.23~17.11.6	39	2,480	45	233	1,020	3,778
	計		78	4,212	125	647	1,834	6,818
18	馬と人との年代記	18.4.22~18.6.11	45	1,679	24	801	615	3,119
	布の声をきく	18.7.22~18.9.3	40	2,137	53	284	464	2,938
	徳川将軍家と会津松平家	18.9.30~18.11.5	36	14,879	126	1,918	2,560	19,483
	計		121	18,695	203	3,003	3,639	25,540
19	樹と竹	19.7.21~19.9.17	52	1,987	44	429	619	3,079
	わくわく!化石大集合	19.10.6~19.11.25	44	2,611	21	1,593	2,233	6,458
	計		96	4,598	65	2,022	2,852	9,537

※平成16年度のアート オブ スター・ウォーズ展については高校生区分は中学生・高校生、小・中学生区分は小学生と読替え

## 2. 出版物販売

出版物売上表

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	金額
常設展示図録	1,100	5	9	10	8	9	16	11	4	6	2	2	6	88	96,800
武家の文化	1,100	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	6	6,600
福島のまつり	750	1	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	4	3,000
陸奥の古瓦	800	1	3	3	1	2	2	2	2	0	0	2	1	19	15,200
江戸時代の流通路	1,000	0	2	0	1	3	3	3	1	0	4	22	2	41	41,000
鉱物の世界	800	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	4	3,200
縄文の四季	1,000	2	1	0	0	1	3	1	1	0	0	0	0	9	9,000
まちの成立とにぎわい	1,000	1	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	5	5,000
太古の生きものたち	1,000	0	0	0	0	0	0	7	11	2	0	0	0	20	20,000
日本の音色	1,500	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1	0	4	6,000
シルクロード紀行	2,000	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2,000
縄文絵巻	1,500	3	17	1	0	0	1	1	2	2	0	1	0	28	42,000
浜通りの仏像	1,000	1	0	1	1	0	1	1	1	1	1	0	0	8	8,000
ふくしま鉱山のあゆみ	1,500	0	2	0	0	2	1	1	0	1	0	1	2	10	15,000
マンガ文化の源流	2,000	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	4	8,000
恐竜のあるいた道	1,000	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3	3,000
定信と文晁	1,900	1	0	1	1	0	0	2	3	1	0	0	1	10	19,000
明治はじめて物語	1,000	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	3	3	9	9,000
稲とくらし	1,500	0	0	3	0	2	6	0	0	0	1	0	0	12	18,000
東北からの弥生文化	1,500	2	2	0	3	1	3	5	0	0	1	0	1	18	27,000
会津の自然史	1,500	1	1	0	0	0	0	8	4	3	0	0	0	17	25,500
玉堂と春琴・秋琴	2,200	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	4,400
げんき・病・元気	1,500	0	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	5	7,500
村芝居の世界	1,800	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1	3	0	7	12,600
探検員化石ワールド	1,500	0	0	0	0	0	3	2	0	1	0	0	0	6	9,000
海のまくあけ	1,500	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	3,000
福島1000年時のかたち	1,700	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1,700
いにしえの木の匠	1,200	2	2	0	0	0	2	1	0	0	2	0	1	10	12,000
福島の山岳信仰	1,500	0	3	3	1	0	4	2	0	2	0	0	1	16	24,000
地震・火山・津波	1,000	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3	3,000
近代子どもの世界	1,700	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	3	5,100
縄文たんけん	1,800	1	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6	10,800
日本の魚学・水産学事始め	1,000	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	2,000
染める	1,200	1	0	1	0	0	3	0	0	2	0	0	0	7	8,400
遠澤と探幽	2,500	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5,000
戦国の城	1,600	2	4	3	2	1	6	0	1	1	4	11	3	38	60,800



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	金額
天の絹糸	2,500	1	1	1	1	3	6	0	1	0	1	0	0	15	37,500
日本の美	1,500	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	3,000
水河時代	1,400	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	4	5,600
新弥生紀行	2,200	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3	6,600
生の中の死	1,800	0	1	1	1	3	2	4	0	1	0	1	1	15	27,000
豊かなる世界へ	1,100	0	3	0	0	3	4	0	0	0	0	0	2	12	13,200
集古十種	2,100	1	1	2	1	1	1	3	4	2	0	1	2	19	39,900
海獣パレオパラドキシア	1,200	0	1	11	0	0	0	2	2	0	0	0	0	16	19,200
英雄たちの系譜	1,000	0	1	1	1	0	2	0	1	0	0	0	0	6	6,000
食と考古学	1,000	2	9	3	4	3	3	2	2	0	2	0	2	32	32,000
肖像に見る福島を築いた人々	1,700	0	0	0	1	4	0	0	1	0	0	0	0	6	10,200
武者たちが通る	800	2	1	0	0	2	1	2	1	0	1	0	4	14	11,200
発掘ふくしま3	1,100	0	2	1	0	1	2	0	0	0	0	0	1	7	7,700
笑いの想像力	2,000	0	0	1	0	0	3	0	0	2	0	0	1	7	14,000
老い	2,000	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	3	6,000
婚礼	1,500	0	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	5	7,500
馬と人との年代記	1,600	4	14	5	6	7	4	5	3	2	2	2	1	55	88,000
布の声をきく	1,300	2	0	1	2	6	7	0	1	1	1	0	2	23	29,900
徳川将軍家と会津松平家	1,200	10	8	6	5	9	6	4	4	1	2	8	6	69	82,800
樹と竹	1,200	0	0	0	79	83	203	36	1	3	4	2	3	414	496,800
わくわく！化石大集合	800	0	0	0	0	0	0	44	54	10	0	0	2	110	88,000
古代会津	250	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	79	79	19,750
紀要（数量）		2	1	9	16	3	12	8	1	2	1	2	1	58	
紀要（金額）		3,900	2,100	16,600	27,900	5,900	19,700	12,700	1,300	3,000	1,500	3,200	1,700	99,500	99,500
ふくしまの仏像（仏像図説）	1,300	2	3	1	3	1	0	1	3	4	0	4	2	24	31,200
福島の古墳	1,200	4	7	4	2	7	13	7	8	7	0	1	2	62	74,400
福島の化石	1,500	0	0	0	0	1	0	3	8	1	2	2	0	17	25,500
戦時下の福島	800	0	1	0	0	1	2	0	2	1	0	1	0	8	6,400
福島の年中行事	1,100	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3	3,300
小学校における博物館学習指導の手引き	700	0	1	0	0	4	4	0	0	0	0	0	2	11	7,700
常世原田遺跡	600	0	3	1	1	0	0	2	1	0	0	1	0	9	5,400
ふくしまの農具	1,000	0	0	2	4	3	10	2	2	0	0	2	1	26	26,000
博物館と遊ぼう	1,000	2	4	2	2	12	6	2	6	2	0	1	3	42	42,000
ガイドブック	300	14	3	10	6	12	12	6	4	5	2	2	0	76	22,800
報告書（数量）		12	9	14	11	16	44	14	13	9	6	14	10	172	0
報告書（金額）		12,700	15,200	19,800	15,100	12,400	43,200	16,400	15,000	8,200	7,300	13,600	12,400	191,300	191,300
絵葉書	50	4	17	53	17	85	100	28	35	3	14	0	8	364	18,200
合計		88	143	162	186	297	521	232	195	85	56	91	162	2,218	2,157,150

# V 法 規

## 福島県立博物館条例

(昭和61年3月25日 条例第30号)

(設 置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号)第18条、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第30条及び地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条第1項の規定に基づき、県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、福島県立博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

(位 置)

第2条 博物館は、会津若松市城東町8番地に置く。

(業 務)

第3条 博物館において行う業務は、次のとおりとする。

- 1 歴史、考古、民俗、美術工芸、自然等に関する実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、レコード等の資料(以下「博物館資料」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。
- 2 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- 3 博物館資料に関する講演会、講習会、研究会等を開催すること。
- 4 博物館資料の利用に関し必要な説明、助言、指導等を行うこと。
- 5 前各号に掲げるもののほか、その設置の目的を達成するために必要な業務を行うこと。

(観覧料)

第4条 博物館の展示品(以下「展示品」という。)を観覧しようとする者は、別表に定める額の観覧料を納めなければならない。

(観覧料の免除)

第5条 知事は、公益上の必要があると認めるときは、規則で定めるところにより、観覧料の全部又は一部を免除することができる。

(観覧料不返還の原則)

第6条 既納の観覧料は、返還しない。ただし、規則で定める場合は、その全部又は一部を返還することができる。

(遵守事項)

第7条 博物館を利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- 1 博物館の施設若しくは設備、展示品等をき損し、又は汚損しないこと。
- 2 物品を販売し、又は頒布しないこと(教育委員会の許可を受けた場合を除く。)
- 3 展示品の模写、模造、撮影等を行わないこと(教育委員会の許可を受けた場合を除く。)
- 4 所定の場所以外において、喫煙及び飲食を行わないこと。
- 5 他の利用者に危害又は迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- 6 前各号に掲げるもののほか、管理上教育委員会が指示する事項

(入館の規制等)

第8条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、入館を拒否し、又は退館若しくは退去を命ずることができる。

- 1 前条の規定に違反した者
- 2 博物館の施設若しくは設備、展示品等をき損し、又は汚損するおそれのある者
- 3 館内の秩序を乱し、又はそのおそれのある者

(職 員)

第9条 博物館に事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(委 任)

第10条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理その他この条例の施行に関して必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この条例は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則(平成9年3月25日条例第52号)

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

附 則(平成11年12月24日条例第93号)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成15年3月24日条例第53号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

別表(第4条関係)

区 分	普通観覧料の額(一人当たり)		特 別 観 覧 料 の 額
	個 人	団 体	
一般(大学生を含む。)	260円	210円	その都度知事が定める額
高校生及びこれに準ずる者	無 料	無 料	その都度知事が定める額
中 学 生 及 び 小 学 生	無 料	無 料	その都度知事が定める額

## 備考

- 1 「普通観覧料」とあるのは、常設展の展示品のみを観覧する場合の観覧料をいい、「特別観覧料」とあるのは、企画による展示品を観覧する場合の観覧料をいう。
- 2 「団体」とあるのは、20人以上の団体をいう。

## 福島県立博物館運営協議会条例

(昭和61年3月25日 条例第31号)

### (設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号)第20条第1項の規定に基づき、福島県立博物館(以下「博物館」という。)の適正な運営を図るため、福島県立博物館運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

### (組織)

第2条 協議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、10人以内とする。

### (委員の任命及び任期)

第3条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が任命する。

2 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任されることができる。

### (会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

### (会議)

第5条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

### (庶務)

第6条 協議会の庶務は、博物館において処理する。

### (雑則)

第7条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

### 附 則

この条例は、昭和61年4月1日から施行する。

## 福島県立博物館条例施行規則

(昭和61年3月25日 教育委員会規則第5号)

### (休館日)

第1条 福島県立博物館(以下「博物館」という。)の定期的休館日は、次のとおりとする。

- 1 月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(次号において「休日」という。)に当たるときを除く。
- 2 休日の翌日。ただし、その日が土曜日、日曜日又は休日(次号において「休日」という。)に当たるときを除く。
- 3 1月1日から同月4日まで
- 4 12月28日から同月31日まで

2 博物館の長(以下「館長」という。)は、必要があると認めるときは、臨時に休館し、又は臨時に開館することができる。

### (開館時間)

第2条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、館長は、必要があると認めるときは、これを臨時に変更することができる。

### (観覧手続)

第3条 館長は、福島県立博物館条例(昭和61年福島県条例第30号。以下「条例」という。)第4条の規定により観覧料を納入した者に対し、観覧券(様式第1号)を交付するものとする。

### (観覧料の免除及びその手続き)

第4条 館長は、条例第5条の規定により、次の表の上欄に掲げる場合における普通観覧料について、同表の下欄に掲げる額を免除するものとする。

普通観覧料を免除する場合	免 除 す る 額
1 大学生(これに準ずる者として福島県教育委員会教育長(以下「教育長」という。)が別に定める者を含む。)及びその引率者並びに高校生、中学生及び小学生(これらに準ずる者として教育長が別に定める者を含む。)の引率者が、学校教育に基づく活動として観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の全額
2 県、又は市町村が主催する講習会、講座等の活動として観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の100分の50に相当する額(引率者にあつては全額)

3 国民の祝日に関する法律第2条に定めるこどもの日、敬老の日及び文化の日に観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の全額
4 知事の発行する外国人留学生文化施設等無料観覧証の交付を受けている者が観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の全額
5 その他免除することが公益上適当と認めるとき。	教育長が別に定める額

2 観覧料の免除を受けようとする者（前項の表の第3号又は第4号のいずれかに該当する場合に観覧料の免除を受けようとする者を除く。）は、前項の表の第1号又は第2号に該当する場合にあっては観覧しようとする日の3日前まで、第5号に該当する場合にあっては10日前までに観覧料免除申請書（様式第2号）を館長に提出し、その承認を受けなければならない。

3 館長は、前項の規定により観覧料の免除を承認したときは、観覧料免除承認書（様式第3号）を交付するものとする。  
（観覧料の返還）

第5条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、それぞれ当該各号に定めるところにより、観覧料の全部又は一部を返還するものとする。

- 1 観覧しようとする者の責めによらない理由により観覧することができなくなったとき。 全額
  - 2 その他やむを得ない理由があると認めるとき。 教育長が別に定める額
- 2 観覧料の返還を受けようとする者は、観覧料返還申請書（様式第4号）に観覧券を添えて、館長に提出しなければならない。

（博物館資料の特別利用）

第6条 博物館が所蔵し、又は寄託を受けている博物館資料を学術上の研究その他の目的のため特に利用しようとする者は、館長の承認を受けなければならない。

（教育長への委任）

第7条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理その他この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則（昭和63年3月25日教育委員会規則第9号）

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則（平成4年7月28日教育委員会規則第14号）

この規則は、平成4年9月1日から施行する。

附 則（平成7年3月31日教育委員会規則第15号）

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則（平成8年3月29日教育委員会規則第16号）

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則（平成8年8月20日教育委員会規則第20号）

この規則は、平成8年10月1日から施行する。

附 則（平成12年3月31日教育委員会規則第16号）

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成14年3月26日教育委員会規則第14号）

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成15年3月24日教育委員会規則第3号）

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

様式第1号（第3条関係）

観 覧 券 （観覧者の区分） （金 額）  福 島 県 立 博 物 館	観 覧 券 （観覧者の区分） （金 額）  福 島 県 立 博 物 館
---	---

備考 寸法、デザイン等については、その都度定める。



様式第2号(第4条関係)

年 月 日

福島県立博物館長

申請者 住所又は所在地  
氏名又は名称及  
び代表者の氏名

印

観覧料免除申請書

次の理由により観覧料を免除してください。

観覧目的				
観覧日時	年 月 日	時	分から	分まで
観覧者の種別 及び人数	一 般	人	その他( )	人
	大 学 生		( )	
	高 校 生			
	中 学 生		引 率 者	
	小 学 生		合 計	
免除申請の理由				
引率者の職及び氏名	職	氏名		
連絡先及び電話番号	電話 ( )			
観覧料	免除率	免除金額	免除の根拠	
※ 円※		※ 円※		
上記のとおり承認してよろしい。				
館 長	副 館 長	総務課長	主 任	

(注) ※印の欄は、記入しないこと。

様式第3号(第4条関係)

第 号

年 月 日

様

福島県立博物館長 印

観覧料免除承認書

観覧料の免除について、次のとおり承認します。

観覧目的				
観覧日時	年 月 日	時	分から	分まで
観覧者の種別 及び人数	一 般	人	その他( )	人
	大 学 生		( )	
	高 校 生			
	中 学 生		引 率 者	
	小 学 生		合 計	
免除申請の理由				
注 意 事 項				
観 覧 料	免 除 率	免 除 金 額	円	
円				

様式第4号(第5条関係)

年 月 日

福島県立博物館長

申請者 住所又は所在地  
氏名又は名称及  
び代表者の氏名

印

観覧料返還申請書

次の理由により観覧料を返還してください。

展覧会の名称				
観覧料の納入月日	年	月	日	
既納観覧料の 区分及び金額	区 分	人 数	金 額	
		人	円	
	合 計			
返還を申請する理由				
連絡先及び電話番号	電話 ( )			
観覧料	返 還 率	返 還 金 額	返 還 の 根 拠	
※ 円※		※ 円※		
上記のとおり返還してよろしい。				
館 長	副 館 長	総務課長	主 任	
受 付 月 日	・	・	決 裁 月 日	・

(注) ※印の欄は、記入しないこと。

# 福島県立博物館組織規則

(昭和61年3月25日 教育委員会規則第6号)

(目的)

第1条 この規則は、福島県立博物館（以下「博物館」という。）の組織に関して必要な事項を定めることを目的とする。

(課)

第2条 博物館に次の課を置く。

総務課  
学芸課

(事業分掌)

第3条 総務課においては、次の事務を行う。

- 1 館内事務の総合調整及び企画調査に関すること。
  - 2 公印の管理に関すること。
  - 3 人事に関すること。
  - 4 文書の收受、発送、編集及び保存に関すること。
  - 5 予算の編成、経理及び執行に関すること。
  - 6 物品の調達及び処分に関すること。
  - 7 財産の管理に関すること。
  - 8 観覧料の徴収に関すること。
  - 9 福島県立博物館運営協議会に関すること。
  - 10 前各号に掲げるもののほか、他課の所掌に属しない事務に関すること。
- 2 学芸課においては、次の事務を行う。
- 1 博物館資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。
  - 2 博物館資料に関する調査及び研究に関すること。
  - 3 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
  - 4 博物館資料に関する解説書、年報、調査研究報告書等の作成に関すること。
  - 5 博物館資料に関する相談、情報提供その他博物館資料に関する教育の普及に関すること。
  - 6 国立博物館、公立博物館その他の教育機関及び関係団体との連絡提携に関すること。
- 7 前各号に掲げるもののほか、博物館資料に関する専門的事項に関すること。

(館長)

第4条 博物館に館長を置く。

2 館長は、上司の命を受け、博物館の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

(副館長)

第5条 博物館に副館長を置く。

2 副館長は、館長を補佐し、博物館の事務を整理する。

(課長)

第6条 博物館の課に課長を置く。

2 課長は、上司の命を受け、課の事務を処理し、所属職員を指揮監督する。

第7条 削除

(学芸員等)

第8条 博物館に主任専門学芸員、専門学芸員、主任学芸員、副主任学芸員及び学芸員を置く。

- 2 主任専門学芸員は、上司の命を受け、館長が定める特定の高度な学芸事務を処理する。
- 3 専門学芸員は、上司の命を受け、館長が定める特定の学芸事務を処理する。
- 4 主任学芸員は、上司の命を受け、担任の学芸事務を処理する。
- 5 副主任学芸員は、上司の命を受け、高度な学芸事務をつかさどる。
- 6 学芸員は、上司の命を受け、学芸事務をつかさどる。

(主任主査その他の職)

第9条 博物館に、第4条から前条までに規定する職のほか、必要に応じ、次の表の上欄に掲げる職を置き、その職の職務は、それぞれ同表の当該下欄に掲げるとおりとする。

職	職務
主任主査	上司の命を受け、館長が定める特定の事務を処理する。
主査	上司の命を受け、担任の事務を処理する。
副主査	上司の命を受け、高度な事務をつかさどる。
主事	上司の命を受け、事務をつかさどる。
専門員	上司の命を受け、担任の専門的業務に従事する。

附則

この規則は、昭和61年4月1日から施行する。

附則（平成6年3月15日教育委員会規則第4号）

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附則（平成13年3月27日教育委員会規則第6号）

この規則は、平成13年4月1日から施行する。  
附 則（平成14年3月29日教育委員会規則第18号）  
この規則は、平成14年4月1日から施行する。

## 福島県立博物館条例に基づく知事の権限を福島県教育委員会に委任する規則

（昭和61年3月25日 福島県規則第11号）

福島県立博物館条例（昭和61年福島県条例第30号）第5条、第6条ただし書き及び別表に規定する知事の権限は、福島県教育委員会に委任する。

附 則  
この規則は、昭和61年4月1日から施行する。

## 福島県立博物館収集展示委員会設置要綱

（設 置）

第1条 福島県立博物館に収蔵する博物館資料（以下「資料」という。）の収集並びに展示計画について審議するため、福島県立博物館収集展示委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（組織等）

第2条 委員会は12人以上の委員を持って構成する。

- 2 委員は学識経験者のうちから福島県立博物館長（以下「館長」という。）が委嘱する。
- 3 委員会に委員長及び副委員長を置く。委員長及び副委員長は委員の互選により選出する。
- 4 委員長は委員会を代表し、会務を掌握する。副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

（会 議）

第3条 委員会は必要のつど館長が招集する。

- 2 委員会は資料収集の適否及び展示計画等について審議し、その結果を館長に報告する。
- 3 委員会は特に必要がある場合、委員以外の専門的分野に関する学識経験者の指導及び助言を求めることができる。

（展示計画作成委員）

第4条 委員会は展示計画原案作成のため、委員のうちから6人の展示計画作成委員（以下「展示委員」という。）を選任する。

- 2 展示委員は次の任務を遂行する。
  - (1) 展示計画原案の作成
  - (2) 展示計画作成のための基礎的資料の収集
  - (3) 展示計画作成に関する専門的指導

（任 期）

第5条 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠によって選任された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（庶 務）

第6条 委員会の庶務は、福島県立博物館において処理する。

（その他）

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は委員長が定める。

附 則

この要綱は、昭和56年5月1日から施行する。

昭和61年4月1日一部改正

## 福島県立博物館資料所在調査要領

### 1) 調査の目的

福島県内に散在する考古、歴史、民俗美術工芸等の資料について、その所在及び内容を把握し、県立博物館の活動のための基礎データを得ることを目的とする。

### 2) 調査の実施

#### (1) 調査員

- イ) 調査員は、各地域の歴史に精通した研究者の中から館長が委嘱する。
- ロ) 委嘱期間は、4月1日から3月31日までの1年間とする。

#### (2) 調査の内容

資料の種類、形状、用途、数量、由来、時代、保存状況、所有者等について調査する。

#### (3) 調査の時期

4月1日から3月31日とする。

(4) 調査カードの作成・提出

調査員は、調査資料についてカードを作成し、福島県立博物館に提出する。

## 福島県立博物館資料調査員設置要綱

(設 置)

第1条 福島県立博物館の収集、展示、研究等に関する基礎データを得るため福島県立博物館資料調査員（以下「資料調査員」という。）を置く。

(選 任)

第2条 資料調査員は、各地域の歴史に精通した研究者の中から、福島県立博物館館長（以下「館長」という。）が委嘱する。

(職 務)

第3条 資料調査員は、福島県内に散在する考古、歴史、民俗、美術工芸等の資料について、所在及び内容を調査し、その結果を館長に報告する。

(任 期)

第4条 資料調査員の任期は1年とする。

2 補欠によって選任された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(補 足)

第5条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、昭和55年4月1日から施行する。

昭和61年4月1日一部改正。

## 福島県立博物館友の会規約

(名 称)

第1条 本会の名称は、福島県立博物館友の会という。

(目 的)

第2条 本会は、博物館活動に協力するとともに、会員が「福島県の歴史と文化・自然」についての研修を深め、会員相互の親睦をはかり、あわせて博物館活動の普及発展に寄与することを目的とする。

(事 業)

第3条 本会は次の事業を行う。

- 1 広報活動
- 2 講演会・研修会等の開催
- 3 博物館に関連する事業への協力
- 4 図書等の斡旋等の事業
- 5 その他必要な事業

(会員及び会費)

第4条 会員の種類は次のとおりとし、会員には会員証を交付する。

- ① 個人会員 本会の目的に賛同し、年額2,000円を納めた個人。
- ② 家族会員 本会の目的に賛同し、年額3,000円を納めた生計を一にする家族。
- ③ 高校生会員 本会の趣旨に賛同し、年額500円を納めた高校生個人。
- ④ 賛助会員 本会の目的に賛同し、特に会の発展に協力するため、年間10,000円を納めた個人及び団体。

2 会員の期間は、入会の年4月1日から翌年の3月31日までの1年間とする。

3 会員が退会した場合であっても、既に納入した会費はこれを返還しない。

(会員の特典)

第5条 会員は次の特典を受けることができる。

- 1 博物館の展示を観覧する場合に、特別な便宜を受けることができる。
- 2 会報、博物館だより、博物館の各種催しの案内等の情報の提供を受けることができる。
- 3 会の事業に参加することができる。
- 4 会員が歴史や文化等の研究に際し、指導を受けることができる。

(役 員)

第6条 本会に次の役員を置く

会 長	1名
副 会 長	若干名
幹 事	若干名
監 事	2名

2 幹事のうち1名は、福島県立博物館学芸課長の職にある者を充てる。



(役員を選出及び任期)

第7条 役員は総会において選出し、任期は2年とする。ただし再任は妨げない。

2 補欠のため任ぜられた役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員職務)

第8条 会長は、本会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、その職務を代理する。

3 幹事は、本会の会務を運営し、その実務に携わる。

4 監事は、本会の会計を監査する。

(会議)

第9条 総会は、毎年1回会長が招集し、事業計画、予算、決算、役員選任、その他重要事項をはかるものとする。

2 役員会は、必要のつど会長が招集する。

3 総会及び役員会の議長は、会長があたるものとする。

4 議事は、出席者の過半数により決する。

(顧問)

第10条 本会は、顧問をおくことができる。顧問は、役員会の承認を得て、会長が委嘱する。

(会計年度)

第11条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるを原則とする。

2 本会の経費は、会費、寄付金、事業収入等をもってあてるものとする。

(事務局)

第12条 本会の事務を処理するための事務局を、福島県立博物館内に置くものとする。

2 本会の事務局員は会長が委嘱する。

(その他)

第13条 本規約に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項については、会長が別に定める。

#### 附 則

1 この規約は、平成元年4月1日から施行する。

2 この規約は、平成3年4月1日から施行する。(第6条第2項関係)。

3 この規約は、平成5年4月1日から施行する。(第4条第1項②関係)。

4 この規約は、平成7年4月1日から施行する。(第11条第1項、第12条第1項関係)。

5 この規約は、平成8年4月1日から施行する。(第4条第1項③関係)。

6 この規約は、平成11年4月1日から施行する。(第6条第1項関係)。

# VI 施設の概要

## 1. 建築概要

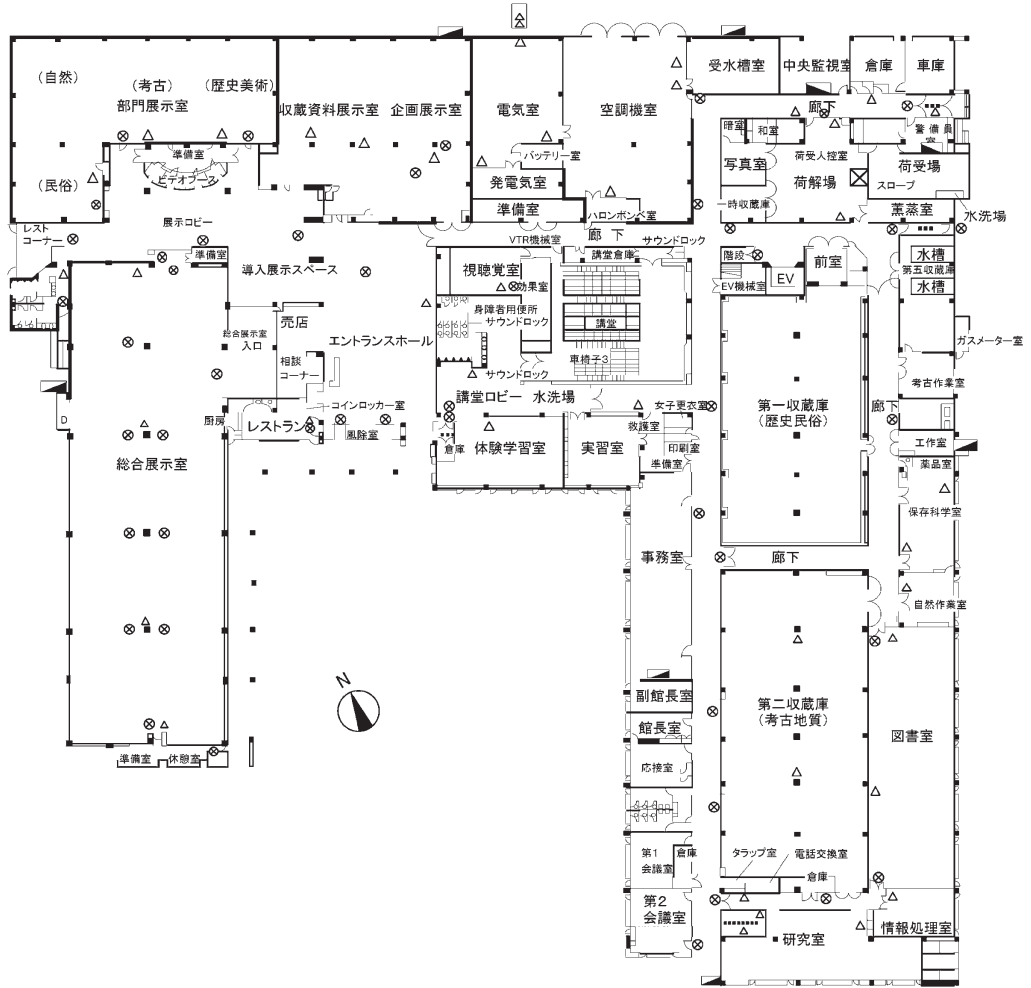
設計者	(株)佐藤武夫設計事務所	外構工事	368,688
工事監理	福島県会津若松建設事務所 (株)佐藤武夫設計事務所	その他庁用備品等	201,739
施工者	建築本体工事 福島県立博物館(本体)工事 清水建設(株)・会津土建(株)・秋山建設(株)	規模	地上2階
共同企業体	電気設備工事 福島県立博物館建設(電気設備)工事 六興電機(株)・吉田電工(株)共同企業体 空気調和設備工事 福島県立博物館建設(空気調和設備)工事 新日本空調(株)・若松ガス工業(株)共同企業体 火災報知その他設備工事 福島県立博物館建設(火災報知その他設備)工事 (株)富士工業商会 給排水衛生設備工事 福島県立博物館建設(給排水衛生設備)工事 (株)共立配管工業所 昇降機設備工事 福島県立博物館建設(昇降機設備)工事 ダイコー(株)	最高の高さ	20.6m
面積	敷地面積 37,269.6㎡ 建築面積 10,986.23㎡ 延面積 11,071.44㎡ 1階 9,980.45㎡ 2階 1,090.99㎡	最高の軒高	13.6m
建築事業費	6,451,641千円 内訳 建物本体 4,623,714 展示工事 1,257,500	地域地区	住居地域 風致地区第1種
		構造	主体構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 基礎構造 場所打ちコンクリート杭
		外部仕上げ	屋根 厚0.6硫化銅板 特殊一文字葺 外壁 特焼磁器質タイル打込プレキャストコンクリート版 建具 アルミ断熱サッシ電解着色仕上げ(エントランスホール・展示ロビー)
		内部仕上げ	床 花崗岩ジェットバーナー仕上げ 壁 凝灰岩リブ付厚40m/m 天井 練付合板 クリアラッカー仕上げ(総合展示室) 床 カーペットタイル 壁 プラスターボード厚12m/m 天井 アルミ特殊ルーバー天井(講堂) 床 カーペットタイル 壁 凝灰岩 リブ付 天井 練付合板 アクリルラッカー仕上げ(第1収蔵庫) 床 プナフローリングボード厚12m/m 壁 杉板厚12m/m ヒブクラハギ張 天井 杉板厚12m/m 本実張
		工期	着工 昭和59年7月7日 完成 昭和61年3月25日

## 2. 設備

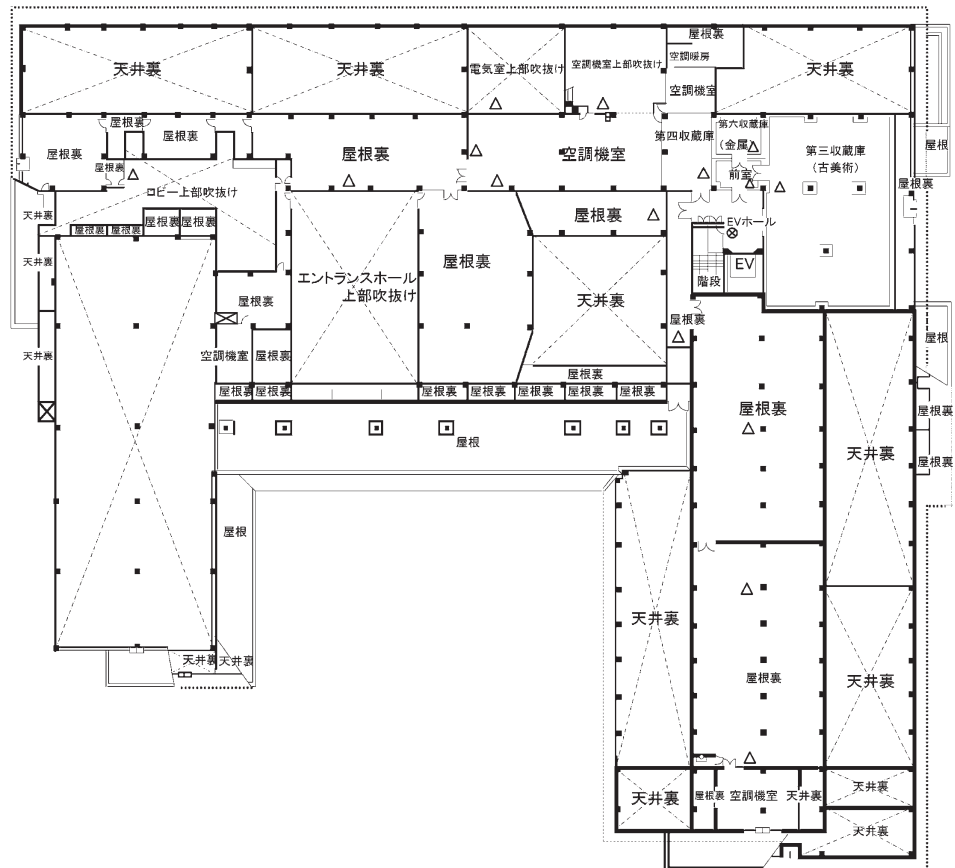
電気設備	2. 消火設備 (屋内) スプリンクラーとハロン消火設備の併用、(屋外) 野外消火栓
1. 電気設備 受電電圧3相3線式6.6KV50Hz変圧器容量(業務用)1575KVA(冬季用)400KVA	昇降機設備 油圧式エレベーター定格荷重:3t 1基 油圧式リフト 定格荷重:2t 1基
2. 非常用電源 発電機3相3線式6.6KV 50Hz400KVA蓄電池密閉型アルカリ AH-PE200 AH86セル	融雪設備 ロードヒーター・屋根ヒーター、陸屋根ヒーター・ドレンヒーター、外気温度地面温度・降雪感知器・乾地面温度・湿地面温度センサーの組み合わせにより自動運転または手動運転。
3. その他 電話設備、インターホン設備、TV共同視聴設備、自動火災報知器設備、防火戸等制御設備、ガス漏警報設備、非常用放送設備、ITV監視設備	監視設備 分散形総合監理制御システムにより、受電設備・防災設備・熱源設備・空調設備・融雪設備・庭園設備等を遠方発停制御及び計測監視を行う。
4. 視聴設備 TVカメラ、ビデオ調整卓、ビデオデッキ、音響総合ラック	電話設備 電子交換外線3回線 内線64回線 火災報知設備 受信盤P型1級60回線(自火報)33回線(防排煙設備)、煙感知機274箇所、熱感知機93箇所、排煙区画8系統、平面地図盤(照光式)により表示
空調設備	防犯設備 電波センサー・電子サイン・ITVを必要箇所に設置し、監視制御システムと併用
1. 空調方式 各室ユニット型空調機 17系統ファンコイル ユニット方式	
2. 熱源設備 ガス直焚冷温水発生器(150RT)×2ガス焚鉄セクショナルボイラー(396.00Kcal/H)水冷式チーリングユニット(120RT)	
衛生設備	
1. 給水 市水道 受水槽:50㎡	

### 3. 平面図・各室一覧

1階平面図



2階平面図



## 各室面積表

室名	面積(m <sup>2</sup> )	備考	室名	面積(m <sup>2</sup> )	備考
収蔵スペース		2,294.8 (m <sup>2</sup> )	応接室	36.5	
荷受場	90.5		第1会議室	34.8	
荷解場	164.5		第2会議室	70.7	
荷受人控室	25.1		更衣室	13.2	
一時収蔵庫	30.4		湯沸室	5.0	
燻蒸室	30.7		印刷室	16.2	
工作室	39.6		救護室	13.2	
写真室	57.0	スタジオと暗室	警備員室	30.0	
第1収蔵庫	614.2	歴史・民俗	宿直室	25.1	
第2収蔵庫	617.7	考古・地質	倉庫A	29.4	
第3収蔵庫	393.6	古美術	倉庫B	43.6	収集用(1)
第4収蔵庫	75.6	剥製・植物標本	車庫	55.8	
第5収蔵庫	104.9	液浸	展示準備室(1)(2)	31.7	総合展示室用
第6収蔵庫	51.5	金属	展示準備室(3)(4)	71.1	部門・企画・収蔵資料用
研究スペース		788.3 (m <sup>2</sup> )	機械スペース		
研究室	238.4		1,253.1 (m <sup>2</sup> )		
自然作業室	37.6		空調機室1F	393.2	
保存科学室	77.2		空調機室2F	479.4	
考古作業室	72.3		電気室	132.5	
薬品庫	8.8		中央監視室	52.8	
図書室	300.0		発電気室	50.2	
情報処理室	54.0		バッテリー室	14.4	
展示スペース		2,815.1 (m <sup>2</sup> )	受水槽室	66.7	
総合展示室	1,536.9		ハロンボンベ室	31.7	
部門展示室	585.8		EV機械室	17.1	
企画展示室	484.1		電話交換機室	6.3	
収蔵資料展示室	208.3		VTR機械室	8.8	
教育普及スペース		693.1 (m <sup>2</sup> )	サービス・共用スペース		
講堂	257.8		2,507.54 (m <sup>2</sup> )		
講堂倉庫	15.0		エントランス・ホール	461.1	
体験学習室	173.5		レストラン	83.7	厨房含む
視聴覚室	65.6		売店・相談コーナー	73.3	ロッカー含む
効果室	32.1		便所(展示)	32.6	
実習室	128.3		便所(中央)	68.8	
実習準備室	20.8		便所(管理)	31.3	
管理スペース		719.5 (m <sup>2</sup> )	展示ロビー	513.8	ビデオブース・ワークショップを含む
事務室	166.1		レストコーナー	40.3	
館長室	45.6		その他	1202.64	
副館長室	31.5		計	11071.44	

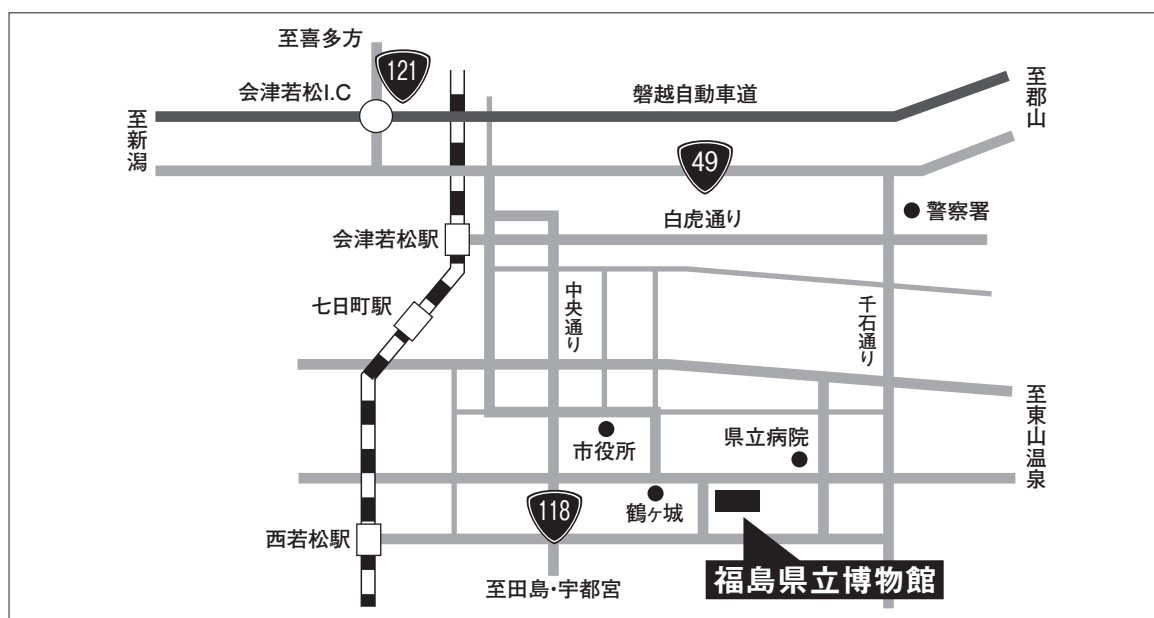
## 4. 施設の修理・改築

- 平成7年8月9日 消防施設整備工事(スプリンクラー設備修繕)(~10. 31)
- 平成8年10月1日 博物館地域福祉推進特別対策事業(誘導表示等設置 段差解消スロープ 車椅子駐車場2台分)(~9. 3. 19)
- 平成12年10月27日 給水ポンプ取替工事(~13. 1. 9)
- 平成14年9月12日 博物館東・北面外壁タイル補修工事(~12. 16)
- 平成15年9月19日 非常用蓄電池取替工事(~11. 20)
- 10月21日 吸収冷温水機真空部取替工事(~16. 1. 8)
- 平成16年10月5日 屋根補修工事(~12. 17)
- 12月21日 吸収冷温水機真空部取替他工事(~17. 3. 18)
- 平成17年7月22日 屋根補修工事(~10. 4)
- 平成18年1月6日 熱源コントローラー交換工事(~18. 3. 17)
- スプリンクラーヘッド交換工事(~18. 3. 17)
- 平成19年1月5日 スプリンクラー設備修繕工事(~19. 3. 23)



## Ⅶ 利用案内

- 開館時間  
午前9時30分～午後5時（最終入館は午後4時30分まで）
- 休館日
  - ◎毎週月曜日（祝祭日にあたる場合は開館）
  - ◎祝祭日の翌日（土・日・祝祭日にあたる場合は開館）
  - ◎年末年始（12月28日～1月4日）
  - ◎その他、館内清掃などのために臨時に休館することがあります。
- 観覧料
  - ◎常設展（ ）内は、団体20人以上の料金  
一般・大学生260円（210円）高校生以下は無料
  - ◎企画展 そのつど定めます。
    - ★学校の引率者、大学の教育活動、公民館等の団体は申請により減免措置を受けることができます。（常設展のみ）
    - ★身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方は無料  
また1種（精神障害者保健福祉手帳にあっては1級）の認定を受けている方に限り、介護者1名が無料。
    - ★知事の発行する外国人留学生文化施設等無料観覧証を交付されている方は無料。（常設展のみ）
    - ★展示室以外の入館は無料。
- 常設展無料開放日  
5月5日（子供の日）／9月第3月曜日（敬老の日）／11月3日（文化の日）  
8月21日（県民の日）
- 企画展無料開放日（高校生以下のみ）  
11月1日～11月7日（ふくしま教育週間）
- 交通案内



- ◎会津若松駅より約3 km
- ◎市内バス利用の場合
  - ①市内1コース県立病院前下車徒歩5分
  - ②鶴ヶ城経由飯盛山行又は飯盛山経由鶴ヶ城行巡回バス県立博物館前下車徒歩3分
  - ③まちなか周遊バス「ハイカラさん」鶴ヶ城三ノ丸口下車徒歩1分
- 体の不自由な方へ スロープ・専用トイレなどを備えたほか、車いすも用意しています。
- 講座・講演など 博物館では講演会・実技講座・実演などを行っています。

## 福島県立博物館年報 第22号

---

平成21年2月25日 印刷

平成21年2月25日 発行

編集・発行 福島県立博物館

〒965-0807 会津若松市城東町1-25

TEL (0242) 28-6000

FAX (0242) 28-5986

<http://www.general-museum.fks.ed.jp/>

印刷 陽光社印刷株式会社

〒960-0112 福島市南矢野目字萩ノ目裏1-1

TEL (024) 553-4600

FAX (024) 554-4420

<http://www.yokosha.co.jp>

---

この年報の本文は再生紙を使用しています。

福島県立博物館

〒965-0807 福島県会津若松市城東町1-25 TEL 0242(28)6000